



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

7 2009

CLUB OFFICE
京都 YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2009.7.1 発行
第 39 卷第 1 号 通巻 445 号
CHARTERED 1971

- クラブ会長主題 「感謝(Thank you)の念を持って、しっかりとした基盤づくりを！」～40周年へステップの年～
国際会長主題 “The Power of One” 「一つとなる力」
アジア会長主題 “Dreaming Asia, Loving Asia” 「夢見るアジア、愛するアジア」
西日本区理事主題 “すべてのいのちを大切に” —いのち・平和・環境—
京都部部長主題 豊かな心 熱き思い —555実現に向けて—

会 長 隠塚 功
副会長 岡見 紫
副会長 山本一博
書 記 河合信也
書 記 人見晃弘
会 計 小林千春
会 計 杉本泰造

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間

聖句 喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい

Kick-off

ローマの信徒への手紙 12 章 15

EMC-C

抱 負

第 39 代会長 隠塚 功



パレスクラブは来期 40 周年を迎えます。今期は 38 年間に渡って築かれた土台を更に強固なものとし、40 周年に向けてはずみを付ける 1 年にしていきたいと考えています。その上で私たちが認識しなくてはならないことは、「感謝」の気持ちです。諸先輩方や仲間はもちろん、メネットやコメットなど、あらゆる人たちへの感謝の念が必要であり、そのことを意識して活動できる 1 年にしたいのです。そのために、まずは例会や委員会の充実です。例会だけでなく委員会、全てのクラブ事業への積極的参加を促し、一層のメンバー間交流が深まるように努めます。また HA を特別例会に集約することでメネットやコメットの参加しやすい土壌作りに努めます。さらに、各事業を見直すことでワイズメンズクラブ国際協会に所属していることを実感できるようにし、事業目的を認識した活動ができるようにしたいと考えています。1 年間、皆様のご協力、宜しく申し上げます。

例 会 出 席				ニコニコ/ファンド/BFポイント			
在籍クラブ会員数	54 名	6 月第 1 例会出席	39 名	6 月第 2 例会出席	53 名	ニコニコ 6 月第 1 例会	37,000 円
内、功労会員数	1 名	内、メンバー	37 名	内、メンバー	50 名	ニコニコ 6 月第 2 例会	4,000 円
担当主事数	1 名	メネット	0 名	メネット	2 名	累計	352,930 円
維持会員数	0 名	コメット	0 名	コメット	0 名	ファンド収益	0 円
		ゲスト	1 名	ゲスト	1 名	累計	1,764,092 円
		ビジター	0 名	ビジター	0 名	B F 切手	0 PT
		スピーカー	1 名	スピーカー	0 名	B F 現金	90,000 PT
月間 MU 総数	0 名					累計	90,000 円
月間出席者数	50 名						
月間出席率	94 %						

6月第1例会（第913回例会）

日時 2009年6月10日 19:00
会場 京都ブライトンホテル

高田 敦

6月第1例会はゲストスピーカーとして北川剛士氏をお迎えしました。

北川剛士氏は貧困に苦しむケニアの子供達のために『NPO 法人 世界温暖化孤児飲料水支援機構』として水源を確保するため井戸を造るボランティアをされているとの事、実際の現地調査ビデオを見せていただき、現状のケニアの様子を説明していただきました。時間が無かったために現状の裏話や今後の展開などをお聞きすることが出来なかったのが非常に残念だったが、今後も世界の貧困が無くなるように頑張っていたきたい。

そして本例会のもう一つのイベント、38期最終の入会式、大西寛子さんの入会式。

大西寛子さんは38期5人目の新入会員、私もスポンサーとして入会式に参加、EMC 副委員長として何となく肩の荷がおりた感じ。是非大西さんには早くクラブやメンバーに馴染んでいただき、パレスクラブの一員として活躍していただきたい。メンバーの皆さん大西さんを宜しくお願いします。

当日、私は38期 EMC 委員及びスポンサーとしての入会式と次期広報委員長としての撮影等でバタバタの例会だった。



6月第2例会（第914回例会）引継例会

日時 2009年6月24日 19:00
会場 京都ブライトンホテル

小櫻武彦

3つの「く」で始まったパレス38期も今日の引継ぎ例会で最後の締め括りとなった。前期に続き5名の新入会員、170万円以上のファンド新記録、会場を替えた献血の予想外の成功…等々、楽しく仲良く活動した成果の充実感が会長以下メンバー全員の表情に表れている。正しく活躍したであろう会長もまだまだあれもこれもと反省と悔悟の挨拶であった、が歴代の会長も同じ心境であったらと思う。キーメンバーの古参から最近入会した新人までみんなが活躍した38期であった。最優秀ワイズメン賞に人見晃弘君が選ばれたのも全員納得の爽やかな受賞であった。残念なのは親愛なる谷口武士君の退会の発表であろう、28年の在籍で夫婦共々陰ひなたで活躍されみんなに愛された彼の功績に感謝と今後のご健勝を祈る次第である。美味の中華料理を食し心身共に充実した有終の例会であった。





西日本区大会報告記

日時 2009年6月6・7日
場所 熊本県 崇城大学市民ホール

森田美都子

2009年6月6日午後、修学旅行以来の熊本市に降り立つ。むっと南国の暑さ。

改札口にはワイズメンズクラブの旗を持って2名の九州イケメンワイズのお出迎え。

会場である崇城大学市民ホールへ到着するや即オープニング。佐藤理事の蜀台と聖書を携えての賑々しきスポットライト入場。静粛なる気持ちを整えたところでバナーセレモニーがスタート。やはり京都部は圧巻のクラブ数と会員数を誇る西の中枢大御所。

藤田京都部部長が登場するや大拍手。3番目のパレスクラブ田中会長スポット場面では「よっ、パレス！」とやらせ？の声援を2階最前列からみんなでがんばった。

いつもながらの粛々としたプログラム運びであったが私個人としての着目度として今回「熊本ヤングワイズメンズクラブ加盟認証状伝達式」を初めて知った事にある。

世代交代、会員数増強、リーダーの定着展望 etc、を謳う中でこれは京都部でも一考すべき活動企画の一環ではないのだろうか。色々と問題点は起こるかもしれないが徐々に道が狭くなってきているヤング世代獲得はこれからの必須課題であろう。

懇親会はホテル日航へ会場を変えにぎやかな山鹿灯籠踊りではじまり21時までのワイズ独特の盛り上げムードは最高の弾けかたであったという間に終宴。その後は、熊本の歓楽街へと疲れを知らないメンメンは思い思いに四方八方へと繰り出した。

6月7日の大会メインと考える表彰式においてパレスクラブは最優秀賞にはいずれも該当せず「ナイスパートナー賞」、「ホームページ優秀賞」、「BF達成賞」に留まった。

あの晴れ舞台でパレス会長が両手を高々と挙げガッツポーズで我がクラブをアピールする一瞬をつくってクラブが一丸となれる感激を感じたい。来年こそ、そんな西日本区大会になりますようにと願いつつ熊本を後にした。

藤松幸一

今回、第12回西日本区大会に参加させて頂き、改めてパレスに入会させて頂けた事に感謝します。また、他のクラブの方との交流や活動報告などを聞かせて頂き、ワイズメンズクラブを理解する良いきっかけになりました。何も分からないままの参加でしたが、会長はじめ皆様に暖かく迎えて頂き、そして共に過ごせた時間は私にとって非常に貴重な体験・経験が出来ました。これからもっと積極的にワイズメンズクラブの活動を通じてクラブメンバー様との親睦を深め、またご指導を頂き、自分自身ももっと人間的成長を計って行きたいと思います。最後になりましたが、本当にパレスのメンバーと出逢えた事に感謝です。そして福井ワイズのお誘いが無ければパレスワイズメンズクラブに入会してなかったと思います。素晴らしい皆様に出逢わせて頂いた事に感謝しております。

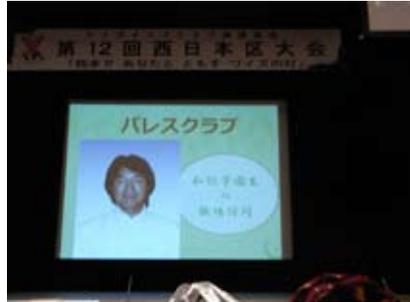
ありがとうございます。

福井将一

わたしは仕事を終わらしてからかけつけたのですが、会場に到着出来たのが8時30分頃で、懇親会真っ只中、800名

程の参加で物凄い活気でした。

以前に奈良であった大会に参加した時の懇親会とは比じゃないくらいに活気を感じました。熊本は熱！元気な西日本区理事はばりばりの女性社長！ワイズの取り組み、努力、経過、結果をわかりやすくしっかり語られていらっしゃいました。京都のワイズもかなり参加されておられました。ある意味京都の積極的取り組みも熱い。楽しい交流の場をいただきました。ありがとうございました。



献血事業報告（地域奉仕事業）

日時 2009年6月9日 10:00
場所 イオンモール京都八ナ

吉楽貴之

献血案内チラシ&ポスター、両手を広げ献血インフォメーションを広げ出すあのピエロ、実は田中会長なのです。会長主題、楽しく正しく仲良く！ 事業を実施に導く正しい判断、協賛クラブとも仲良くそして楽しく活動する、を今期最後の献血事業で再確認するつもりでの田中ピエロの起用でした（失礼）。そして宮本ワイズにはパレス献血事業の歴史を皆に伝えていただき事業を大きく支えていただきました。会長はじめとする委員会メンバー全員で、駆けつけていただいたメンバーをお迎えできたことも大きな喜びです。



キックオフ研修会

日時 2009年6月27日 17:00
場所 下鴨寮

川勝政男

キックオフ研修会は、6月27日午後5時より行われました。「行われました」と二度書くのは、実は私が6時からキックオフされる事だと思い込み、出席した時は、既に皆様のあつい思いで盛り上がり、その場の雰囲気や溶け込めるのに少し時間が掛りました。

それ程、新隠塚会長のパレス全員への思いを誠実に実行していく為のキックオフでした。それを書くとこの様になります。

①メンバーの出席義務は例会だけでなく委員会もであることを認識してもらう働き掛け。②委員会欠席者へのフォロー。③委員長から委員長への事務引継ぎ実施。以上の事は各委員長・副委員長が如



何にパレス全員出席し易い環境を実行していくかに架かっており、改めて委員長をお受けした私として責任重大だと思ひりました。

その後、親睦会へとお酒が入るといつものパレスの顔に戻り、ゴルフの話、etc…これが無ければパレスの親睦は、始まらない。今期も皆様、例会も委員会の皆勤めざして 200%出席をねらい豪華商品？といきましょう。

1年を振り返り

第38代会長 田中一馬

本当にあつという間の1年でした。しかし、振り返るとたくさんの出来事が思い出されます。楽しかったことやつらかったこと、うれしかったことや悲しかったこと、それぞれいろいろとありましたが、それらひとつひとつが本当に良い経験になりました。これらの経験を今後の人生に活かしていきたいと思ひます。不出来な会長を支えていただいた三役のみなさん、役員のみなさん、メンバーのみなさん1年間本当にありがとうございました。



引継例会 最優秀ワイズメン賞を受賞して

人見晃弘

38期の最優秀ワイズメンに選んでいただいた理由を考える時、必然的に私自身の38期の活動を振り返ることになります。

この1年間、参加してきたパレスクラブの活動すべてが、私にとって初めての体験であり、驚きと感動に満ちていました。そして、私は先輩メンバーの後に続いて、『その時、自分にできることを、全力でやる』だけでした。そうして夢中で駆け抜けた1年が、これほどに評価されていたとは、全く予想もしていませんでした。

今回の受賞におごらず、満足して歩みを止める事なく、励みとして初心を忘れず、今後も様々な活動に積極的に取り組んでいくつもりです。ありがとうございました。



39期新三役・新役員抱負

副会長 岡見 紫

隠塚39期会長よりの思ってもみないオファーに負け副会長を引き受けました。若いメンバーも増えたので、そろそろ大人しく端の方に身を潜めようと企んでいたのを見透かされたかの様であります。難しい事は皆山本一博副会長に任せ例会場の手配師を専任せよとのことなので、それ位ならなんとか勤まるかとお引き受けした次第です。私以外は生き字引の様なベテラン・ワイズメンや事務処理能力の高い方、頭の回転がマッハな方、法律に明るい方、若さに溢れる青年など心強い三役ばかりなので、なんとか大過なく終われる様な気がしております。隠塚会長、三役の皆様、そして会員各位、1年間お世話をかけますが、どうぞ宜しくお導き下さいませ。



副会長 山本一博

副会長を拝命しました。隠塚会長のサポートを通じて（次期の会長職を全うできる様）、多くの学びと親睦を得られるよう努力します。昨今の厳しい経済情勢の中でも、遅しく生き抜く知恵と勇氣に溢れるクラブでありたいと思ひます。時間が足りない時は「思い」を届けます。お金が足りない時は「願い」を届けます。皆様のご支援を何卒よろしくお願い致します。



書記 河合信也

40周年を控え、活気があるというか、騒がしいというか、何かと重要な期での三役を拝命しました。私自身6度目の三役、2度目の書記で、今回も若い相棒（人見君）とのコンビで、人見君には、3ヶ月で書記の仕事を全て任せるつもりです。その為には、有能な前期38期書記の為国君に頑張ってもらうのと、メンバーの皆様のご協力しかありません。私は書記能力が余りありませんので、合コンでの保護者として、彼女ゲットに協力したいと思います。

とにかく、40周年へのステップがこける訳にはいきません。

誠実な隠塚会長を全力でサポートしていく所存ですので、皆様方の絶大なるご協力を宜しくお願い致します。



書記 人見晃弘

このたび、39期の書記を務めさせていただくことになりました。

私はワイズメンになってまだ1年半と経験が浅く、これまでの活動では、先輩方について回るだけで精一杯でしたが、これからの1年は、責任ある立場として、組織としてのパレスクラブの姿を意識しながら、様々な活動に主体的に取り組んでいく事が要求されます。

先輩方がこれまで連綿と受け継がれてきたパレスクラブの歴史を、次期40周年、そしてさらなる未来へとつないでいくために、隠塚会長の下、精一杯頑張りますので、宜しくお願いします。また、メンバーの皆様には、未熟者への御指導と御協力をお願いします。



会計 小林千春

36期に続いて会計を拝命しました。

会計の方式自体は36期から39期に至るまで、同様の方式でやってこられていますので、3年前を思い出しながら、なんとかやっていけるのではなからうかと甘い見通しをしています。

もっとも、39期は40期に向けた大事な1年です。お金の面でももちろん大事な1年です。これまでも増して、兜の緒を締めて1年間を全うしたいと思います。

ただ、心強いのは、相方がパレス太郎さん、もとい杉本さんということです。

「何かあったら杉本さん頼み」で1年間を乗り切ろうと画策しています。

皆様、隠塚会長と39期をよろしく申し上げます。



会計 杉本泰造

申し分の無い人柄がひと際輝く、パレス39代 隠塚 功会長の下、三役の一員として頑張ります。京都部の会計を含め、4回程会計をしてきましたが、昔と違って今の会計のお役目は、パソコンを自由自在に操らないと勤まらない。その点片腕の小林千春君が有能で、会計に長けているので安心しております。厳しい時代でありますので、メンバーにこれ以上出費が増えないよう、無駄な出費をよく見極めて行かねばならない。今、石田梅岩の「石門心学」を学ぶときであります。

即ち「入りを計って、出るを制す」メンバーの皆さん宜しくお願い致します。



Yサ・ユース事業委員長 西川寿一

今期Yサ・ユース事業委員会として、キャッチフレーズを“YMCAの維持会員である事の意識を高めよう”としました。やはりYMCAへのサービスクラブとして誇りを持ち、YMCAの維持会員として、YMCA運動を上げる為の一員である事を今一度再認識する。この事がワイズの発展に繋がっていくと思います。その為にYMCAについて更に関心を持ってもらう様に、今期はいろいろ仕掛けをして、メンバーにとっていつもYMCAの活動や存在を気に留めてもらえるようにしていきたいと思っています。



地域奉仕・環境事業委員長 川勝政男

隠塚新会長よりCS委員長にと電話をいただき、少し私の方向とは違ってはいたが、只「ハイ」と答えてすることになりました。

準備委員会では、パレスが次期の京都部主催のボーリング大会のホストする順番になっており、担当はCS委員会が行います。無事に終われば、三役さんをご馳走していただけるらしいので皆様ともに頑張っていきたいと思っています。

また第40周年記念事業は、これもCSの事業で、準備委員会の段階で40周年記念事業の一部に「世



界のこどもにワクチンを」を行うので、その関係者を7月第2例会のゲストスピーカーに呼ぶようになり、ただ慌てるばかりの委員会です。

和敬学園には、今後の予定も有るので5月12日に隠塚新会長・吉楽前委員長と私の3名で和敬学園を訪問して、新会長のCSの方針である「足長おじさん」的な行動でなく、触れ合いの中から「名前の分かる存在」として委員会一同で頑張っ

てとり組んでいくしだいです。
CS事業に今まで余り積極的でない私が言うのも変に聞こえるかもしれませんが、今期のCSのキャッチフレーズの「忙しい人も少しの時間で参加しよう」で皆様の協力を宜しく御願います。

EMC 事業委員長 小西孝典

39期のEMC委員長を拝命しました小西 孝典です。今期のEMC委員会は、40周年に向けて、会員増強15名を目指すのを主命題としております。

口で言うのも、文章で数字を書くのも簡単ですが…15名は簡単な数字では有りません。クラブ全体の協力を得て初めて可能になる数字です。メンバー、一人ひとりの協力が有ってこそ、可能となる数字です。40周年期になってから、慌てて頑張っても間に合わないと思います！私も今期粉骨砕身頑張りますので、皆さん会員増強に、是が非でもご協力宜しくお願いいたします!!

もちろん、EMC委員会の仕事は会員増強だけでは有りません。今期は役員会未参加の新入会員さん2～3名ずつに、役員会にオブザーバーとして参加頂き、より早くより深く、パレスのクラブ運営の仕組みを理解頂こうと考えております。

あと、8月30日(日)に、リトリートセンターにおいて、新入会員さんによる自己研鑽の会も企画しておりますので、奮ってご参加下さいますようお願い致します。



交流事業委員長 森田美都子

“国際協会に所属するワイズメンズクラブに在籍する限り交流を極めずに何のクラブぞ”と言うのが私の持論。今期のパレスクラブ交流委員会は恐ろしい程の個性派揃い。

「もう一度見つめなおそうパレスクラブのIBC・DBCを」のテーマを踏まえつつ諸先輩の足跡をいろいろな個性で見つめ、丁寧ながら斬新な切り口を持つ交流活動に取り組みたい。

さて この私でどこまで纏めることができるやら…。



ファンド事業委員長 川上孝司

この度、隠塚会長の下、ファンド委員長として命を受け光栄に思います。今期委員会キャッチフレーズとして「楽しい企画で、がっちりファンド」を挙げさせていただきました。具体的には、ジャガイモ販売の過程におけるメンバーどうしのかかわり、ファンドオークションの工夫、またファンド例会開催における企画の充実を図るなど、クラブの基本になる楽しい企画を考えていきたいと思っております。それに加え会長の掲げられておられるBF・EF・JWFといった資金集めにもみんなで勉強し取り組んでいきたいと思っています。



広報事業委員長 高田 敦

39期隠塚 功会長の命を受け再び広報委員長となりました。

前回は入会間もないこともあり、メンバーの皆様には大変ご迷惑をおかけしました。しかし39期の広報委員会は一味違うところをお見せできると思います。39期隠塚会長のため120%の力で頑張ります。ただ役員会では毎回ストライク2球まで見逃しをお許し下さい、野球はゲームセットまで何が起こるか分かりません、最終回で逆転満塁ホームランを打ちますので楽しみに。



ドライバー事業委員長 西枝 攻

38期は広報、そして39期はドライバーを拝命しました。例会さばりにくい日々が続きます(笑)。メンバーそして委員がどうしても出席したくなる例会を企画し実行したいものです。そしてゲストスピーカーは幅広く行きたいものです。それにはメンバー各位のご協力を！ ともかく1年頑張ります。



40周年事業準備委員長 爲國光俊

40周年事業準備委員長を拝命しました。周年期の1年前から委員会を立ち上げるのは初めての試みではないかと思えます。しかるに時間的余裕もあり、十二分に議論ができることがクラブのさらなる活性化につながってくれればと願っています。

オープン委員会です。皆さんの参画をお待ちしています。



シリーズ「私と〇〇」

シリーズもの『私と〇〇』について
39期ブリテンはシリーズもの『私と〇〇』という題目でメンバー全員に書いて頂きます。クラブの事やプライベートな事、『私と〇〇』と題して何でも結構です。気軽に書いてください。メンバーが知らない意外な事なんか書いて頂くと面白いかも！
メンバーの皆さん次はあなたです、宜しくお願いします。

私と少年野球

高田 敦

『まだやってんのか!』とお叱りを受けるかもしれませんが正直まだやってます。息子が卒団して2年目のコーチ業です、野球知らないのに…。

息子が6年生の時、クラブを1年間お休みを頂いた時はチーム代表の役をやっていたのですが、そのときに比べると平日に時間をとられることが無い分いくらかマシですが、やっぱりしんどいです。何がしんどいか、下記の通りです。

1. 野球知らないのに指導する
2. 土日祝とたまに平日は朝から夕方まで野球、身体休める時間が全くない、気が狂う
3. 朝から夕方まで紫外線浴びっぱなし、時に夏期は強烈
4. 雨の日も体育館で練習する
5. etc

と、本当に野球が好きで人間しか出来ない内容である。

ところで、そもそもクラブを1年間休んでまで役を引き受けたか、一部のメンバーにしかお話ししていませんのでこの場をお借りしてカミングアウトします。(別に秘密じゃ無いけど)

当時、全体的に保護者の協力が無い学年でして、更に保護者監督と保護者間でトラブルがあり、監督不在の状況でした。殆どの地域の少年野球は保護者の協力で成り立っています。6年生の新チーム構成の時に保護者会で各役を決めるのですが、これがお通夜状態、1回目で決まらず2回目の保護者会でもまたお通夜状態、そのときにふと思出した事がありました。私が所属しているラグビーチームで、5年ほど前かつ下のメンバーが子供のために時間を作りたいから1年間クラブを休まして欲しいと言う話だった。

詳しく事情を聞いてみると、小学生の息子が空手をやっていて、土日の試合等について行ってやりたいと言うことだった。彼は1年間休み1年後チームに戻ってきました、1年後グラウンドで再開し彼は笑顔で『高田さんも子供のために1年で良い時間作り、オヤジとオカンでは違うねん』と話した。彼が言うには小学生の間に子供が打ち込んでいるものにオヤジがついて行って見てやるのが子供の将来に良い影響を与えるとの事でした。

その事を思い出して『私チーム代表やります』と思わず言ってしまったのが惨劇の始まりでした。私が手を挙げた後、洛北高校野球部現監督の佐藤氏もそんな時間も無いはずなのに保護者代表という役を引き受けてくれ保護者会は終わりました。私が引き受けた本当の理由は保護者会の後に平野ワイズと鉄板焼きに行く約束をしていたかもしれませんが…(笑)。

と言うことで1年間土日祝とたまに平日は息子と一緒に時間を過ごしました、これがどういう結果になるかはまだまだ先のはなしです。

1年間精一杯やり遂げ、そのときのチームの子供達は補欠組も含め殆どが中学に上がっても野球をやっています、うれしいことです。

現在は何かお礼奉公と言うことでコーチ業をやっていますが、私自身は本当に身近な地域のボランティアとして受け



止めコーチ業をしています。世界には貧困で困っている国が沢山ありますが、子供達を指導しているとある意味違った貧困を感じます。子供を託児所のように預け殆ど顔を出さない、自分勝手な子供、親何やってんねん！

日々紫外線と戦いながら将来の良質の社会人を創るべく子供達を指導しています。

お知らせ

38期6月役員会

(承認事項)

第1号議案 6月第2例会の件

例会時間は午後7時から9時30分まで。その他内容は三役一任で承認。

第2号議案 入会候補者の件

大西寛子君。6月第1例会にて入会式をおこなうことで承認。

第3号議案 谷口武士君退会の件

6月末日付けで退会を承認。

第4号議案 下半期事業報告の件

訂正等三役一任。定時総会の議案とすることで承認。追加事業検討委員会は後日提出。

第5号議案 38期決算報告の件

会計一任。定時総会の議案とすることで承認。

(報告・確認事項)

- ・ チャリティラン報告 ラムネ販売収益金 10,800 円をチャリティランに寄付。メンバーより 215,000 円+浪漫家食事券 15,000 円+ブライトン食事券の協賛を得た。
- ・ YMCA 定期総会報告 収支報告と 125 周年に向けての計画をもとにディスカッションがおこなわれた。パレスに感謝状贈呈。
- ・ 献血の確認 6月9日イオンモール京都ハナにて。
- ・ エバーグリーンクラブメンバー来訪報告 3名来京。3日間の滞在で観光と歓迎会、夜桜フェスタ参加。
- ・ 西日本区大会登録状況報告 13名の出席。
- ・ YMCA 元主事西岡さんが5月30日に逝去。黙祷を捧げた。

第39期第3回準備役員会

(承認事項)

第1号議案 年間スケジュールの件

別紙原案1部修正の上、承認。

第2号議案 各事業委員会の「事業方針・事業計画(案)」の件

継続審議とする。

第3号議案 予算案の件

継続審議とする。

第4号議案 サバエ開設ワークの件

内容は清掃作業及び植樹。現地集合 AM 9時/植樹代 30,000 円を加え予算 60,000 円とする。

第5号議案 7月第2例会の件

ゲストスピーカー NPO 法人 世界の子供にワクチンを日本委員会 (JVC) 講師
謝礼なし、ドライバー予算より交通費 35,000 円。地域奉仕予算より 30,000 円の支援金。

第6号議案 8月第1例会の件

納涼例会 会場 SARUE (サリュ) 京都市左京区松ヶ崎六ノ坪町 5 075-706-7779
ゲスト及びメネット会費 8,000 円。内容についてはドライバー委員会 一任。

第7号議案 (削除)

第8号議案 特別維持会員 (宮本隼史君) 39 期年会費の件

年会費 50,000 円 で承認。

第9号議案 会友制度の件

継続審議とする。

(報告・確認事項)

・40周年事業実行委員会報告

為国委員長より第1回委員会の報告があり、出来るだけ多くのメンバーの参加を呼び掛ける事を確認。

7月の行事

1日 役員会 5日 サバエ開設ワーク 8日 第1例会(定期総会) 22日 第2例会(通常例会)

Happy Birthday

8日 西村道隆君 9日 瀬戸伊佐雄君 18日 金村孝一君 19日 山本一博君 27日 平井千香子君

Happy Anniversary

11日 高田敦君ご夫妻 23日 山本一博君ご夫妻

YMCA NEWS

まもなく子どもたちにとって大切な夏休みが始まります。普段の学校生活では出来ないこと、週末では時間が足りなくて参加できないもの、夏だからこそチャレンジできることなど、本当にたくさんの体験活動ができる期間です。特に自然体験活動をとおして学ぶことが数え切れないほどあります。更にはまた、その少年少女と向き合い、自分たちのもつエネルギーを注ぐことで、自らがその貴重な体験を基に変えられていく青少年であるリーダーにとっても待ちわびた夏休みがあります。

京都 YMCA ではサバエキャンプ場、リトリートセンターがその中核となる場所であることは言うまでもありません。そして、今年も皆さんの皆様のおささえにより、子どもたちの元気で澁刺とした躍動感のある姿で溢れるものとなりますことを感謝いたします。

さて私たちの日常生活の中では、楽しいことや嬉しいことと同様に、悲しいこと苦しいことに遭遇しますし日々その繰り返しでもあります。その中であって、YMCA に連なる私たちは、喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣くことのできる存在でありたいと思いますし、青少年を育てることが使命と考えています。

多くの少年少女、青年たちが YMCA に参加することが出来ますようご協力をお願いいたします。

1. リーダー研修が始まりました。

大学生ボランティアリーダーに1回生44名が登録し、実行委員会のもとトレーニングが始まりました。6月6日～7日リトリートセンターにおいて一泊二日で新人、経験リーダー105名が、経験に応じYMCA理解、リーダー論、グループワーク、発達障害理解、現代社会の諸問題、食の安全などの研修を行いました。今後、救急法や発達障害、キャンプなど専門別トレーニングを受けながらそれぞれの配属に応じ、子どもたちのリーダーとして活動を始めます。リーダー養成のための奉仕活動基金への募金よろしくお願いいたします。

2. 2008年度定期総会が開催されました。

5月30日会員定期総会が開催されました。予算、決算、事業計画、事業報告のほか、日本YMCAリーダー認証や各ワイズメンズクラブ会長への感謝状贈呈がありました。

3. YMCA サマープログラム参加者募集中!

キャンプ、短期集中スイミングクール、デイキャンプ、鉄棒・とび箱が好きになる教室

YMCAでは今年の夏も、子ども達のための楽しいキャンプやスクールを準備しています。

全てのプログラムは、まずはお電話にてお申し込みください。

各プログラム定員になり次第キャンセル待ちとなります。

キャンプ・デイキャンプ 電話 075-231-4388 (お問い合わせも左記電話まで)

短期集中スイミングスクール、鉄棒・とび箱が好きになる教室

電話 075-255-4709 (お問い合わせも左記電話まで)

4. オリエンテーション講座のご案内

～京都YMCAの願いと会員活動をよりよく知っていただくために～

正会員としてYMCA運動を積極的に担ってほしいという意欲のある方を対象に、YMCAについての理解をより一層深めてもらうための講座です。

日時 7月24日(金) 午後7時～9時

場所 京都 YMCA 三条本館 201 号室

対象 京都 YMCA に入会して3年以上の方、またはキリスト者で正会員としての志のある方

お申し込みは申込書に記入のうえ7月21日(火)までに受付またはFAX・E-mailにてお申し込みください。

お問い合わせは電話(075)231-4388 FAX(075)251-0970

E-mail: kyoto@ymcajapan.org

5. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第29回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 7月18日(土) 午後7時～9時

場所 京都 YMCA (三条柳馬場)

参加費 お一人 300円

※お申込は京都 YMCA 電話(075)231-4388 または vb@kyotoymca.or.jp

編集後記

蒸し暑い日が続きます、雨が降ったりやんだり、早く梅雨が明けて欲しいものです。

39期最初のプリテンの発行、擦った揉んだで何とか発行にこぎ着けた。

今期から始めたWEBプリテンも少しずつ完成を目指して頑張っていきます。是非記事へのコメント、WEBプリテンへのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

WEBプリテン→ <http://pr.kyoto-palace.com>

京都パレスワイズメンズクラブ第39期 広報委員会

委員長 高田 敦 / 副委員長 小櫻武彦 / 委員 瀬戸伊佐雄、為国光俊、吉楽貴之



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

8 2009

CLUB OFFICE
京都 YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2009.8.1 発行
第 39 卷第 2 号 通巻 446 号
CHARTERED 1971

クラブ会長主題 「感謝(Thank you)の念を持って、しっかりとした基盤づくりを！」～40周年へステップの年～
国際会長主題 “The Power of One” 「一つとなる力」
アジア会長主題 “Dreaming Asia, Loving Asia” 「夢見るアジア、愛するアジア」
西日本区理事主題 “すべてのいのちを大切に” —いのち・平和・環境—
京都部部長主題 豊かな心 熱き思い —555実現に向けて—

会 長 隠塚 功
副会長 岡見 紫
副会長 山本一博
書 記 河合信也
書 記 人見晃弘
会 計 小林千春
会 計 杉本泰造

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間
Youth
Activities

聖句 平和を実現する人々は幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。

マタイによる福音書第5章9節

京都部広報事業主査 平野 雅幸



広報主査を拝命しました、平野です。

自クラブのブリテンの表紙に載るのはちょっと恥ずかしいような…と同時に、クラブの名前を背負って出て行っているという使命感を感じます。

部の役員をさせていただくのは初めてですが、精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願ひします。

広報とはなにかを考えると、とても難しく範囲が広いように思い考えがまとまらず主題を考えるのにも苦労しました。自分が好きなワイズメンズクラブをどうしたいのかを考え、この活動をいろんな人に知ってもらいたいし、また興味を持ってもらいたいとの気持ちから

事業主題：広めよう、伝えよう、私たちの活動を

という事業主題を掲げさせていただきました。波紋が伝播するようにワイズメンズ活動が広がっていけばいずれクラブ活性化、会員増強にも繋がっていくと思います。

そこで、三条 YMCA ロビーに設置されている京都部掲示板の継続に加え、今期、新たにブリテンファイルの設置をします。WEB 上でブリテンを公開されているクラブもあるかとは思いますが、1冊のバインダにブリテンを綴じて、三条 YMCA にこられた方に読んでもらえるようにしたいと思っています。

また、大概さん（京都部前期監事）より引き継ぎホームページを管理、運営させていただくこととなりました。便利なものと出来るように努力します。広く知らせたい情報はなるべく早く発信し、有用なものにしたいと思っています。

さらには他の主査との連携によりワイズメンズクラブを活性化させて『555実現に向けて』の目標達成に努めたいと思います。そのためにはワイズメン一人ひとりの力がとても大切です。どうかご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

例 会 出 席				ニコニコ/ファンド/BFポイント			
在籍クラブ会員数	53名	7月第1例会出席	42名	7月第2例会出席	42名	ニコニコ7月第1例会	16,000円
内、功労会員数	1名	内、メンバー	41名	内、メンバー	39名	ニコニコ7月第2例会	11,000円
担当主事数	1名	メネット	0名	メネット	0名	累計	27,000円
維持会員数	1名	コメット	0名	コメット	0名	ファンド収益	0円
		ゲスト	0名	ゲスト	2名	累計	0円
		ビジター	1名	ビジター	0名	B F 切手	0 PT
		スピーカー	0名	スピーカー	1名	B F 現金	0 PT
月間MU総数	0名					累計	0円
月間出席者数	46名						
月間出席率	92%						

7月第1例会（第915回）定期総会

日時 2009年7月8日
会場 京都ブライトンホテル

為國光俊

7月定時総会。39期がいよいよスタートしました。隠塚会長は、ワイズ歴10年の中堅メンバーであり、三役や委員長の役員経験も豊富で、39期会長として申し分のない人物であります。

“感謝（Thank you）の念を持って、しっかりとした基盤づくりを！”を会長主題に掲げられ、最初の会長挨拶では、例会のみならず委員会や事業を楽しんでほしい、楽しむためには一人ひとりが積極的に参加する意識が大切で、一生懸命やれば達成感や充実感が得られます。共に楽しんでいきましょうと、メンバーに呼びかけられ、委員会活動によるメンバー間の交流がより深い人間関係を築けること、クラブ事業に参加することでワイズを理解することができることを改めて認識することができました。

クラブメンバーの結束を高めるのと奉仕事業の意義を理解することが、40期を目前にした今だからこそ改めて必要なこと、そして、ひとつひとつの活動をきっちりと着実にやっという姿勢に、隠塚会長の爽やかで真面目な人柄がひしひしと伝わってきました。

また、三役の皆さんもベテランから新人まで多士済々で、一致団結して一年間力強く会長をサポートされていかれることでしょう。

総会は、38期の事業報告と39期の事業計画、会則の変更と議案が進められました。総会といえば、いつもは宮本君と杉本君が奉仕クラブの本質をつくような質問をされて議論が白熱して大いに盛り上がるものですが、今年はその場面がなくて残念でした。次の機会には杉本君とニコイチで直言直筆、辛口のご意見を聞かせていただきたいものです。

最後はニコニコで盛り上がり、今期も新たな気持ちで頑張っという例会を締めくくりました。



7月第2例会（第916回）

日時 2009年7月22日
会場 京都ブライトンホテル

吉楽貴之

第916回、司会は松崎ワイズ、ほのぼのとした司会者デビューに笑いがこぼれる楽しい進行でした。今回は40周年事業の一環につながる奉仕活動として、38期から模索し議論を続けてきた新事業について勉強会を行った例会です。実現すればわれわれの志をしっかりと届けてくれるパートナーとなるNPO法人「世界の子供にワクチンを」から森下由夏子氏をゲストスピーカーに招き講演60分の中に団体の活動紹介ビデオ、6大感染症のうちからポリオワクチン、予防接種注射器などの実物、支援先の現状など支援金の生かされるところをしっかりと伝えていただきました。昨年にはミャンマーで三種混合ワクチン支援、先には支援先拡大なども視野に入れられているとか。人の命を救える奉仕が日常生活を過ごしながらできる事を改めて感じた例会でした。

39期初めての通常例会は46年ぶり日食の日と重なり、今後26年間は日食といえば隠塚ワクチン勉強例会を思い出すような気がします。



サバエ開設ワーク報告

日時 2009年7月5日
場所 YMCA サバエキャンプ場 西川 寿一

梅雨の晴れ間の7月5日(日)恒例のサバエキャンプ場開設ワークが行われた。隠塚会長期の最初の事業であり、今期Yサ事業の中でも特に力を入れメンバーに参加を呼びかけた事もあって、当日は新入会員をはじめコメット・ゲストを含め総勢23名の参加者があり、ワークは楽しくスムーズに進んだ。サバエキャンプ場も年々松が枯れて緑が少なくなっているため、今期は清掃作業と同時にクラブ予算からヤマモモの樹と、山岸君寄贈のサルスベリの樹をパレスキャンピンの近くに植樹をした。

昼食はサバエ名物のおいしいカレーライスに舌鼓をうち、デザートは隠塚会長の差し入れのゼリーとカンコーヒーをいただき再び午後の作業に入った。当日は作業には最適の曇り空でしたが、メンバーは汗だくで丁度喉がかわいたころ、川上君の差し入れの甘いスイカをいただき皆んな大満足。みちがえるほどすっきりした午後3時に作業を終え、その後希望者だけ雄琴温泉の雄山荘にて汗を流した。最後に人見君が温泉にも入らず、近くの有名なお菓子屋さんでわざわざ買ってきてくれたシュークリームを入浴後に食べながら、今日一日の楽しかったワークの話をし、たくさんの差し入れをいただいたメンバーの方々に感謝をしながら、午後5時に散会した。皆さんお疲れさまでした。



京都部メネット連絡会に参加して

日時 2009年7月7日
場所 ウェスティン都ホテル京都 隠塚文香

7月7日火曜日午後7時、ウェスティン都ホテル京都におきまして、京都部メネット連絡会が開催されました。京都部山中部長のご挨拶に始まり、西村寛子メネット事業主査より、今年度のメネット事業主任方針及び事業計画について説明されました。本年は命の尊さをテーマに、国内プロジェクトを、自殺防止活動をしている団体やセンターへの支援とされたとのことでした。

また、各メネットへのお願いとして、毎年8月9日に長崎での原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に献納する為、西日本区メネット会として作成する折り紙によるペンギン作りを依頼されました。各クラブ100羽程度を目途に作成の依頼を受けています。

また本年のメネットアワーとして、チャリティーイベントの開催（2月頃）を計画中であるとのご報告をいただきました。各メネットの皆様の闊達なご意見飛び交う中、西村事業主查のメネット会への強い想いを感じる会でした。



新入会員自己紹介

吉岡幸次

福井ワイズの紹介で入会させていただいた S50.4.29 生まれ 34 歳 O 型の吉岡です。どうぞ宜しくお願いします！ 仕事は基本的に、看板・イベント会社と飲食店の経営を営んでおります。

看板業では電球の交換から大型看板のデザイン・制作・設置まで自社ですべてさせていただいています。

飲食店では河原町三条に 1 軒、山科に 2 軒等を経営し、あらゆる飲食開業支援コンサルティングもさせていただいています。

これからは是非、『看板・イベント設営』の事は私に声をかけてやってください。また、各委員会の集まり等や、もちろんプライベートでも何かと便利な立地の河原町三条『優食かなめ』の利用をどうぞ宜しくお願いします。



藤松幸一

自分らしく！

1975 年 1 月 28 日。藤松家に待望の長男として誕生しました。姉が 2 人、末っ子の長男！ 甘えたのおばあちゃん子です。

幼少時から家業の酒飯店で商売・勝売・笑売のノウハウと「人のありがたさ」「人の怖さ」を自然と身に付け、早 34 年。『本当に自分は成長出来ているのか？』『コレがオレのやりたい事か？』『もっとおもしろい事があるはずや！』と自問自答を繰り返し、常に向上心だけは持つように心がけています。

本年は、私にとって勉強の年と、自分への課題として密かに掲げていました。様々なセミナーや講演会、異業種の方との交流、そして経営者の集まる場に積極的に参加しようと決めていました。そして行動に移し、様々な場所に顔を出している時、やはり必然です。福井ワイズよりパレスワイズメンズクラブにお誘いを頂き、最高に素敵な出逢いと、新たな成長の場に参加させて頂きました。本当に心より感謝します。

入会后、皆様に気さくにお声を掛けて頂き、すぐに馴染めました。ウクレレでは河合ワイズ・小西ワイズ・平野ワイズ・森田ワイズ・岡見ワイズにお世話になり、趣味のサーフィンでは田中直前会長・大嶋ワイズにもお誘い頂け、有意義な日々を送らせて頂いております。今後も、各事業に参加し皆様ともっと深くお付き合いさせて頂ければ幸いです。そして、ワイズメンの一員として、持ち前の何でも一回やってみよう精神で、自分らしく、笑顔を絶やさず、人との繋がりを大事にし、学んだ事、経験した事に感謝し、他の人に伝えていける人間になります。

パレスワイズメンズクラブの皆様、どうぞ今後ともよろしくお願い致します。



大西寛子

紹介者の高田ワイズより「パレスクラブに入ってみない？」とお誘いを受けたのが今年の 4 月のことでした。聞いてみると会員の方々は多種多様な職業の方々…。

西院の焼き鳥屋を経て御池に従姉妹と 2 人で始めたお店なのですが、この世界大恐慌の中細々と経営している私がこんな大きなクラブに入ってもいいものだろうか？と不安で一杯だったのです。

「自分らしくしていればいいよ」という言葉どおり私を温かく受け入れてくださる会員の方々がソコにいました。“このなかでなら私らしく活動できる”と思いました。

このクラブとの出会いに感謝しています。未熟者ですがよろしく申し上げます。



パレスクラブ引継例会にて 優秀ワイズメン賞を受賞して

吉楽貴之

非常に有意義な1年を過ごさせていただきました。委員会は私にとって大切な勉強会でもあったのでこのような賞をいただいて恐縮です。クラブ活動の基本のひとつである奉仕事業を行う者にとって、一番の喜びはなんといってもクラブメンバーの参加にあります。「そのためにはどうすればよいか」といったことを考える事がCS環境委員会の重要な仕事でもあったと言えます。得意とするところを発揮する事で事業がより楽しいものになり色付けができる、また不得手な事や思慮不足なところは委員会が勉強会になります。新しい事業を提案できることも魅力ですが、時の委員長のカラーを存分に発揮し委員会で議論して組み立てていくことがクラブライフの楽しさでもあり意味あるところでもあると感じました。振り返るともちろん反省多いところですが、そんな自分磨きのチャンスが委員長役職にはあると言うことを新入会員のみなさんにこの場でお伝えすることで受賞に報いたいと思います。



福井将一

優秀ワイズメン賞という素晴らしい賞を頂き、感謝の念でいっぱいです。私にとってパレスは息抜き、勉強、楽しむ場だと思い、前向きにいつもお付き合いさせてもらってます。楽しめる空間を持ち続けることが成果を生んだと思います。

やればやるほどのめり込むのが何とも言えずおもしろいです。これからも年中夢中で楽しめます。ありがとうございました。



野口大輔

38期のファンド委員長を拝命し、特に10月のファンドでの奉仕金をいかに伸ばすか、本当に考えました。正直、夢にまで見るほど考えました。ある日、夜中に目が覚め「お米だ！」と閃きました。この閃きからは、流通経路がどこにあるか、ジャガイモが売れなくなればどうする？とか、皆さんの賛同が頂けるか色々考え最終的に実行できる運びとなりました。良い流通経路をご紹介頂いた福井ワイズこそが、MVPです。(本当にお世話になりました！)

「1000人見ていない人がいれば、1000人見ている人がいる。」こんな言葉を自分で繰り返しながら、自分のモチベーションを保ちました。そして、頭の中で「利益」ではなく「社会貢献金(奉仕金)」と位置づけました。

委員長をした上で、以下のことは気になりましたので、申し上げます。

メンバーは、委員長を盛り上げないといけません。

メンバーは、例年こんな感じですから…とか言うべきでは、ありません。

そう、「義務でなく責任でもなく、使命感を持つこと。」これが、今必要な部分かと思います。

最後に、メンバー各位ファンド事業に本当に協力を頂き、有難う御座いました。

今期も頑張りましょう！



シリーズ「私と〇〇」

私と運転免許

東畑泰弘

思えばここ数年間いつも免許停止処分に怯えながら過ごしている様な気がします。仕事から駐車違反をとられることも多いのですが、特に暴走行為をしているわけでもないのに、いつも点数がぎりぎりなのです。

短期免許を繰り返したあげく、中期免許になってしまい、講習を受けた後、実際に30日間車に乗れなかったのは去年の9月のことでした。1ヶ月間、バスや電車を使って移動したり、スタッフに送ってもらったり、迎えに来てもらったり。ずいぶんと不便な想いをしました。しかしその時、ちょうどガソリンが高騰して190円/1Lの時期を迎え、実際は燃料代の軽減になっていたのがちょっと嬉しかったのが今では良い思い出です。そして、免許明けの1年間は持ち点がたったの2点で、向こう1年間無違反ですごせれば通常の持ち点にもどるとのこと。でも、実際今まで1年間通して無違反だったことなど無かったことを



思い不安に襲われました。が、しかし人間やれば出来るもので、無違反の状態です。1ヶ月が過ぎ、3ヶ月、半年、8ヶ月が過ぎました。なにも難しいことではない、普通に運転すればよいだけの事。残すところあと2ヶ月を切ったある日、事件は起こりました。なんと無意識のうち、イヤホンをせずに携帯電話で通話しながら運転をしてしまったのです。気が着くと警察官に誘導されていました。減点1点、罰金6000円でした。救いだったのは1発で免許取り消しにならなかったこと。(本当の救いは、当然、事故につながらなかったことですが。)あと1点で長期免許取り消しになってしまいます。考えるだけでも憂鬱です。長期免許取り消しになったら、今度は免許取り消し処分に関わりなく近づいてしまいます。実は私、若かりし頃に免許取り消しになった事があり、今の免許はその後再受験してとったのです(しかもオートマ限定です)その当時は車に乗れなくなってもものすごく寂しく不憫な思いをしたものでした。(懲りないのが情けない。)そんなわけで自業自得な残り1点カーライフのまっただ中でおぼろげです。昨年、お世話になっているある会社の社長さんが、「今年、日産のGTR買おうと思ってたけど、長期免許明けで全然点数ないし、やめといたわ(涙)」と言われたときに、「そりゃそうですね。免許ないのに車だけあってもしゃないですね。まるでコーヒーの無いクリームみたいじゃないですか。アッハッハー」と他人の様に笑えたのはもう昔の話。これからは安全運転に徹する所存でございます。会員の皆様も、こんな私に言われたいのかもしれないかもしれませんが、是非とも安全運転をお願いします。

シリーズ「私と〇〇」

私とサンポ

堤 雄次

散歩を、毎日しておられる方は、大勢いらっしゃると思います。私は散歩を毎日行いません、何故か?一言で言うとジャマくさいからです。でもメタボと健康維持のためにも、全身の筋肉の半分以上が付いている足を鍛えておく事は大切な事と思っています。わかっちゃいるけど、ジャマくさい!こんな性格上、今まで何でも止めたり、続けたりを繰り返しています。今回は6月より散歩(30分以上55分未満)を一応続けています。雨の日、暑い日はもちろん行きませんので、ほとんど行ってないと言われたらそれまでですが、本人は続けている気です。



今回ははじめた動機は、持病の腰痛悪化です。最悪の時は1日の歩行数が3歩?はちょっとオーバーですが、ほぼ冬眠状態です。すこし痛みが取れますと、リハビリがてら散歩にいきます。そして体調が良くなると、散歩は姿を消してしまいます。これを10年以上繰り返していて、本当にいつまでも進歩しません(涙)。今回はいつも歩く川原や疎水沿いにも飽きてきたので、今まで通った事のない道を選んで歩いています。結構いろんな発見があり、面白いです。住宅街では怪しい人と思われるかもしれません。何せ初めて見る景色ですから、結構キョロキョロ見ているかも。散歩コースに変化を付けて少しでも長く続けたいと思っています。でも此の頃痛みも取れてきたみたい…。

お知らせ

38期7月役員会

(承認事項)

第1号議案 各事業委員会「事業方針・事業計画(案)」の件(各委員長)
別紙原案1部修正の上、39期定期総会議案とする事を承認。

第2号議案 予算案の件(会計)
別紙原案1部修正の上、39期定期総会議案とする事を承認。

第3号議案 9月第1例会(京都部会振替)の件(会長)
9月13日(日) 会場 京都全日空ホテル 平安の間 受付14:00~
1部 式典 15:00~16:10 2部 講演 横田茂 早紀江 御夫妻 16:20~17:20
3部 懇親会 17:40~20:00 登録費 10,000円は、クラブより拠出する。承認。

第4号議案 9月第2例会の件(ドライバー)
三条YMCAで40周年記念事業フリートーキングを行う。
食事無しとし、その費用の1部をクリスマス例会でのドアプライズ個人負担金2,000円に充当する。承認。

第6号議案 和敬学園ユニフォーム寄贈の件(地域環境)
フットサルチームのユニフォーム(ズボン)を7月中に寄贈する。予算 20,000円 承認。

第7号議案 和敬学園生の会社訪問の件（地域環境）

和敬園生にメンバーの職業を知ってもらう為に実施する。6社予定。
予算 35,000円（交通経費及び懇親食事に費）承認。

第8号議案 笹山君の維持会員願いの件（EMC）

39期1年間を維持会員とし、EMC委員会配属を承認。

第9号議案 会友制度の件（会長）

会友制度の条項（下記）を追加する、会則変更を定期総会議案とする事を承認。

会則 第11条（退会）に条項を追加

3. 退会した会員は、役員会がその退会理由を相当と認めた場合、会友となる事ができる。

4. 会友は本クラブから適宜、例会等の案内を受ける事ができる。

Happy Birthday

1日 高岡昇 14日 大森夏彦君 14日 隠塚功 14日 杉本泰造 15日 笹山直世 17日 山本好一
21日 東畑泰弘 29日 山岸弘侍

Happy Anniversary

26日 吉楽貴之ご夫妻

YMCA NEWS

全国のYMCAでは、「YMCAの願い」として、すべての活動を通して次のことを伝えることを掲げています。すなわち、①「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること」②「家族、地域のひとりとして責任があること」③「世界と地球を見つめ、考え、行動すること」④「ボランティア精神とリーダーシップを身につけること」⑤「すこやかな心とからだを育むこと」です。ウエルネス事業や教育、ボランティアの各事業や活動を通して、こどもや大人という年齢や性別にかかわらず、また所属するグループや役割、立場にかかわらず、「YMCA」の活動を通して上記のことについて学び、自らを変えられ、ひいてはその変えられることが喜びと感じられたらと願っています。

例えば、異年齢の人たちや外国の方々と親しく接し、理解し、交流することで、お互いを認め合うことができれば、より「自分のいのちとみんなのいのちを大切にすること」ができるのではないのでしょうか。

親しく顔の見える人がいること、尊敬し認め合うことができれば、差別や紛争はなくなるのではないのでしょうか。少なくとも減少すると確信しています。

夏・秋にもYMCA・ワイズメンズクラブでの数多くの「交流」の場がもたれ、そのことによって平和な社会への礎となることを願っています。

京都YMCA 総主事 神崎清一

1. 京都YMCA 平和の集いのご案内

日時：9月24日（木）午後7時～8時30分

場所：京都YMCA 三条本館

講師：徐 脇氏 [立命館大学 コリア研究センター所長]

お申込み・お問合せ 電話（075）231-4388 FAX（075）251-0970

Eメール kyoto@ymcajapan.org

編集後記

長い梅雨が続き、8月に入ってやっと明けました。

この遅い梅雨明けは記録が残る1951年以降、梅雨明けを特定できなかった年を除いて1番遅い記録となりました。早く秋になって欲しいです、夏バテでへばってます。

今月のプリテンも無事完成、是非記事へのコメント、WEBプリテンへのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

WEBプリテン→ <http://pr.kyoto-palace.com>

京都パレスワイズメンズクラブ第39期 広報委員会

委員長 高田 敦 / 副委員長 小櫻武彦 / 委員 瀬戸伊佐雄、為国光俊、吉楽貴之



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

9 2009

CLUB OFFICE
京都 YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2009.9.1 発行
第 39 巻第 3 号 通巻 447 号
CHARTERED 1971

- クラブ会長主題** 「感謝(Thank you)の念を持って、しっかりとした基盤づくりを！」～40周年へステップの年～
国際会長主題 “The Power of One” 「一つとなる力」
アジア会長主題 “Dreaming Asia, Loving Asia” 「夢見るアジア、愛するアジア」
西日本区理事主題 “すべてのいのちを大切に” —いのち・平和・環境—
京都部部長主題 豊かな心 熱き思い —555実現に向けて—

会 長 隠塚 功
副会長 岡見 紫
副会長 山本一博
書 記 河合信也
書 記 人見晃弘
会 計 小林千春
会 計 杉本泰造

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間
Menette

聖句 善い人は良いものを入れた心の倉から良いものを出し、悪い人は悪いものを入れた倉から悪いものを出す。
人の口は、心からあふれ出ることを語るのである。

ルカによる福音書第6章 45節

ファンド事業

39期ファンド委員長 川上 孝司



ファンド事業といいますと、西日本区における「ファンド事業」として、BF事業・EF事業・JWF事業の3つがあります。このファンド事業は、ワイズメンズクラブ国際協会の規定により行われています。

もうひとつ私たちのクラブで行っているジャガイモファンド、ファンドネットオークション、トスファンドなど各クラブが独自に取り組むクラブファンドがあります。このファンド資金こそ私たちのクラブが、YMCAサービスの活動資金や地域奉仕環境事業資金としての大切な財源となります。その為にも今期のファンド事業委員会は、皆さんに一層のお力添えをお願いしたいと思います。まずジャガイモファンドについては大きな財源であることは言うまでもありません。より多くのジャガイモを購入していただき大きな資金にしたいと思っておりますが、購入したジャガイモの行き先について考えてみたいと思います。まずは、販売するという方法があります。今年も10kg 1800円とかなり安値で皆様に購入していただけます。その値段で、お知り合い、ご友人に販売されれば、きっと喜ばれると思います。もうひとつは、お世話になった方やご友人、ご商売関係のお客様などにお配りするという方法があります。時期的にはちょっと早いお歳暮という感じですが、旬のものをお送りするのも、ちょっとしたお洒落です。またジャガイモはいらないんだけど、買ったつもりで収益分だけ、寄付する現金ファンドも今回大歓迎いたします。ジャガイモファンドは、クラブ全体で動かないと果たせない大事業です。次にファンドネットオークションですが、ヤフオクの形態を取りながら皆さんにオークションを楽しんでもらおうと思っております。なおファンド事業委員会では、リサイクルファンドオークションの為の商品を集めています。ご家庭でご不用になった、オーディオ製品などの家電製品、楽器、家具などございましたら、最寄りのファンド委員までお声掛けください。大きな物は、写真をお送りください。商品によってはお受け取り出来ない物もあるかと思いますが、出来るだけ努力し、再生しオークションに出品したく思っています。また当然ご自身でのご出品も大歓迎です。このオークションで得られました資金は私たちのクラブの奉仕事業の財源となります。こういった形で皆様と共に楽しいファンド事業を展開していこうと考えておりますので、どうかよろしく願いいたします。

例 会 出 席				ニコニコ/ファンド/BFポイント			
在籍クラブ会員数	54名	8月第1例会出席	49名	8月第2例会出席	41名	ニコニコ8月第1例会	20,000円
内、功労会員数	1名	内、メンバー	37名	内、メンバー	36名	ニコニコ8月第2例会	7,000円
担当主事数	1名	メネット	9名	メネット	0名	累計	54,000円
維持会員数	1名	コメット	1名	コメット	0名	ファンド収益	0円
		ゲスト	2名	ゲスト	3名	累計	0円
		ビジター	0名	ビジター	1名	BF切手	0PT
		スピーカー	0名	スピーカー	1名	BF現金	0PT
月間MU総数	0名					累計	0円
月間出席者数	46名						
月間出席率	90%						

8月第1例会（第917回）納涼例会

日時 2009年8月8日
会場 SARUE

岡見 紫

8月第1例会は納涼例会なので通常水曜日開催のところを土曜日に変更し、また場所も京都ブライトンホテルから北山のレストラン『SARUE』に移しての開催となりました。前日が立秋とは申せ、梅雨明けが遅れたため、まだまだ夏本番のような気分です。まだ昼の暑さが残っている中、入会候補の丹治さんをはじめ多数のメネットと甚平姿の平野コメットにも御参加いただき和やかに夏の宴は始まりました。やはりメネットの参加が多いと華やぎますね。

期待のお料理は夏野菜のゼリー寄せの前菜に始まり、トマトの冷製スープ、自家製フランスパン、白身魚のポアレ、仔牛のロースト、デザートは桃のコンポートのアイスクリーム添えとコーヒーという技と心のこもった素晴らしいコースでした。乾杯用にシャンパンも御用意いただき、赤、白ワインの他にもドリンクをたのめるフリードリンクにもなっていましたので、かなり『SARUE』様には御勉強いただいたと推察し感謝しております。食事の出る集まりは、まず美味しいものが食べられないと、他の要素がどんなに素晴らしかろうと色褪せ気味になりがちです。そこそこの歳になると、量とはなく、なるべく美味しいものをいただきたい…となってきます。贅沢を言えばキリがないですけども。

さてこの日の余興はパレスウクレレ同好会 with 川上ワイズ&岡見でのハワイアン・ショー（?）。先に不味い物を食べさせて機嫌が悪くなるとフォークやナイフが飛んでくる恐れがあったので、『SARUE』を選んだ時点でショーは半分成功したと言えるでしょう。「カイマナ・ヒラ」に始まり「珊瑚礁の彼方」「タフワフワイ」「カノホナ・ピリカイ（ハワイ版・涙そうそう）」と渾身の演奏が終わり平野ワイズの『これで演奏は終わりです。御静聴ありがとうございました。』の詞に『アンコール』の声がすかさずかかり（しこんでたのかな?）、こちらもすかさず『ではアンコールにお応えして「月の夜は」をおおくりします。』とアンコール曲を演奏しました。緩やか～なレッスンでも3年も習うと少しは聞ける様になるもんだな～と同好会の皆様と一緒に演奏しながら感慨に耽っておりました。やはり何事も『継続は力なり』ですね。二次会はブレラでワイワイがやがや、四方山話に花が咲き、真夏の夜の宴は真夜中まで続きました。アロ～ハ！



8月第2例会（第918回）

日時 2009年8月26日
会場 京都ブライトンホテル

為国光俊

8月第2例会は、今期最初の入会式で始まりました。新入メンバーは丹治徹二君。小西 EMC 委員長の司会進行で厳粛に執りおこなわれ、宣誓と一言スピーチ、大きな拍手で迎えられ、私達も気が引き締まるうれしい1日となりました。

本日のゲストスピーカーは、京セラ株式会社 執行役員教育本部長 高津 正紀様をお迎えし、京セラで実際におこなわれている社員研修の内容についてお話をいただきました。

最初に京セラの沿革を紹介され、町工場から始まった会社が「技術を世に問う」ことを掲げられて、その過程から、企業というものは、自分一人だけのものではなく、共に働いている従業員の生活を背負うものだと従業員との激論の中で再認識し、経営者として物事の原理原則を追求された結果、人を愛し、公明正大に謙虚な気持ちで仕事にあたり、国を愛する気



持ちを持つことが使命だと得心し、社業に邁進されたことで今日がある。また、そのときに策定された経営理念が「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること」である、といったことを私達にわかりやすく説明していただきました。

また京セラには、京セラ「フィロソフィー（哲学）」があって、人間としてなにが正しいのかを判断のベースとして原理原則を貫き、意志を強く思うことの重要性や一生懸命に働くことの大切さを教えていただきました。その中で、私自身ができるほどと思ったのは、「考え方×熱意×能力」という式があって、人間は、たとえ能力が高くても考えによって結果が変わる。千差万別の考え方の中で、山に登るにも、高い山を目指すか、低い山を目指すかではスタートが違くと説明いただき、高い目標を持つ、心をベースに経営する、あきらめない気持ちを持つことの重要性を感じました。

最後に、数字で表れる会社の業績や規模などの数字は氷山の一角でしかなく、会社を支えているものは、そこに働く人の力であり、それがフィロソフィー（哲学）だということに締めくくられました。本当にこのフィロソフィーは、経営のみならず、ワイズ活動においても最重要なことで、先輩方がつくってこられたパレスに宿っているフィロソフィーにさらに磨きをかけなければ、と心を新たにしました。

和敬学園フットサルユニフォーム贈呈

日時 2009年8月7日
地域奉仕・環境事業委員会 安達雅直

8月7日17時より、和敬学園でフットサルのユニフォーム贈呈式をおこないました。

当日は、会長以下、川勝CS委員長、人見書記、藤松ワイズ、CS副委員長の安達の計5名が参加しました。

和敬学園では、樋口園長に迎えていただき、まず、学園のフットサル活動についてご説明いただきました。和敬学園のチームは、京都市の大会で優勝するほどの強豪で、訪問したときには、既に近畿大会出場が決定しており、大会に向けて子ども達は練習を積んでいるとのことでした。

そんなお話を伺っている頃、元気な子ども達が帰ってき、食堂にて贈呈式をおこないました。子ども達は、ユニフォームを受け取ると、とても喜んでいました。

今回贈呈したのは、フットサルのユニフォーム上下セット、8名分です。8名分のセットとなると予算が足りないという問題がありましたが、今回、吉楽さんのご好意で、背番号までプリントされている豪華仕様のユニフォームを贈呈することができました。

後日、地藏盆の折に樋口園長から、近畿大会は残念な結果に終わったとお聞きしましたが、子ども達と直に触れあうことでパレスクラブの存在を知ってもらえ、今回の支援金の使い方がとても有意義なことに感じられました。

和敬学園地藏盆

日時 2009年8月22日
場所 和敬学園 井上 彰

短い今年の夏が終わろうとしている、8月22日（土）に和敬学園の地藏盆が行われた。

我々CS委員会のメンバーの集合は午後1時30分、少し早いように思われるが、これは川勝CS委員長の『やる気』の現れか。ともあれ、食材、テーブルの配置、たこ焼き器のセッティング等、テキパキと進んで行く。5時少し前に園長先生の法話、会長の挨拶に続いて我々CS委員会のメンバーも学園生に紹介していただいた。

いよいよ地藏盆スタート、たこ焼き器の鉄板を前に作業開始、毎年始めのうちは焦げたたこ焼きが出来るのだが今年は鉄板を十分暖めておいたため、焦げもないきれいでおいしいたこ焼きが出来あがる。しかしいくら冷夏といってもたこ焼きを焼くことは熱いので交代しながら作業を進めていく。かき氷も順調に消化している。やはり夏は冷たいものが一番人気があるようである。

ある時、ふと気がつく今年は学園生が少ないように思い、園長先生にお聞きすると親もとに帰っている生徒も多いとか、それでもみんな地藏盆を楽しんでいる。

地藏盆も終わりに近づいた時、雨が降り出した。急いで出来上がったたこ焼き、食材を濡れない所に移動するが、雨が降り続くので後片付けに入る。時折雨粒が鉄板にあたりジューと音をたてている。

後片付けも終わり園長先生のお礼の言葉を後に和敬学園を後にする。自宅に戻る頃には雨もやんでいた。



第39期自己研鑽パレスホスピタリティー交換会

日時 2009年8月30日

会場 京都 YMCA リトリートセンター 大森夏彦

近づいていた秋雨前線も何処へやら、晴天の中で開催となった『第39期自己研鑽パレスホスピタリティー（おもてなし）交換会』。

新人メンバーのみ…先ずは、何ともおぼつかない新人の人間関係作りから始まった企画ですが、本当に大勢の先輩方に参加いただきまして誠にありがとうございました。

新人が総合司会を行う中、プログラムに沿って開会式の挨拶は、忙しい合間を縫っての参加をお願いした隠塚功会長におこなっていただきました。開会式の後、研鑽プログラムの一つとして依頼しておりました大野嘉宏ワイズのスピーチには、とても感銘を受けました。40周年を迎えるパレスの歴史を知ることができたと共に、人と人との交流・親睦がとても大切なことであり人生の財産となるのだと、改めて心に刻むことができました。横一列になった新人の目前でのスピーチは、文面だけでは伝わらない、パレスというクラブへの熱い思いが声や表情から溢れんばかりに私達新人の心に響きました。

スピーチの後、山本一博ワイズの乾杯の発声を以って食事の開始。

新人より準備させていただいた食材は、バーベキュー。思っていたほど現地の火力が強くなかったこともあり、なかなかテーブルへ行き届かなかったところもあったかとも思われますが…そこは、前日の食材の仕込みや飲み物の搬入の時から精一杯に、火力よりも熱い新人の思いで、飲んで食べてを堪能頂けるよう頑張りました。食事中には、川上孝司ワイズのバンジョーの演奏を行っていただき、軽やかなリズムに身体が乗り出しそうな旋律。自然いっぱいの中で過ごす時間には、本当にピッタリの演奏でした。そこへ、大野嘉宏ワイズがギターで飛び入り参加。絶妙なマッチングで、心躍り楽しませていただきました。

食事最終盤に差し掛かる頃に行われた自己紹介では、『ワイズへの思い』『仕事上のこだわり』『家族と私』とのテーマに沿って一人一人に語っていただきました。本当に十人十色、人生における契機も人それぞれ。全員がそれぞれの思いで日々の生活を過ごしている中、そんな様々な人がパレスというクラブで顔を合わせ、お互いを尊重し、事業について語り実行していく。偏らない人々とお付き合いできることをとても素晴らしく感じました。

食事後の全員参加の景品総取りジャンケンゲームでは、森田美都子ワイズが優勝。ところが、「おめでとうございます」の言葉の中、颯爽と全景品をニコニコへ…半分でもなく全てとは、流石といったところです。閉会式の挨拶は、小西孝典ワイズによって行われ、閉会となりました。

閉会后、後片付けまで新人で、と思っていたのですが、多くの先輩方が時間の許す限り手伝って下さったこともあり、後片付け、それ以上、最後に会場を後にするまで親睦を深めることができとても楽しかったです。ホスピタリティー（おもてなし）交換会として、私達新人は、とても多くのおもてなしを頂き、自己研鑽をする上で、とても重要な機会を得ることが出来ました。先輩方にも、新人のおもてなしを快く受けとっていただけたものと信じております。

最後に、音響設備や食材を提供して下さった先輩、お忙しい中でも現地に足を運んで参加して下さいました先



輩、また、開催日の都合や健康上の理由により参加できなかった先輩、全ての方々に改めて感謝し御礼申し上げます。ありがとうございました。

佐用町ボランティア報告

人見晃弘

8月29日（土）、京都YMCAボランティアビューロの企画による、兵庫県佐用町の復興支援ボランティアに参加しました。

佐用町は、8月10、11日の台風9号による大雨で多くの犠牲者を出し、家屋への浸水などの被害を受けました。当日の参加者はワイズメン3名、子息1名、一般の方が10名の計14名で、京都駅に朝6:30集合し、YMCAのバスで現地に向かいました。兵庫県立佐用高校に設置されたボランティア本部で登録、説明を受け、メンバーが二手に分かれてそれぞれの派遣先を紹介されました。徒歩で被災エリアに入ると、町は細かい砂埃が舞っているようで、景色が黄色っぽく見えました。川沿いの歩道が崩落していたり、家屋の玄関や窓ガラスは割れ、壁に穴が開いていたり、水圧で変形して動かなくなった店舗や工場のシャッターがこじ開けられたりしていました。

私が派遣された先は印刷工場と日本家屋の民家が隣接している場所で、床板や壁を修理するための家具の移動や、中庭に積もった泥のかき出し作業をしました。台風当日は、地面から胸の高さまで水が上がってきて、中庭で渦を巻いていたそうです。半日ほどの作業で、土嚢に20袋程の汚泥と廃材等が出ました。

災害ボランティアに今回初めて参加しましたが、被災地の復興にはまだまだ時間と人手が必要だと感じました。私にとっては余暇を利用した半日程度の作業でしたが、被災者の方々にとっては毎日続く先の長い復興活動です。それでも立ち止まることなく、黙々と前に進んで行かなくてはなりません。ボランティア活動について、今回被災者や他の参加者から学んだ事、考えさせられたことは多く、今後の自己研鑽のテーマの一つとして長く取り組んでいきたいと思いました。



シリーズ「私と〇〇」

私と鬼平犯科帳

杉本泰造

テレビで古い時代劇を再放送しているが、その中で必ずビデオで録って、後で一字一句聞き漏さず眼を凝らして観ているのが池波正太郎の「鬼平犯科帳」です。

何故…と思われるが、二代目中村吉右衛門の鬼平が鬼畜の盗賊達に「火付け盗賊改め方長谷川平蔵である、神妙にいたせ」と言う啖呵を切った科白に嵌っておりまして（笑ちゃいますね）、其れにまた、鬼平を演ずる二代目中村吉右衛門の凛とした佇まいと、鍛えた美声に、さすが歌舞伎役者の伝統芸は並みの役者と違うと呻吟、惚れ込んでいます。そして池波正太郎の描く人情味溢れた鬼平と、密偵や盗賊の掟が見事に描かれた鬼平犯科帳を読み、観ることは私には至福の時であります…そして、食通の池波正太郎が大金を叩き、身を削って食した料理や店が出てくるのが興味をそそります。「鬼平犯科帳」でよく出るのが、鬼平と密偵達との密談をする店「五鉄」で軍鶏鍋を食べる場面ですが、吉右衛門の食べ振りは、誰もが一度は食べてみたいと思わせる流石の振事であります。ほかに酒肴の場面が多くあり、吉右衛門の豪快な酒の呑み方も池波文学の訓えであります。京都では嵯峨鳥居本平野屋の鮎めしが出てきております。池波正太郎の作品には日本国中の料理が登場し、食へのこだわりが池波作品の不思議な魅力となっているのではないかと思います。魅力と言えば、吉右衛門の鬼平は別格であります、脇役達の魅力も確かなものです。大滝の五郎蔵役の綿引勝彦・小房の糸八役の蟹江敬三・相模の彦十役の江戸家猫八と、役にはまっているが、おまさ役の梶芽衣子の色香はとびっきりで、あまりの美しさに観る者を奈落の底に墮としいれる。



20年前に撮られた作品で、男も女も30歳から40歳の魅力が画面に満ちておりますが、今は、皆さん60歳以上に歳を

食い、画面には冥途に旅立った役者もおります。それを横目で視ている家主さまが、ようそんな古い映画を飽きもせんと観てるな…。

死んだ人もやはりと、冷たい眼でいつも同じ事を言って馬鹿にしています。二代目吉右衛門の父上白鳳の鬼平も若い頃テレビで観たが、やはり二代目吉右衛門 40歳の鬼平が歳ピッタリで良い。20年前、撮影の合間に高雄のゴルフ練習場に鬼平と部下が練習に来ていて、鬼平とゴルフ談議をほんの一時したのは忘れられない僥倖でした。今、26巻 10万円の「鬼平犯科帳」のDVDを買おうか買わないか迷いながら、絶対水曜8時忘れずビデオに録って、若い時に観た二代目吉右衛門の「鬼平犯科帳」を今、年を食ってまた観るのも楽しみのひとつです。

シリーズ「私と〇〇」

私と琵琶湖

平井久夫

兄に連れられ、江若鉄道に乗り志賀町の叔父の家で水泳や釣り三昧の夏休みを過ごしたのは小学生のころでした。中学生になれば友達と自転車で近場の柳ヶ崎水泳場へよく出かけました。オートバイ仲間と各水泳場を転々として夏を過ごしたのは高校生になってからでした。

家庭を持って子供たちが小学校に入るころからは、湖西の白浜でテントを張りキャンプするのが我が家の夏休みでした。近年は、徒歩や自転車で逢坂山を越えて、におの浜や膳所城跡公園近辺を散策したり、サイクリングをして心身を癒しています。

もともと琵琶湖の水は自身日々の生活に1日たりとも欠かすことのできないものです。水に不自由なく暮らしができるのも先人の知恵と湖水のおかげと思い感謝しています。



シリーズ「私と〇〇」

私と目ん玉

塚本優子

「あっ！ 目ん玉入れたまま寝てしまった！」

「あっ！ 目ん玉落とした！」

「あっ！ 目ん玉ずれた！」…隣で聞いている人がいれば、????という顔をする。

私が言う「目ん玉」とは、「コンタクトレンズ」のことである。

超ド近眼の私は、コンタクトレンズが無くては何も見えない。30年以上、コンタクトレンズは、まさしく私の目ん玉となってくれたのだが、昨年12月、レーシック手術を受け、私の目ん玉はコンタクトレンズ→自前になった。

強度の近視ゆえに手術対象外と他院で言われたものの、超不規則な生活で48時間着けっぱなしとか、着けたまま寝るとかが日常茶飯事だった私は、「あまりすっきりとは見えないと思いますが…」と言われながらも手術を受けた。

結果は、予想していたこととはいえ、コンタクトレンズよりはるかに出来の悪い目ん玉である。

それでもやはり受けてよかったと思うのは、起きて直ぐの「目ん玉装着」と、寝る直前の「目ん玉脱着」の時間と手間が無くなったこと。

これは、かなり快適である。

何をするのもどこに行くのもコンタクトレンズが必需品だった私は、海やプールにも行けなかったし、長年の長時間装用のツケや、万一の災害のことなどを考えていても不安だった。

それが今は！（^v^）V！

これからは、憧れていたアジアやインドの田舎の方への旅や、ダイビングもやってみたい！（その前にダイエットしなきゃ！）

よろしく！ 自前の目ん玉！



お知らせ

(承認事項)

- 第1号議案 和敬学園地蔵盆の件 (地域環境)**
8月22日(土) pm 2時30分集合準備スタート 模擬店開店はpm 5時30分頃を予定 内容 例年通りたこ焼、カキ氷、飲料水を提供する。承認。
- 第2号議案 ホスピタリティ交流会の件 (EMC)**
8月30日(日) 会場 京都YMCA リトリートセンター am10時受付、10時半開会～pm 2時半閉会、3時解散
新人メンバー(大西・大森・坂本・塚本・藤松・吉岡幸次)各ワイズが企画及び運営を行い、内容はバーベキュー・ゲーム・大野ワイズ講演・川上ワイズバンジョー演奏等で詳細はEMC委員会一任。参加費 大人1,000円、子供500円、幼児無料、但し、予算については参加人数による変動がある為、追加予算も考慮した上での承認とする。
- 第3号議案 新入会員候補の件 (EMC)**
会則7条並びにEMC委員会規定をクリアし会員候補者となった丹治徹二君を全メンバーへの書面による回状での異議の無い事を条件に入会を承認する。推薦者は、野口君と小西君で、8月第2例会で入会式を行う。
- 第4号議案 大森君、塚本君、藤松君、吉岡幸次君 配属変更の件 (会長)**
入会后3ヶ月を経過した上記メンバーの委員会配属を下記の通りとする。承認 大森君-広報委員会、塚本君-ドライバー委員会、藤松君-交流委員会、吉岡幸次君-ファンド委員会
- 第5号議案 8月第2例会ゲストスピーカーの件 (ドライバー)**
ゲストスピーカー 京セラ教育企画部責任者 高津正紀(コウヅ マサキ)様 テーマ 京セラ教育システムの実態 プロジェクター・PC(隠塚会長)、スクリーン(ホテルに依頼)を用意する。承認。
- 第6号議案 10月第1例会の件 (ドライバー)**
ゲストスピーカー 京都国立博物館 館長 佐々木丞平様 テーマ ドライバー委員会一任 承認。
- 第7号議案 10月第2例会の件 (Yサ・ドライバー)**
YMCA ボランティアリーダー4名を招き、YMCA 国際プログラムと発達障害児サポートプログラムの活動報告をしてもらう。尚、このコーナーの進行はYサ委員会が行い、謝礼については各プログラムの活動支援金として30,000円をYサ予算より拠出する。リーダー4名分の会食費も含め承認。
- 第8号議案 谷口君会友推薦の件 (会長)**
2009年6月30日付で退会した谷口武志君を会友とする事を承認。今期においては、クリスマス例会と引継例会への案内を送る。
- 第9号議案 「ワイズデー」の取り組みについて (地域環境)**
京都部地域奉仕環境主査が提案するワイズデーでのHIV/AIDS防止の取組に対するパレスの見解として、ワイズ国際事業でもあるHIV/AIDS防止活動への協力に異論は無いが、それをワイズデーの取組にするという提案については、内容がワイズデー本来の意味合いにそぐわないと思える為、賛同出来ないとの決定に至った。
- 第10号議案 「つばす会」イベントへの協賛の件 (40周年事業)**
40周年記念事業の計画の一つでもあるイベントの参考として色々とアドバイスを受けた経緯もあり、今回の「つばす会」イベントへクラブ予備費から10,000円の協賛をする。承認。

Happy Birthday

14日 福井将一 28日 坂本伸二

YMCA NEWS

1. 国際福祉専門学校入学希望者をぜひご紹介ください

国際福祉専門学校は10月1日からの願書受け付け開始に備えて、募集活動を実施中です。

【介護福祉学科】

「すべてのひとりひとりのために」よりよいケアを求めて行動しつづけることができる介護福祉士を養成します。

・5年連続(2005年～2009年)就職率100%達成!

・国家試験免除で「介護福祉士」を取得（2010年度入学者まで）

※2011年度入学者からは国家試験受験が必要

【社会福祉士科（通信制）】

2010年度開講準備中！詳しくはお問い合わせください。

皆様からご紹介くださった方が当校を受験される場合は受験料（20,000円）を免除させていただきます。またご紹介の方には心ばかりの粗品を進呈させていただきます。お問い合わせ等がございます際は、専門学校辻中までご連絡をお願い致します。

京都 YMCA 国際福祉専門学校 辻中康宏

電話 075-255-3287 FAX075-255-2805 e-mail tsujinaka@kyotoymca.or.jp

2. 後期募集のお知らせ

グローバルアウトドアクラブ・スイミング・体育

9月9日（水）午前10時より一般の方の後期募集が始まります。お知り合いの方で興味のある方がいらっしゃいましたら是非お勧めください。ご継続の方で定員に達しているクラスもございます。詳しくはお問い合わせください。

お問い合わせ・お申し込みともに下記まで。

グローバルアウトドアクラブ 電話（075）231-4388

スイミング・体育 電話（075）255-4709

3. ボランティアセミナーのご案内がん患者さんとそのご家族へ

第31回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日 時 9月19日（土）午後7時～9時

場 所 京都 YMCA（三条柳馬場）

参加費 お一人 300円

※お申込は京都 YMCA 電話（075）231-4388または vb@kyotoymca.or.jp

4. 平和のつどい『東北アジアに平和の実現を！～北朝鮮、韓国、中国の人びとと向き合うために～』

今、劇的な変化を見せる世界と時代にあって、東北アジアの平和の実現に向かって日本の果たせる役割は何か、YMCAの私たちにできることはあるのかなど、ともに考えてみましょう。

講 師 徐 勝（ソ・スン） 立命館大学コリア研究センター センター長

日 時 9月24日（金）午後7時～8時30分

場 所 京都 YMCA 三条本館

参加費 無料

編集後記

梅雨が明けたらもう秋になってしまったかと思いきやまた暑い日が続いています。ええかげん涼しくなって欲しいです、夏バテもピークです。

WEB プリテン→ <http://pr.kyoto-palace.com>

京都パレスワイズメンズクラブ第39期 広報委員会

委員長 高田 敦 / 副委員長 小櫻武彦 / 委員 瀬戸伊佐雄、為国光俊、吉楽貴之



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

10 2009

CLUB OFFICE
京都 YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2009.10.1 発行
第 39 巻第 4 号 通巻 448 号
CHARTERED 1971

- クラブ会長主題** 「感謝(Thank you)の念を持って、しっかりとした基盤づくりを！」～40周年へステップの年～
国際会長主題 “The Power of One” 「一つとなる力」
アジア会長主題 “Dreaming Asia, Loving Asia” 「夢見るアジア、愛するアジア」
西日本区理事主題 “すべてのいのちを大切に” —いのち・平和・環境—
京都部部長主題 豊かな心 熱き思い —555実現に向けて—

会 長 隠塚 功
副会長 岡見 紫
副会長 山本一博
書記 河合信也
書記 人見晃弘
会計 小林千春
会計 杉本泰造

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

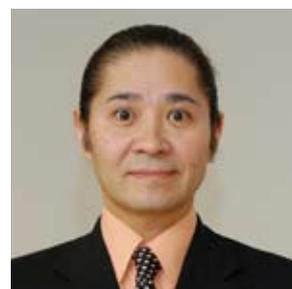
強調月間
BF

聖句 わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。
これがわたしの掟である。

ヨハネによる福音書 15 章 12 節

39 期 EMC 事業

京都パレスクラブ39期EMC事業委員長 **小西 孝典**



今期の EMC 事業は、40 周年に向けて、会員増強 15 名を目指すのを主テーマとしております。書くのは簡単ですが 15 名というのは簡単な数字では有りません。クラブ全体の協力を得て初めて可能になる数字です。メンバー一人一人の協力があってこそ、可能となると思います。40 周年期になってから慌てて頑張っても間に合いません！ 皆さん会員増強に、是非ご協力宜しくお願いいたします！！

ただ、EMC 委員会の活動は会員増強だけではありません。先日 8 月 30 日（日）にリトリートセンターにおいて、38 期の新入会員による自己研鑽の会を開催いたしました。『39 期自己研鑽パレスホスピタリティー交換会』と銘打って、新入会員さんによるおもてなしの美食バーベキューの会でした。今までになかった、保冷車・ビアサーバーを持ち込みし、食材もサーロインステーキ・岩ガキ・ホタテ・などで、いつもは辛口？（笑）の参加メンバーに口を揃えて「とても豪華なバーベキューだった」と言わしめた、おもてなしでした。その上、研鑽プログラムとして大野嘉宏ワイズの小堀理論の分かりやすい説明、参加全メンバーによる「ワイズへの思い」「仕事上のこだわり」「家族と私」のテーマでのスピーチ、川上孝司ワイズのバンジョーの演奏など、盛りだくさんの充実した内容でした。

最後に、今回の EMC 自己研鑽の会が成功したのは、新入メンバーの大西寛子ワイズ・大森夏彦ワイズ・丹治徹二ワイズ・塚本優子ワイズ・藤松幸一ワイズ・吉岡幸次ワイズ・の素晴らしい個性や得意分野が絶妙に噛み合った事と、ヘルプの方々のサポートと、ベテランメンバーの適切な協力があった結果だと思っております、この体験は、新入メンバーにとっても大変良い勉強になったと思います。これもパレスクラブの豊富な人材と、懐の深いクラブの気質があってこそと思っております。

これからも皆さんと共に我がパレスを素晴らしいクラブにしていきたいと思っておりますので、益々の EMC 事業へのご協力を宜しくお願いいたします。

例 会 出 席				ニコニコ/ファンド/BFポイント			
在籍クラブ会員数	54 名	9 月第 1 例会出席	34 名	9 月第 2 例会出席	29 名	ニコニコ 9 月第 1 例会	0 円
内、功労会員数	1 名	内、メンバー	34 名	内、メンバー	29 名	ニコニコ 9 月第 2 例会	54,695 円
担当主事数	1 名	メネット	0 名	メネット	0 名	累計	108,695 円
維持会員数	1 名	コメット	0 名	コメット	0 名	ファンド収益	0 円
		ゲスト	0 名	ゲスト	0 名	累計	0 円
		ビジター	0 名	ビジター	0 名	B F 切手	0 PT
		スピーカー	0 名	スピーカー	0 名	B F 現金	0 PT
月間 MU 総数	0 名					累計	0 円
月間出席者数	41 名						
月間出席率	80 %						

9月第1例会（第919回）京都部会振替例会

日時 2009年9月13日
会場 京都全日空ホテル 高岡 昇

9月第1例会は京都部会を振替例会として9月13日（日）午後3時より全日空ホテルにて開催されました。

最初に各クラブの会長によるパナーセレモニー等の式典がありました。

第2部の記念講演は「拉致被害者を救う会」の横田 滋、早紀江ご夫妻のお話でした。今までにもお二人の話はテレビ等のマスコミを通して断片的には聞く機会がありましたが、今回、目の前でお二人の悲痛な訴えを聞くと、出来るだけ早く拉致被害者の問題が解決することを祈らずにはられませんでした。

懇親会は打って変わって、ジャズバンドあり、男性コーラスユニット『カーポ・ドルチェ』の演奏ありの華やかさでした。その中で我がパレスクラブの新入メンバー達が他クラブのメンバーと一生懸命親睦を深めていたのが印象的でした。

そして、午後9時前に無事お開きとなりました。



9月第2例会（第920回）

日時 2009年9月23日
会場 京都 YMCA 三条本館 為国光俊

誰が名付けたか「シルバーウイーク」。5月のゴールデンに対してシルバーとのことらしく、敬老の日をかけているのでしょうか。じゃあ、素朴な疑問として浮かんでくるのは、ゴールデンウイークは誰が決めたのだろうか？ 一説によると、映画全盛期時代にお正月に次いで観客の入りがよくった連休に、大作をおつけるようになった映画業界が宣伝も兼ねて作りだしたことばのようで、NHKがあえて大型連休と表現しているのは宣伝用語となってしまうからやろかと思いつくほど、土曜も入れると5連休もの休みで、暇はあっても財布の紐はひきしめる長期休暇でした。

その最終日の9月23日に京都 YMCA に会場を移しての9月第2例会。こちらは時間短縮、集中しての1時間例会となり、テーマは「40周年事業に向けて」。次期40周年を迎えるにあたっての復習をしました。最初に35周年記念例会でお披露目したDVD「35年の歩み」を上映、これが大変良くできていてパレスの歴史やパレス流哲学がわかりやすくまとめてありました。今後はEMC オリエンテーションで使用して新入メンバーに観てもらえればよいなと思ったのは私だけではないと思います。当時、資料提供は、太郎次郎名コンビの杉本、西川君、ナレーターはプロ顔負けの隠塚会長メネット、編集はこれでパソコンを2台も潰した平野君、あらためて本当にご苦労様でした。続いて、20、25、30、35周年の記念事業を振り返るために、杉本君、井上均君、河合君、為国が当時の様子や考え方を説明し、最後に40周年準備委員会での経緯を話して例会を終えました。その後は、福井君の計らいにより、ビックリ価格（当然安いビックリです）で懇親会を設定していただきました。

パレスはいつも「新しいこと」を求め続けて歩んでまいりました。これからの40周年も変わらずに「新たなもの」を求め続けていくでしょう。そして、その中心となっていくのが若手メンバー！！ 彼らが懇親会で盛り上がり親睦のエネルギーを奉仕活動につなげていく！！「その若手は？ 若手はいずこに？」と叫ぶ懇親会出席者の大多数が中堅以上なのは、やはりシルバーウイークが原因だったからでしょうか。



中西部部会に参加して

隠塚 功

9月26日、高槻クラブがホストをした中西部部会が、総勢170名を超えるメンバーの参加のもとで開催されました。この部会では我がクラブの大野ワイズが講演されるということもあり、山本副会長、人見書記とともに参加しました。

他の部会にはほとんど行ったことはなかったものの、10回の京都部会、そして西日本区大会にも出席しているので、正直あまり違いはないもの



思っていました。最初のパナーセレモニーで驚かされました。と言うのも、松浦祥子さんという歌手が会長を先導して入場し、会場を練るようにゆったりと歩いてステージに向かい、全会長がステージに揃った後はパナーを最後まで壇上奥に広げて掲示されたのです。私にとっては新鮮で、良いパナーセレモニーであったと思っています。式典はその後滞りなく進み、そして大野ワイズの講演。奈良伝さんや鈴木謙介さんなどの思い出話が導入部となり、小堀理論に移っていきました。親近感を持たれた中西部のメンバーは、真剣に、そして時には笑いを持って大野ワイズの話に聞き入っていました。結果、西日本区2000人、中西部200人をスローガンにメンバー増への意思統一が図られ、主催者の意図が十分に生きた講演になったのではないかと思います。その後にパーティーが行われましたが、どのテーブルも着席したまま談議に花が咲いており、京都部のように席を移動する人が少ないことが意外でした。積極的に動かれていたのは西日本区大会をホストする広島クラブのメンバーくらいではなかったでしょうか？そして最後には恒例の各大会アピール。早くも来年の京都部会のアピールにグローバルクラブが来ていたこともあり、私たちが京都部メンバーとして壇上で一緒にアピールしてきました。

なかなか時間の調整は付かないでしょうが、他部の部会に出てみるのも新鮮で良いですよ。新たな気づきをいただく良い機会となりました。

京都 YMCA リトリートセンター（通称リトセン）の歩みとパレス

杉本泰造

昭和39年頃から、京都YMCAの青年会員やリーダーから誰にも気兼ねなくゆっくりと語り合える静かな環境を備えた研修（リトリート）場を求める声が上がりました。その声は昭和39年のYMCA会員協議会に届き、建設が具体化されました。バザーの売上や寄付金により建設資金募金目標額150万を達成、宇治市二の尾の地に三千坪の用地を買い求める事ができました。リトセンの建設はYMCAのワークキャンプと称して会員自らの手で共に汗を流して行われました。密生した雑草や笹を刈り取ったり木株や根を取り除いたり、地面を掘り起こして整地し、溝や道路を作ったりといった大

変困難な作業を通じて会員の連帯もより強くなりました。昭和 41 年 9 月に第一号のロッジが会員の汗と力の結晶として、まず完成いたしました。

パレスクラブでは 1971 年のクラブ設立以来リトセンを支えてきております。今日まで煉瓦作りのバーベキュー台 2 台の設置、野外チャペルの建設、本館の屋根・根太修理等多くの奉仕活動をして参りました。2002 年には京都 YMCA 創立 100 年記念として新研修・宿泊棟の建設計画が持ち上がり、早速に YMCA に募金委員会がもたれました。私も募金委員に選ばれ募金を各方面に頼みに行き目標の募金、5000 万を達成することができました。パレスクラブ会計からは 100 万円、メンバー個人からも多額の募金をいただきました。コンペの結果、新研修・宿泊棟は川勝君の設計が採用され、電気工事は瀬戸君に協力頂きました。いずれも破格の奉仕価格でのご協力でありました。他にもパレスのメンバーからは、川上君からは薪ストーブ 2 台と音響設備を、岡見君からは本館に湿気よけの竹炭の寄贈を受けました。募金委員としても大いに胸をはることが出来、皆様の御厚意に大変感動し感謝したのを覚えております。これまでリトセン運営委員会の委員長を大野君が担当し、2002 年からは川上君も委員に加わりその維持と運営の為に頑張ってくれております。

リトセンの創設から今日に至る歴史とパレスクラブの関わりをざっとご披露しました。リトセンはパレスクラブ活動の原点の一つである事も少しご理解頂けたかと思えます。まだ一度もリトセンの支援活動に参加されていない方は、ぜひ 11 月 15 日（日）のオートムフェスタに参加してみてください。YMCA とパレスクラブの素晴らしさがみえますよ。

入会に際して

丹治徹二

皆様、はじめまして。野口大輔ワイズに声を掛けて頂きこの度パレスに入会しました丹治徹二です。入会させていただきありがとうございます。

僕は独立するまで沢山の先輩に叱られながら仕事のパフォーマンスを向上させてきました。これから経営者としてより上を目指し成長する為には経営者の良い先輩が必要と感じたのも入会の動機の一つです。色々教えて頂きたいと思っていますので宜しくお願い致します。

会社名は直治コーポレーションと言います。業務内容は、貯水槽清掃工事（飲料水のタンクを清掃、修繕）、排水管高圧洗浄工事（排水管の詰まり通し等）、建築美装工事（薬品等を用いての掃除）、エアコン洗浄工事といった清掃業務や工事です。

なぜ社名「直治コーポレーション」なのかとよく聞かれます。社名の「直治」は太宰 治の小説「斜陽」の人物名からつけました。小説の中の事とはいえ死んでいく「直治」を社名にするのは縁起が悪いと周りにも言われましたが、直治の台詞『生まれてきた喜び、命を、心から喜んでみたいと思う』に共感を覚えあえて採用しました。起業してから本当にその言葉の意を深く感じる事が多く、自分はこの社名をととても気に入っております。これからもパフォーマンスの良い仕事をし、自分自身そんな風に感じて生きていきたいと思っています。宜しくお願いいたします。



特別寄稿「近頃感じたこと」

奥村英雄

いつも楽しく参加させて頂いていることに感謝しております。

最近、パレスクラブに所属している意義を特に意識することがあります。と申しますのは、我がパレスクラブは、京都部のみならず全国的にもパイオニア的な存在であることと、そこかしこで紹介・案内され、お会いする方々の「パレスクラブに対する尊敬の念」といった気持ちをひしひしと感じることが多いからです。

このことは、今日まで我がクラブのメンバーの皆様が培ってこられた「見識」の賜物だと推量いたします。その中で存在させていただくことの意義と、周りのメンバーの方々と共に「より上質なメンバー」となるための努力を一層図っていかねばならないと思っています。

さて、そうした中で一つ感じるがあります。インターネットを通じて連絡し合われます文面で「主語、述語が飛び抜ける連絡文」が飛び交うことが見受けられます。確かに簡単明瞭ですが、なんと味気ない喉元がカラカラな情況に映ります。出来ることなら「良識内で判断出来る文面」を心掛けたいと思います。

また、先般、私のような若輩者が部の会議に代理で参加させていただきました時に、他のクラブのメンバーの堂々とした発言にたじろんだことがありました。しかし、その発言の内容を後で周りの方に聞きますと、十中八九誇張した発言で、その場で自分の存在をアピールするための発言であり「あの方はそういう方だ」との解説でありました。クラブを代表して出て行くからには、「見識・良識・常識」を備えた方を送り出さねばならないと強く感じた次第です。

我がクラブにおいても「壮年階層・中堅階層・新入階層」のいずれの階層であれ、クラブの中では和気藹々と親交を図

り、もし今後私が外へ出て行く時は、パレスクラブのレベルとラベルを十二分に意識し、諸先輩が築られました評価を汚すことのない行動・言動に努めたいと思う次第です。

シリーズ「私と〇〇」

私と趣味

井上 彰

私の趣味のひとつにヨットがあります。メンバーの皆さんもご存知のようにヨットは風で走ります。

普通、乗り物が動く時には、エンジン音やモーターの音がしますが、ヨットはそのような音は皆無です。聞こえるのは風を切って進むときの風と波の音だけです。爽快に走るように見えるヨットも、風に対する進路によっては、クルー(乗員)が受ける風の感じ方はさまざまとなります。風上に向かって斜めの角度でヨットを突き進めている時、実際の風力よりも1.5倍もの強い風がぶつかってきます。そして一転、進路を変え、風と同じ方向に船首を向けた時、今まで激しかった風と波の音が急に静かになり、まるで無風の状態のように風を感じなくなるのです。

自然のものである天候、風速、波を相手にしてヨットを操ることで、その時々の変化を感じ、また私に変化させることができる。この趣味が私を引きつけるところです。



シリーズ「私と〇〇」

私と海外

安達雅直

初めて日本を出たのは、中学生の頃。仕事でよく海外に行く父について行ったのが始まりです。

最初に行ったのは、中国の上海・西安でした。一応、現地の高級ホテル(全日空ホテル)に滞在したのですが、当時の西安は発展途上で、かなりの衝撃を受けたのを覚えています。たとえば、ホテルの部屋から外を見ると、朝食の家畜が真二つにされて運ばれていたり、ドラム缶で食事を作っていたり、人が建物の廊下で寝ていたり…、改めて活字にするとゾッとしますが、それが私の初めての海外経験でした。その後も、学生時代は父についてアジアの国へ行きました。一番頻繁に行ったのは韓国で、今では時効だと思いますが、未成年はNGのカジノへ行き、チェックを突破する事が出来ました(見た目年齢でクリア出来たのでしょうか…)。最近でも、少し顔を見せないと『また海外?』と言われる事がありますが、働き始めてからはそんなに機会はなく、アジアへの出張でしたら1泊~3泊程で、国内出張とさほど変わりません。昨年は、丁度この時期に仕事で1ヶ月程イタリアに滞在しましたが、今年も1ヶ月ほど滞在予定です。海外での経験を通して、精進していきたいと思います。



シリーズ「私と〇〇」

私とサッカー

荒川 徹

広報委員長よりメールをいただき原稿依頼とのこと。テーマは、私と〇〇。すぐに頭に浮かんだのが、親父サッカーです。中学から初めて約40年。自分の中で唯一継続しているスポーツです。今でも京都シニアリーグに加盟して楽しんでいます。現在のシニアリーグができたのが約20年位前です。グラウンドでは、京都の某クラブワイズメンの方とお会いしたり、マッチアップするポジションの方がお得意先の社長さんで、思い切りびっくりしたりです。

サッカーの一体何が楽しいのか? 実際にゲームでボールにタッチしている時間は、数分もないと思います。まずはグラウンドに立つことが楽しい。点を入れて



ゲームに勝つ事が楽しい。日常の全てを忘れてゲームを楽しめます。今のメンバーとは30年ほど一緒にゲームをしています。そのメンバーと一緒に酒を飲むのも楽しいです。体型も変わり、走る姿も変わり、傍目にはお笑いかも知れませんが、ゲームになるとそれなりに皆真剣です。いまだにゲーム前には円陣を組んでエールで雄叫びを上げています。2ヶ月ほど前にも右足首の靭帯を伸ばし松葉杖です。周囲の方々に迷惑をかけ、笑われ、怒られ…。でも止められないんです。下手の横好きです。この10月もスポレク全国大会(宮崎)50歳 OVERに出場のため、4日間宮崎に行きます。毛が無いように頑張ってきてます。皆さんがやっておられるゴルフも一度ならず何回かはチャレンジしたのですが、どうもとことん真剣になれません。そこそこ上手にならないと面白くないし、練習もいかないし駄目ですね。

メンバーの方でサッカー、フットサルをやっている方がいらっしゃったらいつでも声をかけてください、喜んでお邪魔に行きますので、よろしくお願ひします。

P.S 訂正箇所とお詫び

文中の“毛が無い”は、間違いで“怪我の無い”です。又ボールを蹴っている写真は現在の私ではありませんので。

お知らせ

(承認事項)

第1号議案 東京グリーン訪問の件(交流)

東京グリーンクラブ60周年記念事業「神田川船の会」2009年10月24日(土)13:30～16:00予定(懇親会)
60周年記念パーティー 17:30～19:30 補助金を交流予算より拠出する。 承認。

第2号議案 ファンドポテト販売の件(ファンド)

販売日時:2009年10月中旬 販売品目及び価格:じゃがいも¥1800、かぼちゃ¥2100、たまねぎ¥2100、さつまいも¥2100、米¥未定 トラック提供者への謝礼金:¥3000 配送料:購入金額¥20000以下は一律¥1000、それ以上は無料 参加者への弁当:未定 現金ファンド:行うが金額は未定。 決定事項については承認。未定事項はファンド委員会に一任とする事で承認。

第3号議案 11月第1例会の件(ドライバー)

京都部部長公式訪問で、部長及び随員役員のスピーチを行う。京都部部則 会計細則第3条に準じ部長及び随員役員2名の会食費をクラブより拠出。 承認。

第4号議案 12月第1例会の件(ドライバー)

ゲストスピーカー 京都工芸繊維大学学長 江島義道様(隠塚君紹介) テーマ未定。 承認。

第5号議案 12月第2例会 クリスマス例会PTの件

クリスマス例会PTをドライバー委員会と三役で構成することを承認。

第6号議案 国際協力募金の件(Yサユース)

2009年11月1日(日)三条YMCA集合。任意参加とし、クラブYサ予算より募金。
メンバーにYサ委員会より募金箱を配布。回収方法、時期についてはYサ委員会一任。 承認。

第7号議案 京都部ワイズデーへの取り組みについて(京都部広報主査)

2009年11月1日(日)午前、ひと・まち交流館にて「HIV/AIDS」エイズ予防対策協議会あ・うん江崎久美子理事長の講演会の開催。クラブとして広報活動に協力する。 承認。

第8号議案 オータムフェスタの件(Yサ)

2009年11月15日(日)10:00～15:00頃 京都YMCAリトリートセンター。今年は屋台を出さず、今後リトセンを利用してくれそうな個人や団体へのPRの機会として招待する。入会候補者も同様に招待する。チケット購入代金をYサ予算から拠出する。 承認。

Happy Birthday

5日 野口大輔君 10日 荒川徹君 12日 奥村英雄君 14日 平野雅幸君 21日 岡見紫君
29日 井上均君

Happy Anniversary

5日 田中一馬君ご夫妻 9日 杉本泰造君ご夫妻 10日 西川寿一君ご夫妻 29日 西枝攻君ご夫妻
31日 西中日向君ご夫妻

1. 京都 YMCA 国際協力キャンペーン

今年も10月1日～11月末の期間を京都 YMCA 国際協力キャンペーンとして国際協力募金を行います。例会にて募金袋を配らせていただきます。どうか皆様方の暖かな心をお待ちしております。

キャンペーン期間 10月1日～11月30日

*国際協力街頭募金協力も行います。ご参加のご協力も合わせてお願いいたします。

日 時 2009年11月1日(日) 13:00～15:00

2. 第16回日本 YMCA 大会のお知らせ

今年の日本 YMCA 大会は、YMCA に関わる人々(すべての世代!目標200名?)の参加を願って行います。

日 程:2009年10月30日(金)～11月1日(日)

テーマ:昨日、今日、明日!「つなげよう YMCA の願い」

場 所:日本 YMCA 同盟 国際青少年センター東山荘

対 象:YMCA に関わる全ての方

参加費:26,000円(2泊3日、宿泊・食費・資料代他含む)

学生・青年参加者には参加費補助を、遠隔地からの参加者には旅費補助も予定。

*ワイズメンズクラブ東西日本区より、ご支援をいただいています。

参加申込:参加申込書にご記入の上、お近くの YMCA または日本 YMCA 同盟まで。

締 切:10月16日(金)

主 催:日本 YMCA 同盟

3. リトリートセンターオータムフェスタ

森の中で美味しいお店がお待ちしております。都会の雑踏を離れて、ご家族やお友達と秋の自然をお楽しみください。

子どもも大人も楽しめるゲームや催しもあります。

日 時 11月15日(日)

場 所 京都 YMCA リトリートセンター 電話(0774)24-3838

入場料 チケットをお求めください。

チケットのお求め・お問い合わせは 京都 YMCA 電話(075)231-4388まで

4. ボランティアセミナーのご案内

1. 『死と向き合って生きる 自らのがん体験をふまえて』

講 師 細井 順氏 ヴォーリス記念病院ホスピス長

日 時 2009年10月24日(土)午後6時30分～8時30分

場 所 京都 YMCA (三条柳馬場角)

参加費 お一人 300円

お申込は 京都 YMCA (075)231-4388 または vb@kyotoymca.or.jp

編集後記

11月に開催されるリトセンオータムフェスタ。リトセンとパレスの歴史を再確認してみようとの思いで、杉本君に原稿依頼しました。ここに YMCA の志の高さとワイズの奉仕活動の原点がありました。

WEB プリテン→<http://pr.kyoto-palace.com>

京都パレスワイズメンズクラブ第39期 広報委員会

委員長 高田 敦 / 副委員長 小櫻武彦 / 委員 大森夏彦、瀬戸伊佐雄、為国光俊、吉楽貴之



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

11 2009

CLUB OFFICE
京都 YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2009.11.1 発行
第 39 巻第 5 号 通巻 449 号
CHARTERED 1971

- クラブ会長主題 「感謝(Thank you)の念を持って、しっかりとした基盤づくりを！」～40周年へステップの年～
- 国際会長主題 “The Power of One” 「一つとなる力」
- アジア会長主題 “Dreaming Asia, Loving Asia” 「夢見るアジア、愛するアジア」
- 西日本区理事主題 “すべてのいのちを大切に” —いのち・平和・環境—
- 京都部部長主題 豊かな心 熱き思い —555実現に向けて—

- 会長 隠塚 功
- 副会長 岡見 紫
- 副会長 山本一博
- 書記 河合信也
- 書記 人見晃弘
- 会計 小林千春
- 会計 杉本泰造

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間 **聖句** 木が良ければその実も良いとし、木が悪ければその実も悪いとしなさい。
Public Relations 木の良し悪しは、その結ぶ実で分かる。
Wellness マタイによる福音書 12章33節

京都部部長の思い「豊かな心 熱き思い」

京都部部長（京都洛中クラブ） 山中 将平



第14回京都部部に京都パレスワイズメンズクラブより多くのご参加をいただき、また平野雅幸広報事業主査を輩出していただきましたことを感謝申し上げます。平野広報事業主査は、京都部ホームページの管理、各事業の広報活動等、積極的に活動していただいております。京都パレスクラブは、小堀理論に基づき、培われてこられたクラブ理念、運営が京都はもちろん、全国に拡がり、自らも襟を正し、理想のクラブを追求されていることに敬意を表します。隠塚功会長は40周年に向けて、会長主題を「感謝(Thank you)の念を持って、しっかりとした基盤づくりを！」とされており、更に充実したクラブにされると期待いたしております。京都パレスクラブの部長公式訪問の前に京都部部長としての思いを述べさせていただきます。私は、部長主題を「豊かな心 熱き思い」といたしました。「豊かな心」には、思いやりの心、感謝の心、奉仕の心を含ませています。昨今の様々な要因から人の心が失われ、何が起るかわからない現在の状況の中、せめてワイズメンだけでも「豊かな心」を持っていただきたいとの思いがあります。「熱き思い」には、ワイズメンズクラブで自己研鑽し、社会はもちろん、クラブ、京都部、西日本区をより良くするため、積極的にワイズ運動に関わっていただきたいとの思いを込めています。京都部は今期メンバー数8名減の450名でスタートし、現在は少しの減または横ばいの状況という厳しい状況です。京都部の活性化には小さなクラブの活性化が欠かせないと考え、京都パレスクラブのように大きなクラブ、元気なクラブには、小さなクラブに手を差し伸べてくださいとお願いしております。手を差し伸べたクラブには「思いやりの心」が生まれ、支援されたクラブは、クラブ活性化の良さを肌で感じ、活性化を真剣に考える機会となる、そんなプラスの連鎖となればと思います。今期の京都部役員は「横型リーダーシップ」を基本とし、各クラブの状況や体力に合ったサポート、アドバイスを心掛け、大きなクラブは更なる飛躍ができるよう、小さなクラブは一律的な関わりでクラブが疲弊しないよう配慮しながらサポート、アドバイスをいたしております。京都部全体の活性化のためには京都パレスクラブのノウハウとご協力は欠かせません。京都部へのご協力をお願いいたします。

例会出席				ニコニコ/ファンド/BFポイント			
在籍クラブ会員数	54名	10月第1例会出席	45名	10月第2例会出席	40名	ニコニコ10月第1例会	9,000円
内、功労会員数	1名	内、メンバー	41名	内、メンバー	34名	ニコニコ10月第2例会	8,000円
担当主事数	1名	メネット	0名	メネット	0名	累計	125,695円
維持会員数	1名	コメット	0名	コメット	0名	ファンド収益	0円
		ゲスト	3名	ゲスト	2名	累計	0円
		ビジター	0名	ビジター	0名	B F切手	0 PT
		スピーカー	1名	スピーカー	4名	B F現金	0 PT
月間MU総数	1名					累計	0円
月間出席者数	47名						
月間出席率	92%						

10月第1例会（第921回）

日時 2009年10月14日
会場 京都ブライトンホテル

桧山政宏

10月第1例会はゲストスピーカーに独立行政法人京都国立博物館館長、佐々木丞平さんを招いて「京都の博物館事情について」の講演をしていただきました。

普段、あまり意識したことのない博物館についての存在理由、博物館が設立されるまでの経緯などを詳しくお話ししてくださいました。特に印象に残ったのは、「なぜ博物館は存在するのか？」という話です。その設立は明治維新まで遡り、やはり歴史と密接な関係があるようです。明治時代の幕開けと共に文明開化が行なわれ、西洋文化が鹿鳴館などを中心に花咲き、それまでの日本の文化が見向きもされなくなりました。初めて聞いた言葉でしたが「廃仏毀釈」の名のもとに、仏像の破壊や、姫路城が100円で落札されているなど、ショッキングな映像で説明されていました。

当時、この出来事に西洋文化を伝えているはずの西洋人が日本文化の素晴らしさに気づき日本文化が失われないように異議を唱え、それに呼応して日本政府が日本の伝統文化を守るために文化財を保護し始め、これをきっかけに博物館が設立されていったという博物館設立の経緯は全然知らないことでした。

また、文化財（例えば日本書紀、源氏物語）がなければ日本の歴史は知ることができず、文化財は「日本の文化を証明するもの」であり、日本の文化、歴史、経済を知るためにはとても大切な物であることに気づかされました。京都は特に「歴史文化都市」であり、文化教育の中心的役割を担うべきであり、そのために文化財の公開、保存、修理にとっても力を入れていることがわかりました。館長が一番伝えなかったのは、文化都市の文化を通じてこれから将来をどうしていくのかは、すべての人が考えることであり、そのために博物館が存在しているということだったと思います。これからは秋本番の観光シーズンでもあり美術館や博物館に行って歴史を感じるのもいいな～と思いました。貴重なお話をしてくださった佐々木丞平館長に感謝いたします。



10月第2例会（第922回）

日時 2009年10月28日
会場 京都ブライトンホテル

野口大輔

10月第2例会は、ワイズメンズクラブが支援しているYMCAの学生ボランティア活動をされているリーダー4名のお話をお伺いいたしました。学生さんが、こういった経営者達の前で話をするのは、大変緊張された事かと思えます。

さて、お話の内容は、「国際ボランティアリーダー」「発達障害児サポートリーダー」の2つでした。

まず「国際ボランティアリーダー」の活動については、国際交流（留学生との交流）や国際理解（研修・勉強）等がされているそうです。リーダーの方は、「人のために何かしようと考えることが増えた。留学生と共に成長出来る」とのお話でした。

次に「発達障害児サポートリーダー」の活動については、発達障害の方は、コミュニケーションを取ることが上手くなく、友達が出来にくいこと、自分の気持ちや相手の気持ちを掴むことが難しい（その中でも勉強はできる児童もいるとのこと）。発達障害児への支援は、1.子ども自身の成長 2.人との関わり方 3.社会のルールを身につける、こういった活動をしているとのことでした。当たり前のこと（友達とのコミュニケーション）が出来ない→自信をもってもらおう。そのために「成功体験」を積み重ねているとのことでした。リーダーの方は、「障害の方と一緒に思いを共有する等で、子供の成長を支援できるような社会を目指していきたい。」とのことでした。

ここまでは、例会のお話の流れを記載いたしました。さて、これを元に、私個人が感じたことを記します。

双方とも具体的なものがなく解かりにくく、よく活動内容が理解できないのが現状でした。国際交流をすることで、ど

ういった人との交わりがあったのか、心温まるようなお話を伺うことができるとありがたいと思いました。また、「原爆」に対して「原爆を落としたことにより、戦争が早く終わり、平和になって…」云々のお話がありましたが、これは個人的に申し上げますと、このような場で話すべきことなのか疑問でした。このような考えが日本の若い方の中に増えているのかな…と思いました。ある意味、衝撃でした。戦争肯定は全くしませんが、質疑応答の中で永井ワイズがお話されたように、原爆被害者だけでも未だに多くの方が苦しんでいます。ここにも視点を置いた上でお話をして欲しかったです。「人のために何かしようと思えることが多くなった」と言っていたそれまでの話と整合性が取れていないように感じました。

発達障害児サポートについて、「成功体験を積みせる」と素晴らしい言葉があり、興味を持ちましたが、具体的にどのようなプランから「成功体験」を積み上げてあげる行動があったのか全く説明がなかったように思います。共同募金をお願いするに際し、街行く人に「どうして募金をしてくれないの！」と言うことが成功体験なのか…、ある場所でバラけるのが嫌だから、児童が集まって…云々のお話にしても「それが成功体験なのか？」と解らず聞いていました。

当然、多くの方の前で学生さんがスピーチをする訳ですから、支援する YMCA もこの内容で話をすれば良いとのことだったのでしょう。ワイズも、YMCA をサポートするクラブですから、一員である私も、このような活動に微力ながらサポートしている喜びを感じたいものだと思います。



京都ウェルワイズメンズクラブ5周年記念例会

日時 2009年10月10日
場所 平安会館

岡見 紫

菊薫る10月10日、京都ウェルワイズメンズクラブの5周年記念例会が平安会館で執り行なわれた。ちと賑やか過ぎるベンチャーズのコピーバンド・京都ベンチャーズ Jr. の演奏で幕を開け、開会点鐘に続きワイズソング斉唱(伴奏が超スローでとてつもなく長い曲に思えたよ～!)。そして第6代中村隆司会長の元気な、しかし会員が設立時よりかなり減少したという嘆き節混じりのご挨拶があった。この記念例会も退会したメンバーも協力をして開く事ができたらしい。結びの詞はこの5周年を機に、また心一つにして一からやり直し、勢いのあるクラブを目指したい旨の決意表明であった。次に、神崎京都 YMCA 総主事と山中京都部部長の祝辞があり、5年の歩みをスクリーンで拝見した。そして5周年を記念して行なわれたサバエへの植樹の目録が主事に手渡された。食前の感謝、乾杯と進み、宴に突入した。パレスからは隠塚会長、山本、岡見両副会長、人見書記、平野京都部広報主査、森田交流事業委員長が参席した。

伝え聞くところによると、チャーター時の20名近くが10名を割り込むまでに減つたらしい。周年終了後にも1名が退会するとかしないとか…。隣の席には親クラブのプリンスワイズメンズクラブの岡西ワイズがおられたので、山本副会長と何故増えなかったのか、何故そこまで減ったのか、と言う話に花が咲いた。当初のコンセプトが「YMCA リーダーとの橋渡しのクラブ」だったため、嘘か真か40歳定年主義(JCみたい。パレスなら過半数が卒業だよ!)なんてことも言われてたようだ。よって若いメンバーがほとんどであり、意見が割れても間に入って仲裁する役がいなかったことや、景気の波を乗り越えられる経済的な体力がなく辞めていく会員が何人もおられたとの話であった。まだまだ本人自ら仕事に頑張らないとダメな年代が多く、ワイズの行事等に時間が取れず辞めていく方も何人かおられたという。

パレスはお蔭様でここ何年かは退会者より入会者が上回り、徐々に某クラブに追いついているが、いつ何時、同じ様な道を辿るやもしれないので、こういった原因に思いを馳せたり知ったりするのは非常に大事なことだと思う。EMC 事業委員会の方にも是非出席して頂きたかった。ワイワイガヤガヤ、そこかしこで交流が行なわれていたが、宴中ほどにまたベンチャーズ Jr. の大音響の演奏が始まったが、あまりの耳の痛さに失礼ながら山本副会長とロビーに緊急避難した(こちら耳を痛めると仕事にならないのでね)。外には同じく避難民がゾロゾロたむろし、口々に「あんな音量では隣席の者との耳元での会話でさえ無理やないか。大き過ぎるで」という声がそこかしこで聞こえ、ロビーに置かれたいくつもの喫煙テーブル席で交流が盛んに行なわれていた。同席した A 山元京都部部長が「部として会員増強を一丸となっているご時勢に、あれだけ減るのはやはり努力も足らんかったん違うか! 小さいクラブが本気になって増やさないかんのや!」と

気炎を上げると、隣で座って紫煙をくゆらせていたS田元京都部長が「こりゃ耳が痛いわ〜！」と光輝くおつむをなでられていた。(Wow〜、お酒がさせているのだろうが大胆過ぎるぜ、A山元部長！)

そうこうしているうちに30分近く続いた我慢大会のような演奏も終了し、皆さん室内に戻ったところで中塚実行委員長より謝辞があった。それも終わって『YMCAの歌』と言う司会者の声に続いてのイントロは、なんとあの西城秀樹でお馴染みの【YMCA】。スクリーンに映った歌詞(ワイズ用に替え歌になったもの)を例の手振り入りで全員起立の上大合唱!いや〜何とんでもこの時が最高に盛り上がっていた。その後、今度は真面目に「YMCAの歌」を歌い閉会点鐘とあいなった。

総勢150名を超える盛大な記念例会であったが、30名以上出席したグローバルクラブに比べ、たった6名というパレスの参加。少し寂しい感が出たのは私だけであろうか? 会員は順調に増えているが、逆に京都部での存在感は薄くなりつつあるのかも…と少し危惧を抱いての帰路であった。久しぶりに他クラブの例会参加であったが、色々な意味で考えさせられることの多い記念例会であった。



京都部 EMC シンポジウム報告

日時 2009年10月16日
会場 京都全日空ホテル

為国光俊

京都部主催のEMCシンポジウムが開催されました。各クラブから総数68名の出席者があり、パレスからも6名が出席しました。プログラムは、事例発表「わがクラブのEMCアイデア」、続いて講演「ワイズの理念、クラブの理念の再確認」、最後に「テーブルディスカッション」の三部構成となっていました。

最初の「わがクラブのEMCアイデア」では、京都部のクラブで上手なEMC活動をしている事例を出席者で共有しようという主旨で、2クラブが代表して発表しました。そのうちのひとつとしてリトセンで新入メンバーが主体となって開催された自己研鑽パレスホスピタリティ交換会の事例を当クラブ小西EMC委員長が先陣を切って発表されました。続いての講演「ワイズの理念、クラブの理念の再確認」は今回のメインプログラムであり、当クラブ大野嘉宏君が小堀理論をベースとしたスピーチをされました。

奉仕クラブは、異業種の人たちが互いに成長しあうために集まったのが始まりであり、そこで得られたエネルギーで奉仕活動をおこなったのが原点である。だから、最初に奉仕があるのではなく、異業種交流による自己研鑽がクラブの根拠をなしている。具体的には、入会候補者を勧誘するときに「とりあえず楽しいから」とか「奉仕をおこなう団体だ」といった切り口で説明するのではなく、はっきりと自他共に成長するためのクラブであると伝えることが大事ではないかと、奉仕クラブの成り立ちや京都部がなぜ活性化したかを分析しながら、分かりやすく熱い想いを持って力説されました。確かに西日本区全体を見てみると、奉仕を全面に打ち出したクラブの中には、高齢化も進みメンバー数の減少に悩んでいる例が多くあります。そういったクラブや部が今になって小堀理論に気づき、考え方を換えようとしているのが現実のようです。わたしたち京都部には元気なクラブが多く存在しますが、現状に甘んじていると、いつかは衰退するかもしれませんし、私たちパレスメンバーにとっても、小堀理論は日頃から聞き慣れている内容ですが「ワイズって何?」と聞かれたときに明確に答えられる人は少ないかも知れません。

最後に、「テーブルディスカッション」で他クラブの方々と意見交換したなかで感じたことがあります。それは、この機会に何かを得ようと前向きに参加している他のクラブからの参加者数に比べ、パレスからの出席者が少なかったことです。大野君が講師だからおつきあいで…とか、小堀理論をベースにしたクラブ理念の構築やEMC活動は大野君がいるから安心…、といった安易な風潮があるのではないのでしょうか。EMCアワーを年数回実施しているクラブや、全員一丸となってEMCに取り組んでいるクラブもあります。パレスとしても、クラブとして具体的な方向を打ち出す必要があると感じさせられたと同時に、その方策を検討する上で重要な情報が満載のシンポジウムでした。

じゃがいもファンド報告記

日時 2009年10月18日

会場 京都中央卸売市場

西中日向

今期もじゃがいも販売の季節になりました。10月18日（日）の朝8時に中央市場に集合して、当日の直接引取り、ゆうパックの手続き、各申込者への配送をファンド委員会メンバーや協力メンバーが、それぞれ役割を分担し一丸となって取り組みました。

じゃがいもの配送もパレスの大切な行事で、パレスメンバーは出来るだけ参加してもらいたいものです。皆で協力し合いながらひとつの事を成し遂げることで、参加した各メンバー同士のコミュニケーションもとることができる素晴らしい機会だと思います。じゃがいも販売もファンドとしては色々な意見があるようですが、それに勝るものはないと思います。

今年の売上げは、じゃがいも約1,500箱、お米約70袋、かぼちゃ約130箱、玉ねぎ約260箱、さつまいも約150箱でした。前期に新商品として始まったお米も、今期も同様に福井ワイズのおかげで販売することができました。お米は30kg入袋なので配送は、ああ重たかった。

パレスメンバー、その他の皆様ご苦勞様でした。何のトラブルもなく無事終えたことに感謝しております。ファンド事業委員会もじゃがいも販売で今期目標の90%を達成することができました。ありがとうございました。中央市場にて、最後に吉岡幸次ワイズのお店のお弁当を食べて解散しました。



神田川船の会報告

日時 2009年10月24日

場所 神田川・日本橋川・隅田川・小名木川

堤 雄次

東京グリーンクラブが、毎年2回開催している「神田川船の会」は、今年で30周年を迎えます。その記念すべき30周年60回目の節目に参加することにしました。

のぞみに乗れば到着まで3時間を切るのに、新幹線のチケットを買う金がなかったので、高速1,000円をフル活用して、K君と車で行く事にしました。風の噂で「あいつらは絶対集合時間に間に合わない」との声を聞き出発時間を繰り上げ午前4時に出発しました。東名は順調に進み、首都高速で渋滞に巻き込まれましたが、4時出発の威力を発揮、らくらく時間に間に合い、その日に泊まるホテルの駐車場に到着しました。

ホテルが築地だったので昼飯を築地市場ですませ、地下鉄で両国へ向かう。着いたのは集合時間の10分前でパレス一番乗りです。グリーンクラブの方から「まだ出航時間には早いから相撲博物館でも見てきたら」とのこと、おまけに時間厳守！と言っていたM委員長からは遅れるとの連絡。

出船時間内に全員集合し6番目の船に乗るが、今日は寒い！利根ではないが墨田川の川風が身に染みるグリーンクラブの長谷川さんの名調子で江戸文化や歴史を聞きながら、2時間半の神田川、日本橋川



を回る、途中の橋の上からミニスカ女子高生が手を振っていて、橋を通過するときN君おもわずイナバウワー。

下船後、秋葉原の万世での神田川船の会 30 周年祝会に参加し、千代田区長等のご挨拶のあとO会長が乾杯の音頭をとりました。ここのカツサンド旨いです！その後、銀座で再びグリーンクラブと交流、M委員長また？楽しい時間が過ぎお開きとなりましたが、折角東京まで来たのでO君の案内で六本木へ足をのばして解散、「アリガトー！」…「アリガトー」これ六本木参加者にしかわからないかな？今回は名前をあえてイニシャルにしました。

シリーズ「私と〇〇」

私と仕事

山本好一

皆さん、こんにちは。また、はじめまして。交流委員会の山本好一です。いつも欠席ばかりで大変申し訳ございません。初めてのメンバーの方も沢山居られると思いますので、改めて自己紹介を兼ねて原稿を書かせていただきます。

私の勤める会社は公益社と申しまして、お葬式の仕事をしております。ご存知のように、突発的なお仕事で予定が大変立てにくいのが一番の悩みです。言い訳ではありませんが欠席の原因の一部でもあります。ですから、人と約束などあまり致しませんので友達も段々減ってこのままでは定年退職後、寂しい老後を迎えるのではと…。もちろん、家族ともよほどのことでない限り予定をたてたり約束もしません。

永年、お葬式に携わっていますと色々なドラマチックな出来事に遭遇いたしますし、また、色々な方々との出会いもあり、私の貴重な財産でもあります。パレスクラブでの出会いも同じく私の財産であります。そのなかには、この仕事を続けるにあたり決定的となったご遺族の一言もありました。

私は 19 歳で正式にこの世界へ入り、もう 32 年も経ちました。40 歳を過ぎる頃までは自分で何でも分かったような顔をしてお仕事をしておりましたが、ご遺族の本当の悲しさや惜別の想いを感じ取れるようになったのは、ここ数年のような気がします。人の顔や形が違うように、一つとして同じ内容のお葬式はありません。時には、この私の今までの人生って、いったい何だったんだろう？家族や親戚もいたらどうに？と、こちらまで悲しくなることもありますし、映画「おくりびと」のワンシーンのように家族や孫に見送られ、ああ、最高の最後だな～と、お葬式の場ではありますが心が和むときもあります。

近年、グリーンケアという言葉がクローズアップされ、我々の業界でもよく取立たされてきました。我々は、早くから遺族の気持ちや傷ついた心を癒すことに一番気を配ってきましたし、このことがお葬式の仕事で一番難しいことです。自分自身がようやく理解し、遺族へ対して心配りができるようになれたように思います。大切な方を亡くされ、人生最後の旅立ちのお手伝いをこれからも続けていきたいと思えます。

最後に、趣味のことも少し書かせていただきます。先に書きましたように人と約束や予定をたててとやうのができないというより段々苦手になり、一人でできることが一番で、いま残された唯一の趣味は車の洗車となりました。誰にも邪魔されず車を洗う時、それが幸せな時間、ストレスの解消でもあります。よく「雨が降るのに」とか色々心配していただきますが、逆に、また洗って綺麗にできると洗車を楽しんでいます。

今後もできるだけ出席いたしますので、どうか顔を見かけたら是非お声を掛けて下さい。よろしく願いいたします。

お知らせ

(承認事項)

第 1 号議案 新入会員候補の件 (EMC)

人長 誠君の入会を承認。10 月第 1・第 2 例会のいずれかに入会式を行う。

第 2 号議案 11 月第 2 例会の件 (ドライバー)

ゲストスピーカー ストッキ・アルベルト氏 (イタリア人)、テーマ「終身刑の話」 承認。

第 3 号議案 12 月第 2 例会 クリスマス例会の件 (ドライバー)

日時 12 月 23 日 (水・祝) 18:00 ~ 21:00、会費 ゲスト・メネット 8,000 円、中学生以下のコメントは無料。 以上承認。

第 4 号議案 1 月第 1 例会 新年合同例会の件 (ドライバー)

日時 1 月 16 日 (土) 19:00 ~ 21:00、会場 日航プリンセスホテル、会費 ゲスト・メネット 8,000 円。キャピタルクラブとの取決めで服装はスーツ着用の事 以上承認。

第5号議案 台中エバーグリーンクラブのコメット例会招待の件（交流）

2009年10月～2010年9月迄、京都YMCA日本語課に留学されるコメット“ト・ガエン”さんを12月クリスマス例会、3月第1例会に招待。以上承認。

第6号議案 プロジェクター投影用スクリーン購入の件（会長）

ブライトンホテルで無料保管できる事を条件に、サイズ100インチのスクリーンの購入。承認。

第7号議案 横浜国際大会マーシャル輩出要請の件（会長）

パレスから井上均ワイズ、森田美都子ワイズを横浜国際大会マーシャルとして輩出。承認。

Happy Birthday

13日 吉岡明彦君 14日 人見晃弘君 19日 西川寿一君

Happy Anniversary

1日 藤松幸一君ご夫妻 3日 小櫻武彦君ご夫妻 7日 奥村英雄君ご夫妻 10日 荒川徹君ご夫妻
15日 宮本隼史君ご夫妻 17日 小西孝典君ご夫妻 18日 平野雅幸君ご夫妻 22日 大森夏彦君ご夫妻
22日 野口大輔君ご夫妻 23日 堤雄次君ご夫妻 30日 隠塚功君ご夫妻

YMCA NEWS

1. 世界YMCA・YWCA 合同祈禱集会

毎年11月第2週は、世界YMCA・YWCA 合同祈禱週として、同じ日に全世界に広がる両団体が熱い祈りがささげられます。京都YMCAでは、今年も昨年につづいてYWCAと合同でテーマに添った課題をとり上げ共に考える会をもちます。

と き 11月13日（金）午後6時30分から

会 場 京都YMCA 地下 マナホール

テーマ 「いま地球市民として生きるために－世界飢餓人口10億人を越えた今－」

講 師 清家弘久氏〔日本国際飢餓対策機構 啓発総主事〕

参加費 500円〔学生300円〕含む茶菓代

お問い合わせ・お申込 京都YMCA (075) 231-4388

2. リトリートセンターオートムフェスタ

森の中で美味しいお店がお待ちしております。

都会の雑踏を離れて、ご家族やお友達と秋の自然をお楽しみください。

自由参加型プログラムとして綱引き大会などリトリートセンターを使った楽しいプログラムを用意しております。

日 時 11月15日（日）午前11時（開会）～午後3時（閉会予定）

場 所 京都YMCA リトリートセンター 電話（0774）24-3838

入場料 チケットをお求めください。（大人2,000円 小学生1,000円 幼児 無料）

※各クラブ、YMCA 三条本館でチケット販売致しております。

駐車場無料

京都YMCA 三条本館、京阪宇治駅、JR 宇治駅よりマイクロバスあり〔有料予約制〕

3. スキーキャンプ・デイキャンプ受付会員優先

11月5日（木）～9日（月）午前10時～午後6時 お電話にて受け付けます。※日曜除く

電話（075）231-4388

ただし上記期間に限りFAX・Eメールでも受け付けます。（24時間）

FAX（075）251-0970

E-mail campmoushikomi@kyotoymca.or.jp

11月10日（火）からは会員外の方の受付が開始されます。お電話のみの受け付けとなります。

4. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第34回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日 時 2009年11月21日(土) 午後7時～9時

場 所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人 300円(お茶代等)

お申込は 京都YMCA(075)231-4388 または vb@kyotoymca.or.jp

編集後記

10月はじゃがいもファンドに神田川船の会、これからクラブのイベントや事業が増えてきます。メンバーのみなさんプリテン記事のご協力よろしくお願いします。

京都パレスワイズメンズクラブ第39期 広報委員会

委員長 高田 敦 / 副委員長 小櫻武彦 / 委員 大森夏彦、瀬戸伊佐雄、為国光俊、吉楽貴之



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

12 2009

CLUB OFFICE
京都 YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2009.12.1 発行
第39巻第6号 通巻450号
CHARTERED 1971

- クラブ会長主題** 「感謝(Thank you)の念を持って、しっかりとした基盤づくりを！」～40周年へステップの年～
国際会長主題 “The Power of One” 「一つとなる力」
アジア会長主題 “Dreaming Asia, Loving Asia” 「夢見るアジア、愛するアジア」
西日本区理事主題 “すべてのいのちを大切に” —いのち・平和・環境—
京都部部長主題 豊かな心 熱き思い —555実現に向けて—

会 長 隠塚 功
副会長 岡見 紫
副会長 山本一博
書 記 河合信也
書 記 人見晃弘
会 計 小林千春
会 計 杉本泰造

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間
EMC-E

聖句 「見よ、おとめが身ごもって男の子を生む。その名はインマヌエルと呼ばれる」
この名は「神は我々と共におられる」という意味である。
マタイによる福音書1章23節

交流事業は素晴らしい！

パレスクラブ交流事業委員長 森田 美都子



IBC・DBC・YEEP・STEP 事業から成る交流委員会。

「みなさん、ワイズ活動の中でどんな風に交流事業を楽しんでいますか…」

昨年は京都部交流事業主査という役職の中でクラブ訪問の際、常にこのフレーズで多くの京都部メンバーに問いかけて廻ったような気がします。そして今期はパレスクラブの交流委員長を拝命し「はたして自クラブのメンバーは全員が楽しむ交流事業になっているのだろうか」とここに来て自身に問いかける機会も期にもなってきました。

10月末に DBC 交流で東京グリーンクラブの事業に参加させていただきました。メンバーは超ベテランメンバーも多数初参加。「初めて行ったけど楽しいし、なかなか意義ある深いもん感じたわ。絶対みんな行くべきや、知らなかったらもったいないよ」の評。そうなんです。結局交流事業の盛り上がりは、まず参加する事、「食わず嫌い」をなくすることなんです。IBCにしても「英語がしゃべれないと…」と敬遠しがちなメンバーあり。アラビア語、ヘブライ語、ヒンディ語よりも世界で最も難しい日本語を美しくしゃべっている民族です。自信を持って単語羅列OK。こんなチャンスはワイズメンでなければ経験できません。4月にはブラザークラブである台中エヴァーグリーンクラブとIBC交流です。さあ、一歩踏み出して shake hands!

世界各地のワイズメンに好奇心を？かき立てられる国際大会は来年に華々しく幕開かれます。「食わず嫌い」にならずまず参加しましょう。多様な価値・文化があることを知り、受け止めるすばらしいチャンス、最高のワイズメン世界交流の場となるでしょう。



例 会 出 席				ニコニコ/ファンド/BFポイント			
在籍クラブ会員数	54名	10月第1例会出席	45名	10月第2例会出席	40名	ニコニコ11月第1例会	10,000円
内、功労会員数	1名	内、メンバー	41名	内、メンバー	34名	ニコニコ11月第2例会	6,000円
担当主事数	1名	メネット	0名	メネット	0名	累計	141,695円
維持会員数	1名	コメット	0名	コメット	0名	ファンド収益	0円
		ゲスト	3名	ゲスト	2名	累計	0円
		ビジター	0名	ビジター	0名	B F 切手	0 PT
		スピーカー	1名	スピーカー	4名	B F 現金	0 PT
月間MU総数	1名					累計	0円
月間出席者数	47名						
月間出席率	92%						

11月第1例会（第923回）

日時 2009年11月11日
会場 京都ブライトンホテル

永井 孝

隠塚会長の挨拶の中、仙台・山形を出張してみて京都の良さを再認識したとのこと。そのとおり、外へ出て見て内の良さがわかる。他クラブを色々を見てパレスクラブの良さが尚、理解できる。まさしく同感です。

Yサ・ユース事業委員会の西村委員より国際協力募金の報告があり、YMCA ニュースとして1844年にロンドンで発足し世界で124ヶ国に広がっていること、世界最大規模のNGOであること等のアピールがありました。阿部主事より11月1日の街頭募金にて34万円以上の募金があったとの報告。Yサ・ユース事業委員会の西川委員長よりYMCAの国際協力募金への協力依頼、11月15日のオートムフェスタには川上ファンド委員長より素敵なバーベキュースタンドが提供されるとの報告がありました。

京都部部長スピーチはファンドの飛田主査がトップ、B・F、F・F、JWFもファンドに含まれるとの話から過去の切手はがしの苦勞、現在5ミリ周りを残して切るだけで良いとのこと。楽になりました。JWFは元日本区でJFと呼ばれ1994年6月末残高は3,130万円、それがJEFと分けたにも関わらず2009年6月末残高が27,757,610円になったのは西日本区メンバーの区への愛情・努力の結晶です。

西村メネット主査は、メネット会のないクラブへの対応が難しい事業への参加を促すためにイベントを企画し、メン・メネットと共に参加してもらえるようなものを考えておられます。お言葉期待しましょう。

山中部長は、自分はウエストクラブのチャーターメンバーだったけれどパレスクラブへの憧れが強かった。メネットは西川さんのファンで西川さんと会えるのが楽しみで結婚してくれたようなものだとのこと。それが本当なら西川さんファンが多い中、可愛い人が多いので少し心配です。

今期「豊かな心 熱き思い」を主題に555実現に向けての努力をしていますが現状維持の450名。この魅力ある部長のこれからの働きが京都部の発展の起爆剤となるように、パレスクラブは強力な後押しと協力を惜しむべきではないでしょう。



11月第2例会（第924回）

日時 2009年11月25日
会場 京都ブライトンホテル

松崎一博

福井ワイズの司会により定刻通りに開会され、今期2人目の入会者の入会式がEMC委員長のもと執り行われ、新しい仲間「人長 誠」さんが誕生した。

食事の後、ゲストスピーカー、「ストッキ・アルベルト」さんの「終身刑」のスピーチが始まりました。ストッキさんの生い立ちから、日本へ来た経緯などを説明をされたあと、なぜ外国人のストッキさんが「終身刑」という日本にはない刑罰の法律を作る運動を進めるのかを情熱をもって話をされました。ストッキさんはヨーロッパから日本へ34年前に来

日され、教員をしながら好きな柔道に励み家族とともに幸せな家庭生活をされていましたが、5年前に自宅に強盗に入れ放火されそのため奥さんと次女を殺害されました。その裁判の過程で日本の裁判制度の被害者家族を無視した不条理さや刑罰の軽さに、家族を殺害された悲しみ以上に強い怒りを感じて「終身刑」の制度の創設を目指す強い決意をされ、今日まで活動をされています。

私自身も、日本の刑罰に関する裁判制度は常々おかしいと思っていますが、日本人なら仕方がないとあきらめてしまいがちな刑罰の軽さや被害者家族の裁判に対する権利のなさに、合理的な考え方をするヨーロッパから来日されたストッキさんにとっては日本人以上にその不条理さに強い怒りを覚え、自分の家族のため、すべての犯罪被害者の家族のために「終身刑」制度の創設を目指して頑張っておられます。当然のこととして、閉会后署名とカンパをさせてもらいました。



ワイズデー参加報告

日時 2009年11月1日

会場 ひと・まち交流館

西村道隆

今年、Yサ委員会に配属されて11月1日(日)初めてワイズデーに参加しました。まずは、ワイズデーってなんだろう? と思い、西川Yサ委員長に質問したところ「それは、大阪ワイズメンズクラブが日本で初めて発足した日を記念して、その前後の日曜日をワイズデーとしたものです」なるほど、あとで調べると「1928年11月10日、日本で初めてのクラブ大阪ワイズメンズクラブが設立された日を記念した日」とか「日本におけるワイズの生みの親、育ての親である奈良傳氏が、北米におけるYクラブの実態を学んで帰り、翌年の1928年(昭和3年)、Y倶楽部をワイズメンズクラブに改組して国際協会に加盟申請し受領された日」要するにワイズ発足記念日ということですかね。だから全国でいっせいに、ワイズメンが奉仕活動を行うわけですね!

この日は、朝10時から、河原町五条下るの「ひと・まち交流館」でエイズ予防対策協議会 あ・うん 理事長 江崎久美子さんを講師に迎えて約1時間半に及ぶHIV/AIDSのお話を聞き、ほんとにためになりました。自分自身ももっていたエイズの知識がかなり間違ったものであることを再認識し、結局、みんながエイズに対して正しい知識をもち、日頃から家族やみんなに伝えることが最大の予防になるのでは、と感じました。ハッキリ言って私なんかはもう感染の可能性は限りなくない年齢ですが、やはり若い人たちこそ必要な知識です。早速自分の息子たちにエイズ予防の冊子をもらい、もってかえって読んでおくように伝えましたが、その後果たして読んだのか? 後日、何かの折に確認したいと思っています。

午後からは、三条YMCAの三条通り側で国際協力街頭募金活動に参加。YMCAに通う小学生の子供たちの横に立ち、ハタを持ちチラシを配り、たまに声を出すと、約一時間半街頭に立ちました。募金などこの歳までしたことのない私ですが、笑顔で募金してくれる人々にちょっと感激でした。私にとって子供たちには元気を街角の人には暖かさをもらえた奉仕活動でした。また、来年も参加したいと感じております。



YMCA 国際協力街頭募金参加報告

日時 2009年11月1日

人見晃弘

11月1日の午後、YMCA 国際協力街頭募金が市内各所で行われました。この日の午前にはワイズデーも行われ、終わってから三条 YMCA に移動しました。13:00の集合時間にしばらく余裕があったので、近所で昼ごはんを食べていると、街ゆく人々が傘をさして歩いている…朝から曇天模様で、募金活動の間は雨にならないでほしいと思っていたのですが、その後、本降りになってしまいました。



YMCA ボランティアリーダーの先導で雨具に身を包んだ子供たちが各所に出て行くのを見届けながら、我々パレスクラブは、ウェルクラブと共同で三条 YMCA 前を担当しました。冷たい雨が強く降る中でも、子供たちはひるむことなく、大きな声で通行人に募金を呼びかけます。勢い余ってじりじりと道路に乗り出していく子供たち、その度に引率リーダーが引き戻すというほほえましい場面もありましたが、無事に募金活動を終えることができました。

この日の活動を通して、子供たちの純粋な気持ちが生み出すエネルギーに触れられて良かったと思いました。また、岡見ワイズのスタッフが飛び入りで手伝って下さったことにも感謝し、ここに報告します。

リトセンオートムフェスタ潜入取材

日時 2009年11月15日

会場 京都 YMCA 宇治リトリートセンター

広報委員長 高田 敦

リトセンオートムフェスタは一般の方に利用して貰うためのアピールのイベントであると噂では聞いていたが、私も1、2度しか参加しておらず、まだよく分かっていない。学童野球のコーチ業も終わり土日に少し余裕ができたので、理解を深めるためにもリトセンオートムフェスタに広報委員長自ら潜入取材を試みた。

今期パレスクラブとしてのリトセンオートムフェスタは任意での参加、予定時間より少し遅れて到着、駐車場から会場へと上っていくとパレメンバーの姿が見えた。川上ワイズ特製のBBQセット？で小西ワイズが熱心にジャガイモを焼いている。『うまいのか？』早速小西委員長に注文し食べてみる。まあまあかな？

周りを見渡すと他のクラブが食べ物の屋台をたくさん出している。これだけ食べ物がたくさん出ていると趣旨を忘れて食っているだけなんだか満足してしまう。本題に戻りメンバーを調査。藤松くんがゲストを連れて案内している。新人ながらもなかなかやるもんだ。遅れて隠塚会長がゲストを連れて登場、さすが会長やることはやっている。オートムフェスタ後半に入ると太鼓のイベント、そしてラストは皆さんお馴染みの川上ワイズのバンジョーショー、そしてお開きに。

取材を終えて、メンバーとして何を目的に参加したら良いのか？ とりあえずゲストを連れてきて施設を使ってもらえるように紹介するのか？ 屋台やイベントのパフォーマンスで良いのか？ パフォーマンスと言えば丹治ワイズ…少し考えさせられる部分があった。個人的にはYMCAのWEBサイトのリトリートセンターページを何とかした方が良いのではとってしまう。リトセンブログも死んでるし。しかし川上ワイズの特製BBQセットはすごく気になった。来期は皆さん是非参加してください。

※西川委員長より一言

今期のYサ・ユース事業委員会の方針として、屋台は出店せずリトセンのPRに力を入れる事にしています、当日藤松君紹介のツバス会事務局の家喜博矢さんと隠塚会長紹介の電機連合京都地協事務局の廣岡和晃さんのお二人が来られてリトセンの施設を見学され、当初の目的でありますリトセンのPRができました。ご協力ありがとうございました。



シリーズ「私と〇〇」

私と飛行機

阿部和博

最も安全で、移動時間が短いといわれている飛行機。「快適な空の旅をお過ごしください」との機内アナウンスがあり、大空へと飛行機が飛び立ちます。でもしかし…。

嫌いなのです。不快なのです。とにかく私、飛行機が大の苦手です。YMCAの出張もできる限り飛行機移動を避けているのですが、それでも毎年4、5回は利用します。電車や自動車は平気なのに飛行機はなぜ苦手なのでしょう？狭い空間が嫌いなのか（ファーストクラスは広いかもしれませんが、乗ったことはありません）、あの縦揺れが嫌いなのか、地に足がついていない感覚が嫌なのか、落ちることが心配なのか、いろいろ理由を考えたことがありますが、どうも全部あてはまりそうです。そんなこともあって長時間移動はとりわけ苦痛です。緊張のせい、いつも飛行機内では眠ることができません。前回ヨーロッパに行った時も結局目的地まで一睡もせずに、TVや本を読んで気を紛らわせていました。私の親戚で大の飛行機好きがいます。国内移動も飛行機ばかり使っています。「飛行機の何がいいのか」質問したところ、「空を飛んでいるあの感覚と景色を見るだけで落ち着く」と、到底今の私には理解に苦しむ答えでした。ただ、近年、仕事で中国への渡航が増えており、2時間強のフライト体験を積み増すことで、僅かばかりですが慣れてきているような気がします。「快適な空の旅」を過ごせるようどなたか良い克服法を伝授していただけないでしょうか。みなさん、よろしく願います。



シリーズ「私と〇〇」

私とストレス

笹山直世

私にとって1年で一番憂鬱なシーズンが今だ。9月頃から年末の準備が始まり、11～12月で一気にピークを迎える。今年は不景気で、売り上げが芳しくなかったため、年末の仕事は贅沢いわずに来るもの拒まずせせと注文を取っていったおかげで例年を上回る忙しさだ。目が回る…生まれて間なしのわが子とも一緒にいる時間がない…カネのこと、従業員のこと、家族のこと、色んな問題が一気に津波のように押し寄せるとストレスで脳みそが1.5倍位に腫れ上がっているような気分になる。そんな心も体も決して健全ではない状態が数ヶ月続く。そんなこの時期、私にとって唯一の楽しみが食事なのだ。朝・昼・晩、その時思いつく「食べたい」と思う物を食べるように心がけている。で、ここ最近私がよく「食べたい」と思うお店を紹介させていただくことにしましょう。まず、日々のことなので、高級な店はまず行かない。あと職場が南区なので、下京・南・伏見区エリアに偏りますので、あしからず。

私は昔、大阪方面に出かける機会が多く、大阪では所謂粉もん食べる事が多くありました。で、粉もん=大阪と思ってたんですよ。でもね、最近、実は京都の粉もんって相当美味しいじゃねえの？って思うんです。お店によりアタリ・ハズレがかなりあるように思いますが、アタリのお店に関して言えば相当美味しいお店があるように思います。粉もんの代表格お好み焼きは、最近、西大路七条にある“徳ちゃん”というお店の虜になっています。ここのミックス玉は生地・具材がしっかりしているので食べていると、生地・具材が主張をしてくる。そして何とんでもここの甘口ソースとマヨネーズが最高に美味い！おそらく共に自家製かと思いますが、とにかくこの組み合わせが最高で、辛いのが食べたい時も私はこの甘口ソースを手放したくないがために、どろソースではなくあえて甘口ソースに一味唐辛子をかけて食べるんです。私にとって、ここの甘口ソース+マヨネーズは、かなりストレスを和らげるアイテムの一つです。

第二の粉もん、それはやはりうどんでしょう。うどんに関して京都のうどんは頼りないと思っていましたが、そんな事はありません。こちらもおアタリ・ハズレは多いですが、アタリのお店は相当美味しい。まず細麺であること、強すぎないがちゃんとコシがあること、麺をすすった後鼻から小麦粉の香りが抜けること、ダシが濃すぎないこと、といったところでしょうか。こちらは吉祥院にある“みね八”のカレーうどんが最高ですね。ここのカレーうどんに粉唐辛子をかなり多めに振りかけて、しょうゆを2～3滴垂らして食べるのが私は大好きです。これはストレス緩和度60%といったところでしょうか。粉唐辛子の量を増やせば増やすほど私のストレス緩和度は上がっていくように思います。

ところで、私は時々狂ったように野菜が食べたくることがあるんです。そんな時、私は“フォルクス”に行きます。そう、

誰もが知ってるあのファミレスです。で、メインの料理なんぞそっちのけでまさしく狂ったようにサラダバーの野菜たちを食い荒らしていくのです。これはかなりすっきりしますねえ…。

えっと他にもご紹介したいお店や料理、食べ方等ありますが、今回はこのへんにさせていただきます。ちなみにお店や食べ物に関しては、あくまで私の個人的な味覚や感想で、好みの問題です。異議があったとしても何も言わずにそっとしておいてください。原稿書くのも結構ストレス発散になってるかもしれませんねえ…。

シリーズ「私と〇〇」

更年期障害と私

吉楽貴之

奇妙なお題と思われるかもしれませんが、男性にも更年期障害があるようです。私にはまだ特別にどうこうといったことはありませんが、40代から50代にかけて「以前はもっとこうだったのに」など体力的な衰えなどを実感し精神的に落ち込んだりする症状らしいですね。私は昨年健康作りと楽しみのために冬の暖房の薪割りを自前で作りだしました。丸太とチェーンソーと薪割り機を買って友人達に手伝ってもらって割っていきます。2日かかりのちょっとしたイベントですがこれがけっこう重労働で、写真に写っている丸太など小さく見えるかもしれませんが2m以上あります。一人で動かすのは大変な重さです。小さく切った玉木でも1つ持ち上げるのが精一杯です。薪購入より安く上がるはずとの思惑はビール代と食事代で大きくハズレてしまいました。ここ2年は運動をした記憶がないくらいの生活でしたので、意気込みと体力がかみ合わず、なめてかかったものが結構の疲労度にふっと男性更年期の言葉が頭に浮かびました。落ち込みこそしませんが「これかあ〜!」と実感です。仕事では2〜3年前に売り上げが急降下し、それはちょうどパレスクラブに入会する前頃です。組織の運営を学べるので小さい事業所こそ入る値打ちがあると勧めていただきました。当時は職人仕事の小さな組織をさらに小さくした状態でしたので再起を図る上でも入会して勉強すべきと思いました。職人の退職も出て忙しい時期には人手不足に陥りましたが、まずは人件費を抑えるために現場で自分ができる限り動こうと決めました。売り上げ状況も少しずつ改善してきましたが、今まさにあの薪割りの時の更年期の文字が浮かびます。気力は上がれど体力は落ちるものですからね。組織を作る重要性をひしひしと感じながら、まだ立て直し途中、後一年は、お金がもったいないので自分を中心として加工現場を回します。今は泊り込みでがんばってくれている助っ人の職人やアルバイト、パートの増員など最低限の人件費で休日出勤に連日の長時間勤務で乗り切っているこの秋冬です。男性更年期障害にならないような体制や事業内容づくりを目指してから早、計画半ばの2年目。何度も何度も見直ししながら、予定通り当面、日中の大半は感謝をしながらハードな職人生活も続けることにします。吉楽は生きているのか？ はい！ ささやかながらも、気力バンバンで生きています！



お知らせ

(11月役員会承認事項)

第1号議案 川勝政男君 維持会員願いの件(会長)

39期・2009年11月1日～2010年6月30日の間、維持会員とする。会費については、例会費相当分を差し引いた額の8ヶ月分とする。承認。

第2号議案 地域奉仕・環境事業委員長 交代の件(会長)

川勝君が維持会員となり欠員となった地域奉仕・環境委員長に副委員長の安達雅直君を指名。その任期は前任者残任期間とする。承認。

第3号議案 京都部ボーリング大会PTの件(会長)

京都部ボーリング大会PTを地域奉仕・環境委員会、会長三役、その他で構成する。承認。

第4号議案 新入会員候補の件

吉岡高幸君入会について、オリエンテーション受講及びEMC委員会入会資格審査を経て、全メンバーへの書面による回状で異議のないことを条件に承認。11月第2例会での入会式予定。

Happy Birthday

4日 小櫻武彦君 7日 爲國光俊君 16日 河合信也君

Happy Anniversary

2日 金村孝一君ご夫妻 23日 吉岡幸次君ご夫妻

YMCA NEWS

1. クリスマス献金受付中

クリスマス献金への、ご協力よろしくお願ひ致します。
キャンペーン期間は12月1日～1月31日となります。

2. 会員クリスマス

京都YMCAでは、今年もクリスマスのプログラムを行います。一般の方もご参加できます。ご家族、お友達で是非ご参加ください。

クリスマス礼拝・キャロリング

日時 12月18日(金)

礼拝・キャロリング 午後7時～9時解散予定

礼拝・奨励 春名康範牧師(関西セミナーハウス活動センター所長)

場所 三条本館および三条寺町界限・新京極周辺でキャロリング

ロビーコンサート

12月14日(月)～18日(金)の1週間 各日午後6時30分～7時

14日(月) 弦楽四重奏(京都大学生)

15日(火) ハープシコード演奏(近藤謹子さん)

16日(水) ハーモニカの調べ(デュオ・ユットラ)

17日(木) ゴスペルミュージック(Vocal Unit Joy)

18日(金) ハンドベル演奏(京都ノートルダム女子大学ハンドベル・クラブ)

19日(土) ジャズ演奏(浦上ご夫妻)

3. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第35回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 2009年12月19日(土) 午後7時～9時

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お一人 300円(お茶代等)

申し込み 下記お電話又は vb@kyotoymca.or.jp

全てのプログラムお申込・お問合せは 三条本館 電話 075-231-4388 まで

編集後記

39期も間もなく前期が終了しますが広報委員会はますます盛り上がってきています。
広報委員独自の取材レポートも含め面白いプリテンを作っていきますのでご期待下さい。

京都パレスワイズメンズクラブ第39期 広報委員会
委員長 高田 敦 / 副委員長 小櫻武彦 / 委員 大森夏彦、瀬戸伊佐雄、為國光俊、吉楽貴之



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

1 2010

CLUB OFFICE
京都 YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2010.1.1 発行
第 39 巻第 7 号 通巻 451 号
CHARTERED 1971

- クラブ会長主題 「感謝(Thank you)の念を持って、しっかりとした基盤づくりを！」～40周年へステップの年～
国際会長主題 “The Power of One” 「一つとなる力」
アジア会長主題 “Dreaming Asia, Loving Asia” 「夢見るアジア、愛するアジア」
西日本区理事主題 “すべてのいのちを大切に” —いのち・平和・環境—
京都部部長主題 豊かな心 熱き思い —555実現に向けて—

会 長 隠塚 功
副会長 岡見 紫
副会長 山本一博
書 記 河合信也
書 記 人見晃弘
会 計 小林千春
会 計 杉本泰造

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間
IBC・DBC

聖句 いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。
これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。
テサロニケの信徒への手紙 第5章 16節～18節

39期上半期を振り返って

副会長 岡見 紫



ついこの間キックオフをしたはずなのにもう年の暮れ…隠塚期も折り返し地点とあいなった。期首のテーマの一つに委員会の活性化が謳われていたので、各委員会の実施事業の報告、下半期への課題等を会長や各担当三役からの報告もふまえて述べたいと思う。

まずドライバー事業委員会は多分野に及ぶ多彩なゲストスピーカーを招き、意義深い例会を企画された。委員会運営も問題なく、上半期同様下半期も素晴らしい例会が期待できると思う。

Yサ事業委員会はサバエの開設ワーク、オータムフェスタへの少しスタンスを変えた取り組み、国際協力街頭募金、キャロリング等の事業に意欲的に取り組まれ、YMCAへの理解を深めるために励まれた。下半期もベテラン委員長に若い委員の自主性を伸ばしつつ頑張っていたいただきたい。

地域奉仕・環境事業委員会は和敬学園の支援事業、ワクチンの寄付活動のNPO法人からのゲストスピーカー招聘など積極的に取り組まれた。下半期にはチャリティーボウリング大会のホストをバレスが務めるが、委員会が中心となり会長・三役と連携してクラブ全体の協力を促して成功させていたいただきたい。諸般の事情により委員長が交代となったが、安達新委員長のもと、より一層の団結をお願いしたい。

EMC委員会は今期15名という大きな目標値を設定され、上半期に3名の入会を果たしたが、下半期へかなり宿題を残すこととなった。EMCには①会員を増やす。②会員の会への理解を深め積極的な参加を促す。③退会の阻止をする。…という3つの大事な仕事があるが、この3つは実は同じ根で繋がっているのだということをよく認識して、あと半期期首の目標達成に全力投球していただきたい。

交流事業委員会は東京グリーンクラブ主催の「神田川の船の会」への多数の参加交流や、国内外の各兄弟クラブへのブリテンの送付など、IBC、DBCともに積極的に取り組まれ、おおいにフレンドシップを発揮された。交流の途絶えていた他国のクラブから返答もあり、行動を起こすことの重要性を見事に証明されたと思う。下半期も国内外を問わずより一層の交流に励んでいただきたい。

ファンド事業委員会もH.P.においてはオークションを活用し、ポテトを中心とした産地直送ファンド事業に一致団結して取り組まれ、多額の奉仕事業資金の獲得に頑張っていた。下半期はファンド例会に期待したい。

広報事業委員会は運営の仕方等で色々紆余曲折があったが、それが逆に功を奏し各委員がブリテンの作成に積極的に取り組むという嬉しい結果になった。WEBブリテン等の実験的な取り組みは軌道には乗せられなかったが、新しい取り組みを行ったことは評価したい。

以上ざっと述べたが、一つ気になるのは40周年記念事業委員会の活動の停滞である。下半期には真剣に取り組むたいと思う。

昨今政界でもリーダーシップが問われているが、委員会運営もリーダーシップが重要であると思う。このリーダーシップは強権ではなく委員の自主性を促し、目標とする方向に導くという意味合いである。委員長と委員の認識に乖離があったが波風が立つ事で活性化した委員会もあった。勿論指導力は我々会長・三役にも求められているのは重々承知している。

空虚な掛け声や大風呂敷を広げるだけに終わってはダメである。リーダーのスタンドプレーに終わってもダメであろう。「Do it ourself」の精神で下半期も取り組みたいと思う。

例 会 出 席				ニコニコ/ファンド/BFポイント	
在籍クラブ会員数	55名	12月第1例会出席	43名	12月第2例会出席	82名
内、功労会員数	1名	内、メンバー	34名	内、メンバー	41名
担当主事数	1名	メネット	0名	メネット	16名
維持会員数	2名	コメット	0名	コメット	20名
		ゲスト	2名	ゲスト	5名
		ビジター	6名	ビジター	0名
		スピーカー	1名	スピーカー	0名
月間MU総数	0名				
月間出席者数	42名				
月間出席率	80%				
				ニコニコ12月第1例会	40,000円
				ニコニコ12月第2例会	0円
				累計	181,695円
				ファンド収益	1,577,135円
				累計	1,577,135円
				B F切手	0 PT
				B F現金	0 PT
				累計	0円

12月第1例会（第925回）

日時 2009年12月9日

会場 京都ブライトンホテル

河合信也

隠塚会長39（サンキュウ）期も早いもので師走、本日の例会は、来年3月7日におこなわれる20周年記念例会のアピールに來られた滋賀蒲生野クラブ井之上ご夫妻、他クラブ訪問としてウエストッククラブより牧野会長以下4名のワイズメン、福井ワイズ紹介2名のメンバー候補と多数のゲストをお迎えしての開会となった。

会長挨拶の後、毎度お楽しみみのYサ委員会YMCAニュースでは、井上均ワイズから御殿場にあるYMCA東山荘の説明があり「その黙想館から観る富士山は最高！」とのことで、ベテランメンバーには大変馴染み深い所ではあるが、新しいメンバーが多くなってきている昨今のパレス、またみんなで行けるような企画も楽しいのではと思った。

その後、今期3人目のニューメンバー、川上ワイズ推薦の吉岡高幸君の入会式が執りおこなわれ、次期40周年に向けての貴重な戦力の誕生、大変喜ばしい事だ。

食事が終わり、いよいよゲストスピーカー京都工芸繊維大学学長 江島義道氏の登場、「不思議な人間の行動と現実」というテーマで、質問形式で大変楽しい内容の講演が始まった。その回答から、人間は利益を好み損失を恐れるためにリスクについて中立ではないこと（某弁護士先生だけは例外だったが）や、視覚を例にとり、周囲の影響により白が黒になったり、またその逆であったりと、脳による感覚的判断の働きをわかりやすく解説され、プロジェクターに映し出される図柄を少し動かすことで見え方がすっかり変わってしまう不思議を体感した時は正に感動ものであった。

今回はクリスマス特別例会、本日の上半期最後の通常例会は私にとって39（アリガトウ）に相応しい素晴らしい例会であった。



12月第2クリスマス例会（第926回）

日時 2009年12月23日

会場 京都ブライトンホテル

大西寛子

『アメージング・グレース』が流れる中、可愛い天使達と昔可愛いかった？天使達の入場からクリスマス例会が始まりました。

今年の高谷さんのクリスマス・メッセージは「ヨハネの手紙」からの朗読。

『愛する者達よ、互いに愛しあいましょう。なぜなら神は愛だからです。』

お祭好きの日本人にとってクリスマスは「酒が呑めるぞ♪」の最大イベント。でも本当はキリストのお誕生日なのです。キリスト様も私達と楽しんでくれている事でしょう、彼は愛なのだから。

さて、楽しいイベントが始まりました。今宵のスペシャルゲストはクロマチック・ハーモニカ奏者：徳永延生さん。ハーモニカといえば私達が一番最初に手にした楽器かもしれませんね。しかしクロマチック・ハーモニカの演奏は私達の吹いたハーモニカより難しいみたいです。命を吹き込まれた金属はまるで生きもののように会場中を巡ってました。ピアノの岡見紫ワイズとウッドベースの鶴賀信高さんとの共演は本当に楽しかったです。演目もスピーディーワンダー、ポニョ、クリスマスソング、映画音楽…と皆が楽しめる内容で、アンコールの『ラブ』まであっという間のステキなひとときでした。

その後、誰だかわからないくらい？よく似合いすぎの会長サンタさん、河合ワイズ、人見ワイズのトナカイさん（皆さん本当によくお似合いで（笑））達によるコメントへのプレゼントがありました。後日談なのですが「あのトナカイの角は頭に刺さって痛かったんや（河合Y）」との事。サンタさんトナカイさん達お疲れ様でした。

私事なのですがパレスサンタからの3つのプレゼント「ドアプライズ」①ヒーター（新店舗で使います♪）②体重計（これは末ちゃんに渡しました）③バイブレーター（これは…どのように…西枝さん(-;-))が私的には何より嬉しい出来事でした。

した。

楽しいクリスマス例会になった事をドライバー委員会や御準備をされた方々に感謝します。ありがとうございました&お疲れ様でした。



『平和を祈る』 キャロリング

日時 2009年12月18日

場所 京都YMCA、新京極・三条寺町界限

大森夏彦

2009年12月、ノーベル平和賞を授与されたのは、核の廃絶を訴えたバラク・オバマアメリカ合衆国大統領でした。しかし、軍備縮小への影響がある発言をおこなったことで受賞した彼が口にする「平和」とは、その後も種々の意見の中、数多くの議論を生むことになりました。

私は、12月に「平和」の言葉の示す意味を考える機会を持ちながら、『平和を祈る』を唱える行事に参加してみることになりました。それは、YMCAのクリスマスキャロリングです。クリスマス・キャロルの始まりは西欧中世の頃で、当時の旋律の曲が現代でもうたわれているとのことらしく、京都YMCAでも20年以上行われているとのことでした。

12月18日の当日は、早速キャロリングを行うのかと思えば、5年程前から行われている京都YMCAでのロビーコンサートが始まりました。午後6時30分から京都ノートルダム女子大学ハンドベルクラブの演奏でしたが、その音は全てを通り抜け、どこまでも響き続けるかのような透き通った音色でした。そして、私を含め誰もがおそらく一度は耳にしたであろう曲目ばかりで、聞き入ることができ、とても楽しかったです。

パレスクラブからの参加者は、西川ワイズ、高田ワイズそして人見ワイズでした。高田ワイズと私は広報委員会同士で初めての参加でしたので、他の多くのパレスの方の顔が見られなかったことは少し残念とも思いました。

午後7時からクリスマス礼拝が行われた後、合唱の簡単な練習を行い、午後7時30分からいよいよ街にくりだし合唱です。パレスクラブから参加の四人共、白い衣装を羽織って出かけました。寺町通りの三嶋亭前、次に六角広場、そして三条通りの十字屋前、最後に京都YMCA前の場所にて道行く人に見つめられ、また横目に見られながら各場所で5曲ほどを合唱、移動の際にも「きよしこの夜」を合唱しながら歩きました。私は、慣れない行為に戸惑いながらも、広報担当委員長である高田ワイズの「楽しめ」の一言に押され約1時間の間、懸命に参加させていただきました。あまり心にゆと

りもなく周りの状況も把握することはできませんでしたが、場所も替わり、十字屋前での合唱の頃には、廻りを見渡す余裕もできてきました。街ゆく人々を眺めてみると、キリスト教文化圏と思われる外国人の方々は、やはり足を止め楽しんで盛りに上がっていたようでした。しかし、十字屋の向かいの某とんかつ屋さんからは、何かかといった感じで若い店員が飛び出してくるなど、経験や文化の違いもうかがえることもでき、面白かったです。

今回、私は、「平和」の言葉の示す意味を考え、『平和を祈る』を唱える行事に参加してみたわけですが、今回のYMCAの行事は、『キリストの誕生を祝い、皆で平和を祈る クリスマスキャンドルサービス・キャロリング』です。祈る行為は、当然、宗教行為です。どのような教えに基づき祈るのか、これにより、大きな違いが生じることもあります。そして、「平和」を求めて行う行為にも、当然ながら色々な行為があるとも思います。「平和」になってほしいとは誰もが思っていることなのでしょう。そのために、どのような行動を起こすのかが重要視される場所ではあります。満足できたかどうかについて、私自身とても疑問に思うところもありますが、今回のようにキャロリングで平和を祈ることができるのであれば、それも一つの機会であり、手段であるには違いないと感じました。

ロビーコンサートは、クリスマスより前の日程で、1週間の間に、様々な楽器の演奏が日を替えて約1時間楽しめるようになっていました。主催は、YMCA。後援は、ワイズメンズクラブです。行かれたことのない方は、ぜひ、次回以降に、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

クリスマスキャロリングは、クリスマスより前に1日だけ街にくりだし皆で祝い・祈り・合唱します。主催は、京都YMCA。後援は、京都キリスト教協議会、ワイズメンズクラブ国際協会西日本区京都支部です。街に出て合唱し、皆で一つの思いを表現してみたいと思われる方は、一度参加してみてもいいでしょうか。



三役主催忘年会報告

小林千春

暮れも迫った12月29日、毎年恒例の三役主催忘年会が、14名の参加の下でおこなわれました。メンバーは54名まで増えたのに、忘年会は年々参加者を減らしています。また、顔ぶれも毎年ほぼ同じで、そろそろ事業仕分けの対象かなと思わせます。

ただ、今年は、今まで何故そうしなかったのかわかりませんが、初の試みとしてメンバーのお店である浪漫家でおこなわれました。おかげで、出欠ボードの言葉どおり「飲み放題・料理もボリューム満点」という状況で、細々と着実に痩せていたメンバー数名のダイエットが水泡に帰することになりました。まあ、もう年も変わるので「来年から頑張るぞ!」という来年の抱負が1つ増えただけといえばそれまでであります。

宴会は、隠塚会長の挨拶で始まり、慣例に従って次々期会長のところのレセプタントに花を添えていただき、飲めや騒げやと盛り上がったところで、山本副会長の一本締めで中締めとなりました。そのあとは皆さん寒空のもと、三々五々夜の町へと繰り出されました。

あと半年間、39期をよろしく願いいたします。

山岸ワイズ宅恒例年末餅つき 潜入レポート

日時 2009年12月30日

場所 山岸ワイズ宅

高田 敦

つきたての餅はやっぱり旨い! 毎年恒例の山岸ワイズ宅での年末餅つきに久しぶりに参加、広報委員会としてブリテンの記事にするため潜入レポートを試みた。

私が到着したのは9時30分頃、既に西川ワイズ、小林ワイズ、平井千香子ワイズ、人見ワイズが来ており、人数は少ないながらも餅つきは始まっていた。

しかし前日は三役主催忘年会があり、恐らく昨夜床に入ったのはかなり遅い時間のはずなのに『この人ら元気やなあ』と思いながら私も餅つきに加わった。西川ワイズは拘りがあるのか黙々と餅米を蒸し、平井千香子ワイズは『この大根美

美味しい!』と大根をすり下ろしながらつまみ食いをし、小林ワイズは何故か存在感を消し、人見ワイズは古株の如く偉そうに火にあたっている。なんだかんだ観察しているうちに餅米が蒸し上がり私がつくことに、何故か人見ワイズに指導され、言われるがままに…杵で餅米をすり潰す、しんどい、でも楽しい、杵を振る、なお楽しい、オッサンなのに。つきあがった餅を早速いただく、きな粉、あん、大根おろしと3種のバリエーション中でも大根おろしは最高に美味しく大好評。

しばらくすると山岸ワイズのお孫さんの友達が続々と、河合美也子メネットとめいぷるクラブの松村メネットが参加、続いて河合、堤、野口、為國、杉本、平野ワイズが参加、最後に森田ワイズが到着、排泄物を見るかの如く睨まれる。河合、平野、為國ワイズが餅をつく、何故かゴルフスイングと同じように見える。後半は野口ワイズの一人舞台、残りの殆どを一人でついでくれた、ストレスがたまってたのか?しかし楽しそう(笑)

残り最後のをまだついていない人たちでついて回る、河合美也子メネットの石臼が割れんばかりの杵スイングは印象的だった。そして12時を過ぎた頃、後片付けをしてお開きに。

山岸ワイズ、百代メネット今年もありがとうございました。来年も是非この餅つきをお願いします。



シリーズ「私と〇〇」

私と鴨沂クラブ

大嶋正人

はじめに鴨沂クラブとは、私が所属しているラグビーチームで京都のAリーグで頑張ってるチームです。

私と鴨沂クラブの出会いはちょうど9年前オーバー40のチームに所属している時の合同練習の相手チームでした。初合同練習を終えた私はどうしてもこのチームでラグビーがしてみたい気持ちに駆られチームの門を叩きました。そしてそこで私の人生に大きな影響を与えられる8歳下の高校の後輩河合(当時キャプテン現監督)と出会い、彼から本当に沢山のことを学びました。

その当時私は、製造業の現場で一線でバリバリ仕事をしていたので従業員に対して仕事は見て盗むもの、説明された事は一回で理解するなど思いやりのかけらもない経営者でした。そんな私がクラブでの河合キャプテンの行動・言動から何か物事を伝えるには相手の目線に立って諦めずに何度でも伝わるまで言い続ける、伝わらなければ自分に原因があると考えまた伝え直す。そして自分の行動で見せて伝えるなどなど、言葉にすれば簡単ですが言い表せないくらい沢山の気づきを貰い私も少しは成長できたように思います。

そんな素晴らしい仲間がいる鴨沂クラブも今は19歳から48歳までの幅広い年齢層のラグビー好きが年間50回ぐらい毎週日曜日に集まり汗を流し、勝つことだけではなく「楽しく・強く・みんなで!」をチーム理念にお互いに刺激を与えています。(最近では若者からいろんな気づきを貰っています。)

鴨沂クラブ…私にとってかけがえのないチームです!



シリーズ「私と〇〇」

私と見えざる力

金村孝一

私は戸建住宅・マンション・ビルの建設を生業としております。建設に携わっていると地鎮祭などの神事が常にあり、一般の人より神々的なことに触れあう機会も多く今までも特にそのことを否定する気持ちもなかったのですが、自分の家を新築する際に地鎮祭はおこないましたが、鬼門とかを知っていたにもかかわらずそれを無視して鬼門にあたる部分をコンクリートで固めるといったようにそれ程深く信じていた訳ではありませんでした。

しかしながら、新居に住んで半年ほど過ぎた頃に妻が大きな病気を患い、また、そのすぐ後に妻の兄も同じ病気を患いました。幸い命に別状はありませんでしたが妻はその後ずっと体調が芳しくなく、病院で看てもらっても特に悪くなく、心療内科・カウンセリング等も試みましたが完治しませんでした。

そんな折、1年半程前のある占いの先生に出会い看てもらった所徐々に回復し、今では元気だった頃の八割方回復しました。その先生は仏門の修行をやっており、除霊をしてくれたとのこと。今でも完全に霊の力で病気になる、あるいは治るとかは思っておりませんが、人の力、科学の力では計れない何か大きな力の存在を意識するきっかけとなりました。

私も独立して10年を越え経営に関する書籍等を時々読みますが、最近稲盛和夫氏の「生き方」という本を読み、私が感じていたことを的確に説明されているなど思いました。要約すると、思いを強く念じそれに向かって宇宙の意思に沿う行為、感謝や誠実、一生懸命働くことや、恨んだり妬んだりしない心、すなわち善き思いや行為を行えば必然的に成功発展の方向へ導かれるというものです。

人類太古より、人々はあらゆる自然を神々と崇め崇拝してきました。それはたぶん、誰も見ていないといっても常に自然は自分たちを監視し、あるいは見守ってくれているから善き思いや行為を行うよう戒めも含めてのことだと思います。

私もこれを機会に今までの行いで反省すべきところは反省し、今後宇宙の意思に沿う行為を目標に行動していこうと意を決した次第です。

シリーズ「私と〇〇」

私とお酒

平井千香子

何を書こうかと思いつきながら過ぎていく日々。私の趣味？継続していること？とか、あれよこれよと考えた結果、あ！！お酒だわ～って。私がお酒をしっかりと飲むようになって、早、20年ちょっと経ちました。飲めるようになったのは、その時にお付き合いをしていた彼氏のお陰と思っています。若かったとはいえ御堂筋で何回吐かされたか（汚くてごめんなさい）吐いてまた次のお店に拉致されてまた飲んで、今から考えたら今もアホやけど一段とアホやったなあ～（笑）と…その頃は日本酒とブランデーばかり飲んで呑んで。勿論、日本酒は辛口の冷やで、ブランデーはヘネシーかレミーマルタン。ほとんどロックで飲んで楽しんでたわ♪ それから焼酎と出会いました。九州に遊びに行った時に初めて芋焼酎を飲んで、なんておいしいの！って思い、飲み続けたら次の日は二日酔いになり、初めての九州旅行はしんどかった記憶と、焼酎は二日酔いにならないって聞いてたけど、なるやん！って。飲みすぎたらなんでも二日酔いになることを知りました。焼酎を飲みだしたら、美味しく飲んでたブランデーが甘く思えてきたんです。苦手だったウイスキーが美味しく飲んで味覚が変わってきて、段々とおっさん化してきている私。焼酎は芋が好きで、麦なら香ばしいのは嫌いで、ちょっとウルサイ私。お酒が強いわけじゃないけど、お酒が好きで、お酒のない人生なんて有り得ない。全然お酒の飲めない人たちと知り合うとなんて勿体ないと思ってしまう。お酒の飲み具合で、今日の私は健康とわかるから、私には休肝日は有り得ないかも。



お知らせ

(12月役員会承認事項)

第1号議案 会員退会の件 (EMC)

10月末日をもって奥村英雄君の退会を承認。

第2号議案 EMC 例会の件 (EMC)

EMC 委員会に差し戻し、再度検討。

第3号議案 次次期会長推薦の件 (直前会長)

第41期会長に森田美都子ワイズを推薦、半期総会に上程する事を承認。

第4号議案 委員会配属の件 (会長)

大西寛子君を EMC 委員会に正式配属することを承認。

第5号議案 損害保険加入検討の件 (Yサ)

パレスクラブとしての保険加入は見送る事で承認。

第6号議案 1月役員会日程変更の件 (三役)

日時：1月13日(水) 19:30～/会場：京都ブライトンホテルで行う事で承認。

Happy Birthday

3日 阿部和博君 10日 西枝攻君 11日 田中一馬君 16日 大西寛子君 18日 堤雄次君
21日 井上彰君 21日 塚本優子君 21日 吉楽貴之君 23日 小西孝典君 25日 安達雅直君
28日 藤松幸一君

Happy Anniversary

10日 大嶋正人ご夫妻 30日 平井久夫ご夫妻

YMCA NEWS

1. 正会員希望者のための YMCA オリエンテーション講座

京都 YMCA の願いと会員活動をよりよく知っていただくために正会員として YMCA 運動を積極的に担ってほしいという意欲のある方を対象に YMCA についての理解をより一層深めてもらうための講座です。

日時 2010年1月25日(月) 午後7時～9時

場所 京都 YMCA 三条本館 201号室

対象 京都 YMCA 会員として3年以上の方、またはキリスト者で正会員として志のある方

申込方法 申込書に必要事項をご記入のうえ1月22日(金)までに YMCA 受付または FAX、E-mail にて申込みください。

2. 創立121年会員集会

日時 2010年2月13日(土)

第1部 記念礼拝 午後6時30分～7時 於：マナホール

第2部 会員について協議 午後7時～9時 於：マナホール

3. ボランティアセミナーのご案内

① ちょっとボランティア 視覚障がい者サポートの講習会

障がい者も高齢者も子どもも、だれでもが地域の中で一緒に生活をし、社会参加をする「ノーマライゼーション」の考え方が最近では多くの人に受け入れられつつあります。

いろいろな設備を整え、だれにでも行動しやすい環境を作ることは大切です。しかし、そういったハード面の完備を待つより前に、周囲の人がさりげなく声をかけ必要な援助をすることで、自由に行動できるようになる人がいっぱいいるのです。

今回は、京都 YMCA 国際福祉専門学校の講師でもある松永さんに、当事者の立場から視覚障がいについて、また望ましいサポートについて語っていただきます。

講 師 松永信也氏（京都 YMCA 国際福祉専門学校、京都福祉専門学校非常勤講師）
日 時 1月23日（土）午後6時30分～8時30分
場 所 京都 YMCA（三条柳馬場）
参加費 お一人 300円
定 員 30名（申込み順）

②がん患者さんとそのご家族へ 第36回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日 時 2010年1月16日（土）午後7時～9時
場 所 京都 YMCA（三条柳馬場）
参加費 お一人 300円（お茶代等）

①②ともお申し込みはお電話又は vb@kyotoymca.or.jp

編集後記

メンバーの皆さん、あけましておめでとうございます。

今月号記事は広報委員自らクリスマスキャロリングに参加し記事を掲載しました。今後も事業の報告は勿論、広報委員も積極的に事業に参加し、より良いプリテンを発行したいと思っております。

今年下半期も熱い広報委員会を宜しく願います。

京都パレスワイズメンズクラブ第39期 広報委員会

委員長 高田 敦／副委員長 小櫻武彦／委員 大森夏彦、瀬戸伊佐雄、為国光俊、吉楽貴之



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

2 2010

CLUB OFFICE
京都 YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2010.2.1 発行
第 39 巻第 8 号 通巻 452 号
CHARTERED 1971

クラブ会長主題 「感謝(Thank you)の念を持って、しっかりとした基盤づくりを！」～40周年へステップの年～
国際会長主題 “The Power of One” 「一つとなる力」
アジア会長主題 “Dreaming Asia, Loving Asia” 「夢見るアジア、愛するアジア」
西日本区理事主題 “すべてのいのちを大切に” —いのち・平和・環境—
京都部部長主題 豊かな心 熱き思い —555実現に向けて—

会 長 隠塚 功
副会長 岡見 紫
副会長 山本一博
書 記 河合信也
書 記 人見晃弘
会 計 小林千春
会 計 杉本泰造

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間
TOF・CS・FF

聖句 悪い言葉を一切口にしてはなりません。ただ、聞く人に恵が与えられるように、その人を造り上げるのに役立つ言葉を、必要に応じて語りなさい。
エフェソの信徒への手紙第4章29節

はらぺこ例会

会計 杉本泰造



パレスの皆さん、例会で食事無し、お茶も出ない2時間を我慢できますか。ワイズメンたるものは、どの様な例会でも辛抱しなければなりません。そうです、2月第2例会はTOF例会なのです。西日本区の強調月間で、2月の例会は食事を抜いて、その食事代を世界の飢餓に苦しむ人々のためにTOF献金するのです。TOFとは、タイム・オブ・ファスト、日本語では断食の時と訳し、節食による支援金の拠出を目的としています。

ワイズメンズクラブでは支援金を、途上国で民生向上のため苦闘しているYMCAの活動に拠出していますが、世界で飢餓に苦しむ人々は10億人もいると報じられています。戦時中と戦後合わせて数十年、私達日本のほとんどの人々が食べることに不自由し糊口を凌ぐ生活をしてきましたが、今は飽食の時代を謳歌しており、食にたいする我慢、辛抱ができない。TOF例会は他の奉仕クラブには無い、飢餓の時を少しでも関心を持つワイズメンズクラブならではの愛のこもった研鑽の例会と考えていただきたい。愛の反対は憎しみではなく無関心と、マザーテレサは言っておられます。私達には常に飢餓について考える機会是非常に少ないし、無関心であることが多い。せめて2月のTOF例会では飢餓や弱者に関心を持ち続ける人を増やす例会にしたいと思います。アフガニスタン・アフリカでは内戦・民族紛争で、インド・パキスタン・カンボジャでは干ばつや洪水で深刻な食糧問題がとまる事なく、5秒に1人の割合で子供達が飢餓で餓死しています。

西日本区では、前期3,029,294円国際へ拠出しました。京都部は17クラブで1,342,984円。そのなかでパレスは100,000円。多いのは、グローバルで297,159円。ウイング195,912円。トゥービ182,400円と意識の高いクラブがあります。少ないのは、東稜9,033円。福知山0円。西中国部は、5クラブ合計が56,260円と、TOFにたいする意識の格差が多過ぎるのが問題であります。意識をもつためには、第2例会は食事を取らず出てきて空腹を楽しみ、例会が終わればそっと家に帰り、家族と共にFF・ファミリーファーストで節食をして飢餓を知る。そこまで出来れば完璧なTOF。ゆめゆめ、例会を終えたら腹へった、生中がぶ飲み、鯨飲馬食だけは止めときたいですね。このあと、ハイチ大地震のTOFもしなければ…。

例 会 出 席				ニコニコ/ファンド/BFポイント			
在籍クラブ会員数	54名	1月第1例会出席	39名	1月第2例会出席	42名	ニコニコ1月第1例会	15,500円
内、功労会員数	1名	内、メンバー	36名	内、メンバー	41名	ニコニコ1月第2例会	12,000円
担当主事数	1名	メネット	3名	メネット	0名	累計	209,195円
維持会員数	4名	コメット	0名	コメット	0名	ファンド収益	1,577,135円
		ゲスト	0名	ゲスト	1名	累計	1,577,135円
		ビジター	0名	ビジター	0名	B F 切手	0 PT
		スピーカー	0名	スピーカー	0名	B F 現金	0 PT
月間MU総数	0名					累計	0円
月間出席者数	42名						
月間出席率	87%						

1月第1例会（キャピタルクラブとの新年合同例会）（第927回）

日時 2010年1月16日

会場 ホテル日航プリンセス京都

西枝 攻

キャピタルクラブとの合同例会は初めてとのこと驚きです。それはさておき、次期仁科西日本区理事を盛りたてる意義ある例会となりました。仁科君は理事就任直後の国際大会について語られました。その中で現在の西日本区の取り組みの現状には寒いものがあり、このままの状態で開催されたなら、参加者数の絶対的不足の事態が生ずる危険があるとの訴えがありました。パレスも多くのメンバーの参加で西日本区理事をもちたてましょう。それにしても8月に大会があるのに、広島西日本区大会の話題だけです。理事さん頑張って欲しいものです。

仁科君の決意表明の後、乾杯、そしてドーと一気に宴は盛り上がりました。そして宴の半ばで岡本元西日本区理事のパレスとキャピタルの関わり合いのスピーチ。じゃがいも販売、阪神淡路大震災のエピソードを含めての、パレスとの強い繋がりが語られました。十勝クラブのジャガイモから京都青果への変更の頃が思い出される話でした。

一体となったテーブルでは和気あいの食事が進み、大量のHBの紹介、そしてパレスの次期三役、次次期会長の一言、そして次期日本区役員が決意がニコニコで熱く語られ、定刻一杯の9時15分に散会となり、各々が夜の街に飛び出して行きました。

全体出席74名の中、パレスの出席者39名であったことは残念でした。原因はクラブへの参加意識か、企画としての問題か、日時設定の問題か？ ドライバー委員会としては反省させられる結果でした。



1月第2例会（第928回）半期総会

日時 2010年1月27日

会場 京都ブライトンホテル

田中一馬

1月第2例会は隠塚会長期の半年を振り返る半期総会である。私も去年は会長としてこの日を迎えたが、中間地点におけるメンバーからの初めての評価について緊張したことを昨日のように思い出した。例会はいつもの通り7時に開会したが空席が目立つ。総会の定足数大丈夫かな？などと余計な心配をしているうちに点鐘、ワイズソング、会長挨拶と例会が進行していく。諸報告の後に永井ワイズからパレスとYMCAのかかわりのお話をいただいたあたりから遅刻していたメンバーも席を埋めだし、食事前にはほぼ満席となった。食事が終わってよいよ半期総会が始まった。隠塚会長が議長を務め、まずは1号議案。5分ほど上半期の事業報告書を読む時間をいただき、そののち各委員長が事業報告の概要を報告された。各委員会とも期首に計画した事業をしっかりとこなされている様子が伝わってきて、満場一致で承認。第2号議案は会計報告が行われ、小林会計がたんたん説明されたのちこちらも満場一致で承認。ここで39期の上半期の活動報告が無事に終了し、三役さん、委員長さんはほっと胸をなでおろされたのではと感じた。続いて3号議案は40期の三役さんの発表が山本次期会長から行われた。副会長に山本次期会長の参謀役の平野ワイズとポティーガード役の野口ワイズ。書記は三役率66.7%の小林ワイズと昨年入会の藤松ワイズ、会計はパレスの頭脳安達ワイズと同じく昨年入会の大森ワイズとざっと平均年齢35歳のフレッシュな顔ぶれが並んだ。山本次期会長が勝手に承認をとってしまうハプニング（なんやかんやいうても緊張してたんやね）もありましたが、こちらももちろん満場一致で承認された。山本次期会長40期も期待してますよ！！そして半期総会の最後の議案はわたくし直前会長の田中より次々期の41期会長としてパレスクラブ初の女性会長となるべく森田ワイズを発表し、こちらも何の異議もなく（誰も逆らえず???）もちろん満場一致で承認され無事半期総会が終了した。なんの異議も出ず、平穩無事に終わりすぎたかなと少し物足りないような気もしたが、

そこは会長、三役、委員長が大いにリーダーシップを発揮されクラブ全員の努力で半年間の事業をこなされた証であると感じた。例年のことであるが、半期総会が終われば今期もあと5か月。後半戦も気を抜かずに皆で頑張っていきましょう！！



京都部チャリティーボーリング大会

日時 2010年1月24日
会場 しょうぞんボウル 平井久夫

京都部チャリティーボーリング大会とは、参加登録費の一部と当日会場で募金箱に募金された合計金額全てをYMCAに献金する事業です。第7回目を迎える大会ですが、運営を各クラブが回り持ちでおこなうこととなって2回目です。今回は昨年京都クラブに次いで、パレスがホストクラブとなりました。1月24日(日)午後「しょうぞんボウル」で開催されました。大会には、福知山クラブを除く全クラブと地域奉仕活動として支援されている施設または団体の方々も含めて約200名の登録を得ました。我がクラブからは、河合・為国・藤松の3メンバーが参加してくれました。全レーンを借り切った14時45分に、山本一博君の総合司会による開会式がおこなわれました。山中将平京都部部长、松谷隆史地域奉仕事業主査、隠塚功パレスクラブ会長など3名の挨拶の後、簡単な競技説明がおこなわれました。参加者全員が2ゲームをおこなって個々の点数を競う個人戦と、各クラブ及び団体から選ばれた3名が1組で合計点を競う団体戦です。15時、競技が各レーンで始まりしました。しばらくしてから、パレスのYサ委員がYMCAの募金箱を持って各レーンを巡る活動と同時に、ペットボトルのお茶を各選手に配りました。会場からはあちこちで笑い声や歓声が沸き、楽しく和気あいあい且つ真剣にゲームが進行していきました。特に団体戦のアトラクションゲームでは、大量の加点減点があるので勝敗の行方が楽しみでした。

全てのゲーム終了後の表彰式においては、個人戦には上位3位からB、B賞までに各飛賞が多数設定されていました。京都部部长、各主査、しょうぞんボウル、などより多くの賞品が提供されました。当日の日付け賞124位、米10kgの賞には、大きな拍手と歓声が上がりました。団体戦ではトップクラブが優勝に輝き、中央の表彰台にて3位までに賞品が授与されました。我がクラブの3名は健闘空しく入賞を果たすことができませんでしたが、早い時間帯より駐車場誘導など運営にも協力いただきありがとうございます。無事閉会することができました。

新入会員自己紹介

吉岡高幸

川上ワイズの紹介で、この度、入会させていただいた、吉岡高幸と申します。昭和41年9月2日生の43歳です。仕事は、精密板金業です。製作している物は、あまり人目にはふれない物が多く、説明しにくい業種です。

川上ワイズとは、仕事の関係で知り合いました。初めてお会いしたその日に、パレスワイズメンズクラブにお誘いを頂いたのですが、正直よくわかりませんでした。しかし、会員の方々も温かい方が多く、いろいろお話を聞いているうちに、このクラブで自分らしく頑張ってみようと思いました。

元々、出不精なものですので、そこから変えて行こうと思っています。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。



私はたくさんの趣味を持っていますが十代から今まで続いているのは読書くらいです。読書と言っても一定のスタイルがあるわけではなく、乱読と言って良いと思います。

本も人と同じで出会いが大切です。ただ探していれば見つかるものでもありません。その時その時の自分の感性のアンテナを張り巡らせて、本屋で出会いを待っている本を見つけ出すのです。本は、特に小説は装丁と題名が大切です。人でも見かけと雰囲気大切なと同じです。

私は河合君に個性的な人（変わっているともいう）が好みやねとよく言われますがどうやら本も同じようです。10代から今まで本に対する好みは年と共に変遷してきましたが、私の好みの一端をご紹介します。

装丁の一番お気に入りには洪澤龍彦著「毒薬の手帖」、これは20歳すぎにたまたま本屋の書架で見た背表紙と邪悪そうな題名につられて初版本を買いました。当時自分でもこんなマニアックな本はそう誰も持っていないだろうと思っていたら、当時私の部屋に来た中学・高校の友達連中の何人かが、「アレ。この本お前も持ってんの！」言ったのには驚いたのを思い出します。

十代後半からの多感な時期の愛読書は時代を反映して大江健三郎著「鯨の死滅する日」以下三部作でした。今では難解だったことぐらいしか覚えてはいませんが…。

ここ10年ほどは女流作家の桐野夏生（きりの なつお）と男性作家では伊集院 静（いじゅういん しずか）が好みです。音読みにすると二人の名前は偶然にも男女逆に思えますね。桐野夏生は「柔らかな 頬」で直木賞をとった作家ですが、私は江戸川乱歩賞の受賞作「顔に降りかかる雨」が好きです。伊集院静は女優故夏目雅子の元旦那さんとしての方が世間では有名ですが、私は彼の「白い声」が好きです。皆さん機会があればご一読下さい。



私は、2003年10月より空手道を稽古しております…。

それ以前よりずっと、空手を習いたいと思っていたのですが、なかなか縁や機会がなく、年齢も47歳にもなり諦めていたのですが、我がクラブの為国光俊さんが道場に通っておられ、為国さんより紹介され入門の運びとなりました。

最初の頃、稽古に参加してみると、大変きつい運動の連続でした。それまでは、ジムでそこそこ運動をして、体を強化していたつもりだったのですが、その自信も何処へやら…基本稽古（準備体操のような基本練習）だけで一杯一杯で、へばっていました。その上、私の入門しました新極真会・空手は実際に打ち合うフルコンタクト・ルールで大変ハードな空手です。簡単にルールを説明しますと直接打撃で戦い、足技は全身プラス顔面攻撃OKですが、手技による顔面攻撃や掴みは禁止で、KOおよびダメージ判定で勝敗を争うものです。

ですから、入門した1カ月の間に、有段者との組み手で、右と左の肋骨にヒビが入り、咳やクシャミも出来ず、稽古も痛さに耐えながら、そして寝る時は寝がえりをすると激痛が走り、一晩中寝返りが打てずに背中に入ったようにパンパンになった事を、今では懐かしく思い出します。

武道とはキツイ単純基本動作を愚直なまでに反復し、己の肉体と精神を強化し鍛練します。（『鍛』という字には『千』という意味があり、『錬』という字には『万』という意味があるそうです。つまり『鍛錬』とは千回も万回も繰り返して練習するということだそうです。）

現在54歳になりましたが、入門前に比べ肉体も精神も鍛えられていると思っています。これからも黒帯目指して稽古に励みたいと思っております、押忍！（空手道の挨拶です）

お知らせ

(1月役員会承認事項)

- 第1号議案** 会員退会(吉岡明彦君)の件(EMC)
2009年12月末日をもって退会とする。承認。
- 第2号議案** 維持会員願い(吉楽貴之君)の件(EMC)
2010年1月からの下半期、維持会員とする事を承認。
- 第3号議案** 次期三役の件(次期会長)
副会長:平野雅幸・野口大輔、書記:小林千春・藤松幸一、会計:安達雅直・大森夏彦
以上のメンバーを次期三役として半期総会議案に上程する事を承認。
- 第4号議案** 上半期事業報告の件(各委員長/書記)
半期総会議案に上程する事を承認。
- 第5号議案** 上半期決算報告の件(会計)
半期総会議案に上程する事を承認。
- 第6号議案** 2月第1例会の件(ドライバー)
ゲストスピーカー:上野誠様(奈良大学)
テーマ:万葉集の話。承認。

- 第7号議案** 2月第2例会(TOF)の件(ドライバー)
日時:2月24日(水)19:00~20:00 会場:三条YMCA ゲストスピーカー:松谷隆史 京都部CS主査。承認。
- 第8号議案** リトセンチャリティーゴルフの件(地域奉仕)
プレー費:15000円・参加料:3000円、うち参加料をクラブ負担とする事を承認。
- 第9号議案** 新年例会(キャピタル合同)時間変更の件(ドライバー)
例会開催時間を19:00~21:15分に変更(延長)する事を承認。

Happy Birthday

1日 高谷泰市君 7日 川上孝司君

Happy Anniversary

3日 山岸弘侍ご夫妻 6日 井上彰ご夫妻
12日 福井将一ご夫妻

YMCA NEWS

1. 新年度プログラム募集

子供たちのウエルネスプログラムの新年度募集を行います。ご参加をお待ちしております。受付はお電話にて受け賜ります。

スイミングスクール

幼児・少年体育活動 2月24日(水)午前10時より 電話075-255-4709

グローバルアウトドアクラブ 2月25日(木)午前10時より 電話075-231-4388

2. 春休みスキーのお知らせ

春休みのスキープログラムの参加者募集中。

春の陽気の中でシュプールをえがきましょう。是非ご参加ください。

コース名	対象	日程	行き先
リトルキッズスキー 春	小学1年~2年生	3月26日(金)朝~30日(火)朝	志賀高原
小学生スキー 春	小学3年~6年生	3月26日(金)朝~30日(火)朝	志賀高原
中高生スキー 春	中学1年~高校3年生	3月24日(水)夜~30日(火)朝	野沢温泉
チャレンジスキー 春	小学4年生~高校3年生	3月24日(水)夜~30日(火)朝	野沢温泉

※チャレンジスキーは緩斜面での確実なパラレル操作が出来る方 中・上級者向き

3. 2009年度卒業生リーダー祝会のお知らせ

今年も多くの子供たちが社会に巣立とうとしております。YMCAでの活動に捧げていただいた労力と時間は、明日をつくる子どもたちの大きな糧となったに違いありません。情熱ある働きに感謝するとともに、YMCAでの経験が今後にかされることを祈るとともに祝いたいと思います。

日時 3月14日(日)午後2時~5時30分〔予定〕

場所 京都YMCA 三条本館マナホール

4. 創立121年会員集会

創立121年を迎える今回は公益財団法人認定に向けて新しい会員のあり方を考えます。

日時 2月13日(土)

第1部 記念礼拝 午後6時~6時30分 於:マナホール

第2部 会員について協議 午後6時30分~8時30分 於:マナホール

5. ボランティアセミナーのご案内

①聴くことの力、話すことの力

「人はなぜ苦しいとき、話を聴いてもらうだけで楽になれるのか」その疑問に答えるために、「話すことの力」「聴くことの力」について「苦しみの精神構造」から考えていきます。さらに苦しみを抱える人の話を聴く方法、話し合いを進める方法に迫ってみましょう。

講師 佐藤泰子氏（京都大学大学院 人間・環境研究科 人間社会論講座）

日時 2月27日（土）午後6時30分～9時

場所 京都 YMCA（三条柳馬場）

参加費 お一人 500円

定員 30名（申込み順）

②がん患者さんとそのご家族へ 第37回 痛み、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている痛みや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 2月20日（土）午後7時～9時

場所 京都 YMCA（三条柳馬場）

参加費 お一人 300円（お茶代等）

①②ともお申し込みは下記お電話又は vb@kyotoymca.or.jp

お問い合わせ・お申込みは電話（075）231-4388

編集後記

例会の出席状況を確認したくて出欠管理表を見たときに出席欄に空欄が目立つことがある。分刻みで仕事に追われる、なんて世の中になってしまったせいか例会出席に時間を作れない諸氏が増えてきたのであろう。そういえば「出席第一」なんて言葉を耳にしなくなった。入会当時、先輩から「例会はスケジュールの第一優先とするように。そのために仕事を組み立てるくらいの気持ちが必要」と強く教えていただいたことを思い出す。あわせて「義務を果たしてこそ権利がある」とも教えられた。最近は、権利が優先され義務は追いやられそうになっている。

京都パレスワイズメンズクラブ第39期 広報委員会

委員長 高田 敦 / 副委員長 小櫻武彦 / 委員 大森夏彦、瀬戸伊佐雄、為国光俊、吉楽貴之



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

3 2010

CLUB OFFICE
京都 YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2010.3.1 発行
第 39 巻第 9 号 通巻 453 号
CHARTERED 1971

- クラブ会長主題** 「感謝(Thank you)の念を持って、しっかりとした基盤づくりを！」～40周年へステップの年～
国際会長主題 “The Power of One” 「一つとなる力」
アジア会長主題 “Dreaming Asia, Loving Asia” 「夢見るアジア、愛するアジア」
西日本区理事主題 “すべてのいのちを大切に” —いのち・平和・環境—
京都部部長主題 豊かな心 熱き思い —555実現に向けて—

会 長 隠塚 功
副会長 岡見 紫
副会長 山本一博
書 記 河合信也
書 記 人見晃弘
会 計 小林千春
会 計 杉本泰造

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間
EF・JWF

聖句

神に愛されている兄弟たち、あなたがたが神から選ばれたことを私たちは知っています。
テサロニケの信徒への手紙1 第1章4節

国際大会へのいざない

次期西日本区理事 仁科保雄



2010年の幕開けにふさわしい京都キャピタルクラブの親クラブ、京都パレスクラブとの設立以来初めての合同例会が、京都日航プリンセスホテルにおいて盛大に開催されました。その大切な例会時間に私のために時間を作っていただきました隠塚功会長様に心より感謝申し上げます。私たちキャピタルクラブのメンバーも親子の関係を発足当時から知っているメンバーも年齢を重ねるうちにずいぶん少なくなっています。という私もキーメンでもなくチャーターメンバーでもありませんが、パレスクラブの皆様には当初より色々とお世話になり、私が会長の時には10周年記念例会があり、パレスクラブのメンバーによるバンド演奏をお願いし快くお引き受けいただき、素晴らしい10周年の心に残る記念としていただきました。私も入会させていただいた当時は若いといわれていたのですが、すでに68歳となり、ぼちぼち世代交代をと思っていた矢先に西日本区理事を引き受けるようにとのお話があり、私には「晴天の霹靂」であり、とんでもない事とご辞退していましたが、いつの間にかお引き受けしなければならぬ状態になってしまっていて現在にいたっております。合同例会でお話させて頂いた中でも、本当に危機感を持って、「国際大会への参加」をお願いいたしました。と申しますのも今現在の日本の景況と円高を考えると、国際大会実行委員会より諸外国より参加者が多く望めず、西日本区から600名ものメンバー参加を依頼され、私はまだ次期の役職であり今期の鈴木理事の頭越しの行動はできない、しかし、大会が開かれる時期は私たちが役職を担う8月であり、毎日どうすれば京都部のメンバーの皆さんが国際大会について理解していただき参加願えるか、そのことが頭を離れません。しかし、先輩理事諸氏が「開催」と胸を張って引き受けられ、懸命にアピールされていると思いますと、私たちも行動を起こすことしかないということです。例会内でなかなかご理解していただけるようにはお話できなかったと思いますが、なにとぞ「ワイズの祭典」であります国際大会へのメンバーの皆様のご参加をお願い申し上げます。

これから毎月各クラブを訪問し、お一人でも多くのご参加をお願いしてまわろうと思っています。本当に合同例会を実現していただき感謝申し上げます。

例 会 出 席				ニコニコ/ファンド/BFポイント	
在籍クラブ会員数	54名	2月第1例会出席	47名	2月第2例会出席	33名
内、功労会員数	1名	内、メンバー	36名	内、メンバー	29名
担当主事数	1名	メネット	0名	メネット	0名
維持会員数	4名	コメット	0名	コメット	0名
		ゲスト	10名	ゲスト	3名
		ビジター	0名	ビジター	0名
		スピーカー	1名	スピーカー	1名
月間MU総数	0名				
月間出席者数	39名				
月間出席率	81%				
				ニコニコ2月第1例会	5,000円
				ニコニコ2月第2例会	13,000円
				累計	227,195円
				ファンド収益	1,577,135円
				累計	1,577,135円
				B F切手	0 PT
				B F現金	0 PT
				累計	0円

2月第1例会（第929回）

日時 2010年2月10日
会場 京都ブライトンホテル 塚本優子

2月第1例会といえば、1年前、私が初めてパレスに触れた例会です。「早いなあ、1年…」と、感慨にふけながら迎えた今年の2月第1例会は、沢山のゲストをお迎えして、内容も盛り沢山の例会となりました。

メインゲストである、奈良大学教授の上野誠先生の「万葉の話」…。「万葉」という言葉の響きの中に、句会などのあの独特の音調を思い起こし、いわゆる「おっとり」とした内容を想像していたところ、先生の口から飛び出したのは、「皇太子の実父は実は〇〇様であることが発表されました！」という、ショーゲキ的なニュース！「ウォー!!!」と、会場がどよめいたその途端！「と、というのが万葉の世界なんです！」と、タネ明かし！大爆笑のあと、「むっちゃ聞きたい！」と、すっかり前のめりになってしまったのは、私だけではないはずです。

テーマは「心」。しかも、どうしてもコントロールできない「心」、いわゆる「Fall in love」の話。ものすごく硬い内容かと思っていたのに、ムチャクチャ軟らかいやん！学生の頃一気に読み上げた、源氏物語のマンガ「あさきゆめみし」を思い出していました。いつの世も「恋」というものは厄介なもの。その時々「心」の状態の表現の仕方と、解釈の仕方に感動しながら拝聴していましたが、先生の絶妙な話術が内容の面白さに拍車をかけて、大変有意義な時間となりました。

そして、和敬学園の生徒さんで、今年、大学進学される方2名への奨学金の贈呈式が行われました。決して恵まれた環境での受験ではなかったのではないかと察するところですが、大変優秀な生徒さんで、パレスの活動が少しでもお役に立っているのだと、実感しました。

初めてパレスに触れた皆さん、如何でしたか？素晴らしい例会だったと思いませんか？

私も初めての時、普段の生活では中々出逢えない人達との出逢いにワクワクしたのを覚えています。様々な人達と関わり、自分を磨く機会が得られるパレスの仲間が、もっともっと増えることを楽しみにしています。



2月第2例会（TOF 例会・臨時総会）（第930回）

日時 2010年2月24日
会場 京都 YMCA 三条本館 人見晃弘

2月第2例会は新入会員候補のゲスト3名を迎えて、タイム・オブ・ファスト例会として、京都 YMCA 三条本館で開催されました。

会長挨拶、諸報告に続いて臨時総会が開かれ、次期40期の各事業委員長が満場一致で承認されました。

メインスピーカーは京都部地域奉仕・環境事業主査の松谷隆史ワイズをお招きし、「京都部の各クラブのCS活動について」というテーマで講演していただきました。松谷主査が所属するグローバルクラブのCS活動の体験談や、他クラブのCS活動にも積極的に参加して感じたこと、新たなCS活動の模索について情熱的に語られました。

その後、CSボウリング大会の余剰金¥128,272-を京都部に寄付しました。また、パレスのメンバーから寄せられたYMCA国際協力募金¥53,381-にYサ予算¥30,000-を合わせた¥83,381-をYMCAに寄付しました。

今例会に出席された3名の入会候補ゲストの方々にも、我々ワイズメンの活動をよく理解してもらえたのではないかと思います。



京都エイブルワイズメンズクラブ 20周年記念例会報告

日時 2010年2月20日
会場 京都ホテルオークラ 平野雅幸

京都エイブルワイズメンズクラブは京都キャピタルワイズメンズクラブを親クラブとして出来たクラブで、私たちパレスクラブからすると孫にあたります。そのエイブルクラブの20周年に参加してきました。パレスからの参加者は、岡見、隠塚会長、堤、人見、平野。

まずは最初に記念講演を聴かせて頂きました。講師は宇宙アカデミーきくやま 代表 菊山紀彦氏。スライドを使いながら宇宙の話を聞かせていただきました。わかりやすく楽しいお話で、ワイズメンだけで聞くのは勿体ないなと思いながら楽しませていただきました。

その後、会場を移しての記念例会。ざっと数えたところ180人から200人ぐらいでしょうか？オープニングは京都学生祭典実行委員会による『京炎 そでふれ！』元気いっぱいに始まりました。そこから先は祝辞、記念品贈呈と進み、少しボリュームの大きい感じのバンド演奏。テーブルでの会話がしにくかったのが少し残念でした。バンドが静かになっている人となししゃべれるぞと思いましたが、無情にも？チャリティーイベントのアピールのためにテーブル廻り。チラシを持って各テーブルを回りました。その後チンドン屋さんが出てきてビックリ。最後にはハイチの募金を集めてられました。エイブルクラブの例会に参加するのは初めてでしたが、エイブルクラブのことをよく知れましたし、楽しい時間を過ごすことが出来ました。

来期は私たちパレスも40周年をむかえようとしています。記念例会にお祝いに駆けつけるのが本来でしょうが、記念例会がどういったものか知っておくためにもこういった機会があれば積極的に参加されてはと思います。



京都部メネット会に参加して

日時 2010年2月28日
場所 ウェスティン都ホテル京都 河合美也子

2月28日(日) ウェスティン都ホテル京都にてメネット会が開催されました。

朝降っていた雨も上がり、便利な東西線で会場へ。今回は、ワイズを知ってもらおうという意味合いがあったのか、一般の参加者も多く150名を越える賑やかな会となりました。「すべての命を大切に」をテーマに華道 未生流笹岡次期家元 笹岡隆甫氏と詩人 chori 氏(千明史氏)の若いお二人のトークとパフォーマンスで生け花と詩の世界を通して命の大切さを語られ、大いに会場は盛り上がりしました。伝統芸能の担い手のお二人の益々のご活躍を期待したいです。

先日テレビで流れていましたが、ここ10年間の自殺者数が毎年3万人を越えているそうです。心穏やかに、皆が笑顔で暮らしていける世の中にならないのかなあ…。そんな事を考えさせられるいい機会になりました。

パレスからの参加者は、隠塚御夫妻、大野御夫妻、平野ワイズ、杉本メネット、西川メネット、河合メネットの8名でした。



シリーズ「私と〇〇」

私とオートバイ

小林千春

2輪4輪を問わず、昔から乗り物が好きでした。自転車から段々と速度が上がるにつれて、興奮度合いも高まっていきます。

ただ、オートバイにはあまり興味を持ってませんでした。雨が降ったらずぶ濡れになるし、どこが格好良いのかわからないし、夏は暑い冬は寒いでは何が良いのかよくわかりませんでした（原付は、足として乗っていました）。とはいえ、暇にまかせて学生のときに、いわゆる中免だけは取っておきました。

しかし、そんな私にも転機が来ました。そのきっかけは、本との出会いでした。旅行小説を好んで読んでいたところに「旅々オートバイ」という本に出会い、名著「オートバイ・ライフ」を熟読し、「スローなブギにしてくれ」を斜め読みしました。ついでに、「イーザーライダー」を生まれて初めて鑑賞しました。その結果、「オートバイに乗ると風になれる！自由になれる！！単調な日常を打破してワクワク感をこの手に!!!」と、錯覚したわけです。

てなわけで、平成14年に「ホーネット」を買いました。こうして、私の「オートバイ・ライフ」が始まりました。オートバイを所有して知ることはたくさんありました。「隼」はやっぱりツーリングカーとして格好良いですし、「W650」なんて見るだけで官能的ですし、「モンスター」に至ってはご飯3杯くらいいけそうです。冬寒ければ、防寒対策をせばいいじゃないですか。あの風を切る感じや圧倒的なスピード感、人車一体となつての操縦感、思っていたとおりでした。

しかし、自由にはなれませんでした。むしろ、街中に駐輪場がないとか、合羽を収納できるスペースがないとか、エンジンの振動で疲れるとか、一体感はあると思ったように乗りこなせないとか、乗りながら独り言をぶつさ言ったりしてると何だか段々憂鬱になってきたりして、不自由な感じこそあれ、ワクワク感は得られませんでした。乗ってる最中は、何となく退屈な感じすらありました。このように、乗ること自体に快感を得られなかったので、次第に乗る回数が減っていきました。

その後、引越を機に駐輪場がなくなりましたので、バイク王で下取りに出しました。ただ、今でもバイクは格好良いと思いますし好きですし、のど元過ぎればなんとやらで、いずれ大型二輪の免許を取って「スピードトリプル」とかに乗ってやろうと画策しています。

私にとって、オートバイとは、釈由美子やほしのあきみたいなものでしょうか。あこがれの存在ではあれ、手に入れたら案外退屈してしまう、そんなものなのかもしれません。

(写真はマイ・オートバイです)



シリーズ「私と〇〇」

私とグルメ

桧山政宏

最近、10年以上吸っていたタバコをやめました。何回も禁煙には挫折したのに、すっぱりやめて2ヶ月以上経ちました。タバコを吸っている方ならお分かりになると思いますが、タバコを2ヶ月以上も吸わないのは考えられません。一緒にタバコを吸っていた方からはなんでやめたん？と聞かれます。実は歯医者に行ったのが原因でした、虫歯でもないのになんか歯医者に行ったほうがいいと感じ、歯石取りにいきました。すると思いのほか歯茎が悪いらしく、歯科衛生士さんに「これ以上ほっておくと近い将来、自分の食べたいものが食べられなくなりますよ！」と言われ、さらに「おいしいアワビとか自分の歯で食べられなくなりますよ!!」と今までやさしかった歯科衛生士さんが真顔で厳しくなっていました。私は寿司ネタの中でアワビの握りが一番好きなので、A級、B級グルメを自称する自分としては、痛恨の一撃でした。タバコとグルメどちらかを取らなければならない…。

となればグッ、グルメを取ろうと決心しました。ルビコンの決断みたいな感じでした。それからというもの最初の数日はかなり苦しかったですが、日が経つごとに大丈夫になっています。ものごとは「どうやって成功させるか？という方法論」よりも「なぜそれをしたのか？という強烈な理由」の方が大切なんだと実感しました。

本題のグルメに戻りますと、僕はイタリアンがとても好きで、よく食べ歩いています。最近おいしかったのは京都ネーゼ、リュウエン、ボッカデルビーノ、カチャトーリです。まえは赤ワインをよく飲んでいたのですが、いまはシャンパン

に完全にはまっています。家でもよく飲むため、「リカマン」、「やまや」にもよく行きます。あんまり行き過ぎると小売値がわかってしまいレストランやバーで出されている値段をみてビックリすることもあります。しかし知っている知識としてはシャンパンと名乗るからには、フランスのシャンパーニュ地方の生まれでなければ駄目とか、シャンパーニュ地方以外で造られるスパークリングワインは、イタリアでは「スプマンテ」、スペインでは「カヴァ」、カリフォルニアやオーストラリアでは「スパークリングワイン」と言う風に呼んでいるということぐらいです。まだまだ飲めてないのも山のようにあります。気軽においものをみんなで楽しく飲めたら最高です。皆様またご一緒する機会があれば、よろしくお願ひ致します。



シリーズ 「私と〇〇」

私と祭り

山岸弘侍

私の村の神社は、長谷八幡宮です。長谷町、花園町、中町の三町内の氏神で、慶長七年（1602）下鴨河合社の旧殿をいただいて建てられたと伝えられています。

お祭りは秋の10月23日と決まっていますが、現在は10月の体育の日におこなわれています。このお祭りは、私にとって一年の中の大行事であり、待ちに待った日でもあります。この一日のために一年を無事に過ごし、また、その日のために家族一団となって準備に取りかかっています。

お祭りの前日には、氏子（人足）が大勢集まり、お宮の大掃除、みこし組、飾り付け等を分担しておこないます。宵宮には氏子が集まり、酒を飲み交わしながら昔話や世話を夜更けまで語り合います。当日には、朝一番に風呂に入り、身体を清め、腹にさらしを巻き、祭り、パンツ、足には白足袋、草鞋、豆紋入りの手ぬぐいを頭に締め、そろいの半纏を着、コップ酒を「グイーツ」と飲み干し、お宮へ向かいます。この時が私は一番好きで、日本男子として生まれてきてよかったと男のロマンを感じる時です。

祭りの巡行は、10時より各町内を酒やビールなどを飲みながら威勢良く「ワッショイ、ワッショイ」と練り歩き、3時頃に本殿に納めます。解散後は、自宅に大勢のお客様を招き、昔ながらの地鶏のすき焼き鍋をつつきながら、祭りの一日を楽しんでいます。



お知らせ

（2月役員会承認事項）

第1号議案 西日本区代議員会への京都部からの提案事項について（会長）

京都クラブの提案（西日本区代議員会の代議員構成変更、議案書の事前提示）について、パレスクラブが賛同することを承認。

第2号議案 横浜国際大会への登録補助金の拠出について（会長）

横浜国際大会出席メンバーに対し、40期予算から補助することを承認。

第3号議案 3月第1例会の件（ドライバー）

ゲストスピーカー：西口泰夫様（元京セラ会長）テーマ：未定 謝礼を拠出する。以上承認。

第4号議案 3月第2例会の件（ドライバー／ファン）
YMCA ニュースまでドライバー委員会が担当、その後トスファンはファン委員会

が担当することを承認。

第5号議案 4月第2例会の件（ドライバー）

ゲストスピーカー：長谷川渉様（建築士）テーマ：未定 謝礼を拠出する。以上承認。

第6号議案 台中エバーグリーン 35周年訪問の件（交流）

2010年5月7～9日に台中訪問、8日に台中エバーグリーンクラブ 35周年記念例会に出席。参加メンバーに対し、交流予算より補助することを承認。

第7号議案 IBC トライアングル締結の件（会長）

ノースウエストYサービスクラブ、セントラルYサービスクラブ、パレスの3クラブでIBC トライアングルを締結することを承認。

第8号議案 メネットアワーの件（会長）

出席者に対し、クラブ予算より補助することを承認。

第9号議案 西日本区大会（振替例会）の登録補助について（会長）

出席メンバーに対し、クラブ予算補助することを承認。

第10号議案 40周年事業準備委員会の名称変更について（会長）

40周年事業実行委員会に名称変更することを承認。

第11号議案 臨時総会議案（40期委員長）の件（次期会長）

2月第2例会時に臨時総会を開催する。臨時総会議案については40期各委員長選任の件とし40期各委員長候補者については山本次期会長一任とすること。以上承認。

Happy Birthday

4日 高田敦君 13日 西中日向君
28日 桧山政宏君

Happy Anniversary

13日 川上孝司ご夫妻 20日 松崎一博ご夫妻
22日 井上均ご夫妻

YMCA NEWS

1. 2009年度卒業生リーダー祝会のお知らせ

今年も多くの子供たちが社会に巣立とうとしております。YMCAでの活動に捧げていただいた労力と時間は、明日をつくる子供たちの大きな糧となったに違いありません。情熱ある働きに感謝するとともに、YMCAでの経験が今後活かされることを祈るとともに祝いたいと思います。

とき 3月14日（日）午後2時～5時30分
（受付午後1時30分開始）

会場 京都YMCA三条本館 1階ロビー及びマナホール

2. 京都YMCA発達障がい児理解セミナー

市民の方々が理解を深め、軽度発達障がい児が健やか

に成長できる社会作りに貢献できればと願いセミナーを開催いたします。幅広い方々のご参加をお待ちしております。

日時：3月20日（土）午後1時30分～午後4時

場所：京都YMCA三条本館

講師・講演

I. 「5才児発達相談の現場から」

講師 小谷裕実

〔花園大学社会福祉学部臨床心理科教授、小児科医〕

II. 「早期支援から小学校へ」

講師 相澤雅文

〔京都教育大学附属特別支援教育臨床実践センター准教授〕

参加費：1,500円

3. リトリートセンター・サバエキャンプ場夏期利用案内

自然いっぱい心が安らぐリトリートセンター・サバエキャンプ場では夏期（7・8月）の受付を下記日程で行います。ご利用ください。

夏期（7・8月）利用受付開始

30名以上 3月10日（水）午前10時～

30名未満 3月12日（金）午前10時～

リトリートセンター2010年4月～2011年3月まで（7・8月を除く）のご利用は只今受付中です。

4. ボランティアセミナーのご案内

がん患者さんとそのご家族へ 第38回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 3月20日（土）午後7時～9時

場所 京都YMCA（三条柳馬場）

参加費 お一人 300円（お茶代等）

お申込は下記お電話または vb@kyotoymca.or.jp まで

お問い合わせ（詳しい内容）・お申し込みは

電話（075）231-4388

編集後記

「パレスクラブは親睦の内に素晴らしい人間を創るための愛に基づく自己研鑽の場であり… —中略— 強い自覚と人間愛を持ち、ワイズの灯が谷間の裾野に迄とどき、友愛と結束の和を永遠に持ち続け、歳月を友として奉仕の輪を無限に輪唱させることを決意…」会則の前文である。おそらくパレス創立期に諸先輩方が熱い想いを持ってこの文を作り上げたのであろう。40周年を迎えようとしているクラブであるが、今もなお、この前文が光り輝いている。過去を読み解くことによって未来が見えてくる。

京都パレスワイズメンズクラブ第39期 広報委員会

委員長 高田 敦 / 副委員長 小櫻武彦 / 委員 大森夏彦、瀬戸伊佐雄、為国光俊、吉楽貴之



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

4 2010

CLUB OFFICE
京都 YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2010.4.1 発行
第 39 巻第 10 号 通巻 454 号
CHARTERED 1971

- クラブ会長主題** 「感謝(Thank you)の念を持って、しっかりとした基盤づくりを！」～40周年へステップの年～
国際会長主題 “The Power of One” 「一つとなる力」
アジア会長主題 “Dreaming Asia, Loving Asia” 「夢見るアジア、愛するアジア」
西日本区理事主題 “すべてのいのちを大切に” —いのち・平和・環境—
京都部部長主題 豊かな心 熱き思い —555実現に向けて—

会 長 隠塚 功
副会長 岡見 紫
副会長 山本一博
書 記 河合信也
書 記 人見晃弘
会 計 小林千春
会 計 杉本泰造

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

聖句 兄弟たち、あなたがたに勧めます。怠けている者たちを戒めなさい。
強調月間 気落ちしている者たちを励ましなさい。弱い者たちを助けなさい。
YMCAサービス・ASF すべての人に対して忍耐強く接しなさい。

テサロニケの信徒への手紙 1 第 5 章 14 節

YMCA・リトリートセンター・サバエキャンプ場について

パレスクラブ YMCA サービス・ユース委員長 **西川寿一**



YMCA は 1844 年イギリスのロンドンに於いて、ジョージ・ウィリアムズによって生まれた。当時のイギリスは産業革命が進み、労働者の状態はまことに悲惨なもので、過酷な労働条件で働かされていた。青年達は勤務時間が終わればすぐに居酒屋にかけ込み、強い酒を飲み不道徳なことに時を過ごしていた。このような青年労働者を救う道は宗教によるしかないと考えたジョージ・ウィリアムズは、12名の青年達を集めて聖書研究会を始めたのが YMCA の始まりである。

京都 YMCA は 1889 年に創立され日本で第 5 番目の YMCA です。現在の三条柳馬場の土地と建物（現在の建物は 1980 年に建て替えられている）は、1905 年米国の実業家で百貨店王と呼ばれていたジョン・ワナメーカー氏が、会館建設費として 2 万 5 千ドル（当時の邦貨で 6 万 6 千円、現在の貨幣価値に換算すると十億円を超える莫大な金額）の寄付で出来上がったものである。

宇治市二の尾にあるリトリートセンターは 1966 年 5 月に起工された。建設のきっかけは当時青年会員やリーダーの泊研修が活発であったが、手近な場所に適当な会場がなく、誰にも気がねなくゆくり語り合える静かな環境を備えた研修（リトリート）の場所が求められていた。このような会員の声が届き建設募金が行われ、1964 年に用地約 1 万平方メートルを取得し、雑草の根に覆われていた土地を会員らの手によって整備された。パレスクラブもクラブ創立当初リトセンで泊研修をし、夜遅くまで飲み音楽やダンスを楽しんだ。1981 年にはパレスクラブ 10 周年を記念して、バーベキュースタンドや倉庫一棟を寄贈したりメタセコイヤの植樹をした。今このメタセコイヤは大木になり宇治の銘木百選に選ばれている。その後 2006 年迄ワークを兼ねたファミリー例会を行い、グリーンチャペルの整備やロッジの補修などをした後はバーベキューをしてファミリーで楽しい一日を過ごした。京都 YMCA 100 周年を記念に建てられた研修・宿泊棟は、当クラブの川勝君が設計され、電機設備は瀬戸君がされ、又中央ホールには川上君寄贈の薪ストーブが置かれている。

サバエキャンプ場は 1948 年に近江八幡市佐波江町に開設された。このキャンプ場は、井狩貞之氏（元近江八幡市長）からの借地。パレスクラブはクラブ創立当初からキャンプ場の清掃ワークを続けていて、その頃のキャンプ場は自然に恵まれた琵琶湖畔ののどかな美しいキャンプ場であった。今から約 25 年前に湖岸道路ができてからきれいな松林の松が枯れ始め、車の騒音や夜はライトがキャンピングまで届き環境は大きく変わっている。パレスクラブは、創立 10 周年と 20 周年を記念して手造りのキャンピングを 2 棟今までに寄贈している。

YMCA は事業体としての YMCA と、会員運動としての YMCA の 2 面をもっています。ワイズメンはこの会員運動を支える大きな使命があります。これからも YMCA に対して金銭的な奉仕と合わせて汗を流す労働奉仕を続ける必要があるのではないのでしょうか。

例 会 出 席				ニコニコ/ファンド/BFポイント	
在籍クラブ会員数	54 名	3月第1例会出席	62 名	3月第2例会出席	39 名
内、功労会員数	1 名	内、メンバー	41 名	内、メンバー	35 名
担当主事数	1 名	メネット	1 名	メネット	0 名
維持会員数	4 名	コメット	0 名	コメット	0 名
		ゲスト	13 名	ゲスト	4 名
		ビジター	7 名	ビジター	0 名
		スピーカー	1 名	スピーカー	0 名
月間MU総数	0 名				
月間出席者数	44 名				
月間出席率	91%				
				ニコニコ3月第1例会	12,000 円
				ニコニコ3月第2例会	6,000 円
				累計	245,195 円
				ファンド収益	1,577,135 円
				累計	1,577,135 円
				B F 切手	0 PT
				B F 現金	0 PT
				累計	0 円

3月第1例会（第931回）

日時 2010年3月10日
会場 京都ブライトンホテル 河合信也

今日は会場がいつになく賑やか?!それもそのはず大物ゲストスピーカー京セラ元会長 西口泰夫様を招いての通常例会です。それに乗じて来期メンバー 100名を目指す40周年事業実行委員会が始動、入会候補ゲストが何と13名、またDBC熱海クラブ公式訪問も相まって中島寛勝会長他熱海メンバーが計7名と総勢61名の出席者でした。

隠塚会長の開会点鐘、挨拶のあと、今期4人目 植田学君の入会式が大勢が見守る中厳粛に執り行われ、パレス54人目のメンバーが誕生となりました。(マジックナンバー46 ちと早い?)

会食のあと、いよいよメインスピーカーの登場、西口泰夫様は京セラで社長、会長を歴任後同志社大学大学院で技術経営の学位を取得され現在、講演や大学での講義などをされています。本日は「私の林住期の生き方」というテーマでの講演です。五木寛之氏の著書から引用された「林住期」とは、多くの責任や義務から自由になり、真の生き甲斐を探し生きるために生きる、人生の黄金期と決意するといった年齢層だそうで、自己紹介から始まり自身が収集された膨大なデータをもとに分析された技術経営についての講演内容は、まさに自身の林住期を全うされていると感銘を受け、私が勝手にもっていた大企業元トップのイメージはなく、学者さんそのものでした(そのとおりですが)。グローバル規模な内容でしたが、私のような豆粒みたいな経営者にとっても大変勉強になり、今後は論理的経営を目指し頑張ろうという気持ちになりました(すぐ忘れるのが難点)。特にOIBMS (Open Integrated Business Management System) の人・組織の持つ知識の共有化と活用、これがパレス100人メンバーへの道、ですよね(私は出来てない?ごめん)。

例会終了後は2次会(ピアノバーブレラ)で、熱海メンバー、入会候補ゲスト多数を交え大いに盛り上がり、大変有意義且つ素晴らしい日となりました。



3月第2例会（第932回）トスファンド例会

日時 2010年3月24日
会場 京都ブライトンホテル 吉岡幸次

3月の第2例会に去年と同じくチャリティーオークションを開催いたしました。私自身は昨年入会前に、野口ワイズ達が進行するオークションを楽しませていただきました。その時はあまり意味を理解しておらずに参加していましたが、今回ファンド委員になり自分達で進行することになり全ての商品が皆様の持ち寄りというところにビックリ!結果あれだけの品数が集まった事にさらにビックリ!これぞパレスパワーだと思いました。ただ、うれしいことでしたが順番にオークションにかけていくには時間の調整が大変で10分位オーバーしてしまいましたm(_ _)m。今回のオークションは「良い物を安く」よりも、イベントとしてみんなに楽しんでいただくトスファンドになっていたと思います。

あと、私事ですが今回ファンド委員会に配属になり「ポテトファンド」と今回の「トスファンド」に関わり進めていく中で、新参者の自分の意見もしっかり聞いていただき、また、意味の解らないことはちゃんと説明して答えて下さった委員会の皆さんありがとうございました。自分は次期の広報委員長に決定しておりますので、今期のようにお互いが助け合い、良い意見の飛び交う様な委員会にしていきたいと思っております。皆さまよろしく申し上げます。



滋賀蒲生野クラブ 20周年記念例会報告

日時 2010年3月7日
会場 ホテルニューオウミ 為國光俊

蒲生野クラブ 20周年記念例会が万葉ゆかりの地、近江八幡でおこなわれました。オープニングセレモニーでは、お琴の演奏が始まったと同時に、蒲生野メンバー扮する中大兄皇子と額田王が登場し、仲睦まじく二人で身長ほどの高さの「華活け」を披露され、「万葉の森 船岡山」があたかも目前に現れるかのような古代万葉の時代に旅立たせてくれる素晴らしい演出がありました。また、BGMのギター演奏はDBC富士宮クラブが受け持たれ、司会はDBC金沢クラブが担当と、DBCクラブのチームワークの良さが伝わってくる心温まるものでした。続いての式典では、「ブリテン ワイズの輪」が紹介されました。これは蒲生野クラブブリテンのコラムの名前で、その名の通り、投稿した方が次の方を紹介するという方式で、西日本区全体に投稿者の輪が拡がり現在は225番目まで継続されているとのことでした。ちなみに西日本区全メンバーが書くには150年かかるとのことですので長生きする励みになるなあ、なんてひとりごちていました。

その後は食事会となり、アピールタイムでは区大会と国際大会の告知があって、大いに盛り上がりました。総数224名の出席者数となった周年例会でしたが、東日本区や西日本区各地からの出席者も多く、対外的にも積極的に活動されて交流されているクラブだと感じました。パレスからの出席者は5名でした。大野・高田・人見・森田・為国。



「リトセン・チャリティゴルフ」

日時 2010年3月21日
場所 ベアズパウジャパンCC (滋賀県) 杉本泰造

夜半に降り続いた豪雨も朝にはやみ、今日は絶好のゴルフ日和と気合の入る朝を迎えたが、春の嵐にせき立てられて来られたのは、なんとゴビ砂漠からのお客「黄砂」殿。空は「真黄色」、黄砂を吸い込むラウンドとなりました。

ホストクラブは昨年優勝のウイングクラブで、参加者は54名と大コンペであります。スタートの数組を拝見したが、みな若くて、よく飛ばす。こちとらと元気が違う。千春君と同じ組で回ったが、同じ組の笠井・牧野両君（トップス）がまたよく飛ばす。パレス二人は後ろから尺取虫の刻みゴルフとあいなりましたが、この日は強風が吹き帽子が飛ばされ、パットをする時ボールが風で動くほどの難しいラウンドでしたが、二人共刻みゴルフが効を奏し、また、パットがよく決まり、なんとか絵になりました。「ゴルフの格言でパットの上手な人は頭がいいと云われています（笑い）。しかし、出ているワイズは皆上手い。パレスの選ばれた優秀な8人も厳しい気象のなか弱音も吐かず、見事な？プレーを披露いたしました。まず、金村君が昨年に続きベストグロス賞（京都部でははずば抜けた腕前です）・山本一博君がブービー賞・人見君がメーカー賞（最下位）と大波賞・杉本がニアピン賞・クラブ対抗では3位と、それぞれ結構な賞品をゲットしました。

尚、リトセンのチャリティ基金は135,715円でした。各成績は

「個人優勝・山岸（ウイング）」「2位・稲垣（ウイング）」「3位・新山（トップス）」

「クラブ優勝・ウイング」「2位・トップス」「3位・パレス」

パレス個人成績とスコア

「杉本 6 位・グロス 92」「金村 9 位・グロス 83」「河合 29 位・グロス 111」「小林 37 位・グロス 117」「隠塚 38 位・グロス 118」「平野 49 位・グロス 128」「山本 53 位・グロス 131」「人見 54 位・グロス 154」



YMCA リーダー卒業祝会

日時 2010年3月14日
会場 京都 YMCA 三条本館 隠塚 功

各地で大学の卒業式が行われた3月14日、YMCA ではリーダー卒業祝会が行われました。大学の卒業式を連想させる羽織袴やスーツ姿の大学生が三条本館に集い、常とは違う活気のある三条本館でした。

リーダー卒業祝会は、まず礼拝式からスタート。「放蕩息子のたとえ」を門脇光禪司祭に説いていただき、罪を犯さないことよりも、罪を犯したことを許されることが得だとする風潮を見帰る機会となりました。第2部では卒業リーダーに対しての記念文集の贈呈と卒業リーダーのスピーチ。贈呈では、私からは赤松翔子さん、福田諒くん、村瀬由衣さんの3名に贈呈。当日参加の卒業生27人のスピーチでは、苦勞ながらも喜びを感じている話を多く聞き、YMCA がリーダーに果たす役割も大きいことを知りました。第3部では卒業リーダーとの懇親が図れ、私たちももう少しリーダーとの関係が近くなるべきだなと感じることができ、私には色々とし気付きを得る祝会となりました。



会長主査研修会に参加して

日時 2010年3月13日・14日
会場 チサンホテル新大阪 山本一博

2010年3月13日、14日の2日間、次期会長研修会が新大阪チサンホテルで行われました。何年か前に広報主査を拝命した時は、六甲山YMCAで実施され大変楽しかったことを覚えています。急病者が出た時に対応できないということで、数年前からホテル開催となったそうです。交通の便も良いし、シングルの個室で寝れるし、そういう意味では便利なのですが、隔離された場所での合宿風の趣が失われてしまったのは残念に思いました。

さて、内容ですが、開講式から西日本区の現状やYMCA理解などの講義、理事・主任の方針発表と、広義、説明がてんこ盛り。一方、入会オリエンテーションのロールプレイングという時間は、どうしてもパレスに長く在籍する中で見聞きしてきたことと比べてしまいますので少々「？」な印象を受けました。逆に言えば、会員増強についての考え方、姿勢、方法論のいずれにおいても、パレスはきちんと継承されブラッシュアップされているなど確信することが出来ました。夜は夕食からフレンドシップアワー、懇親の場です。酒とともに親交を深める良い機会。ここでは先日作ったパレスの名刺が大いに役立ちました。2日目は事務手続きの説明と京都部の方針説明。これらは具体的に必要な情報が多いので、今後は書記や会計も含めた三役向け研修会にしたら良いのでは？なんて風に思いました。ともあれ、2日間とにかく聞くばかりで少し欲求不満が残る面もありましたが、他クラブの方々との交流は有意義でした。

ちなみに、パレスが100人を目指すという話、西日本区にすっかり広まっています。もう後には引けません(笑)。これが冷たくお手並み拝見と言われるのであれば嫌な気分になるかも知れませんが、パレスならやっつけようだろうし、期待してるよ！と言われ続けると何だか嬉しくなってきた、まだ緒にも就いてないのに、既に見通しが立ったかのような気持ちになりました。次年度、何ともしも目標を達成しなければならぬと、研修会の主旨とは違う部分でも気持ちを新たにさせられました。

最後に研修会を準備運営して頂いたLD委員会（パレスからは爲國君）に感謝します。次期に向け、みんなで頑張ってください！とお願いして、次期会長研修会の報告とします。



シリーズ「私と〇〇」

私とサボタージュ

人見晃弘

私が人生で初めてサボリというものを経験したのは、高校2年生の3学期でした。その日は朝からの雪が少し積もっていたので、昼休みに陸上部の友人と2人、学校グラウンドの裏にある山へ登ってみようという話になり、軽い気持ちで山に入ったのでした。午後の授業には戻るつもりだったのが、時計も持たず、探検気分だった事もあり、遠くの方から始業のベルが聞こえた時はすでに手遅れ…仕方ない、放課後の部活に間に合うように戻ればいいかと、しばらく山の中で遊んでいました。放課後になり、何食わぬ顔でジャージに着替えた私を見つけた、同じクラスの別の友人が開口一番「人見、どこに行ってたんだ？大騒ぎになってるぞ！」。出欠確認の時に私がない事で、その友人と他数名のクラスメートが「人見がさぼるなんてありえない、考えられない」と、先生に口をそろえて言ったため、「生徒が行方不明」という報告が校長まで届く事態となっていたのです。すぐ職員室に出頭して、校長にも嚴重注意を受けました。警察へ通報する直前だったそうです。ちなみに、一緒に行動していた友人は問題になっていなかったそうです。

この事件で私と友人がそれぞれ教訓としたのが「慣れない事はしない方がよい」「普段の行いが大事(?)」でしたが、どちらが正しいのか、今でも分かりません。ともかく、高校在学中は二度とサボる事はありませんでした。

シリーズ「私と〇〇」

私と釣り

高田 敦

最近全然行けてないので精神状態不安定？

私が釣りを始めたのは、まだ小さいときに親父に川釣りに連れて行って貰った記憶がある。その時は釣りというより日曜祝日が休みでなかった親父がたまに連れて行ってくれた釣りが楽しかったんだろう。

それから中学に上がって友人と嵐山で放流される色鯉を狙いに行ったり、徒歩で菖蒲谷池にブラックバスをミミズで狙いにいたり、琵琶湖大橋の東詰でモロコを狙っていたが、今から思うと本当に釣りが好きでやっていたのかなと…多分友達とワイワイやっているのが楽しかったのかも？

社会人になって海釣り（オフショア）をするようになってきたのだが、もう一つって感じで好きと言うまでにはなっていないかった。

ある時釣り新聞を見ると若狭湾でハマチが大量に釣れている記事を見た。記事の写真はクーラーから山盛りハマチが溢れてる。直ぐに友人に『小浜でハマチ山盛り釣れてるで！』と電話し早速釣りに出かけた。しかし山盛りどころか10本釣るのが精一杯、それでもクーラーから溢れるまでとお金いくら使っただろう？何回も小浜に足を運んだ。

結局山盛りも釣れず、テンションが下がっていたときにスカパーの番組表を見ると釣りビジョンという番組があり、24時間釣り三昧とキャッチフレーズが…すぐさま契約し24時間釣り三昧を楽しんだ。コレは楽しい、今までに知らなかった釣りがいっぱい！中でも海のルアーのジギングにはすごく興味を持ち、ストレスがたまっていたのか釣具屋に行きジギングに必要なタックルを衝動買いした。その当時で約15万円、ゴルフより高い？初心者でありながら一人でジギング船を予約して挑戦してみた。釣り方も分からないのに周りの人のアクションを見よう見まねでやっていると釣れる！釣れる！ハマチ10本も釣れた！それからジギングにはまり、アングラ街道まっしぐら！釣りは楽しい！みんな釣りに行きましょう！

写真はジギングでは無くアジの活きエサを使った流しづりでヒラメとアコウをゲットしました。



お知らせ

(3月役員会承認事項)

第1号議案 横浜国際大会へのマーシャル輩出について
(会長)

森田美都子ワイズ、川上孝司ワイズをマーシャルとして輩出する事を承認。

第2号議案 4月第1(花見)例会の件(ドライバー)

会場「京新山」(大和大路通三条下る) ゲスト・メネット会費を承認。

2月19日尚心亭での下見費用をドライバー予算より拠出することを承認。

第3号議案 夜桜フェスタの件(Yサ)

屋台出店協力、ホットドッグ100人分の提供。チケット購入費含め、予算内とする。

集合時間等、詳細は決定次第Yサ委員会より告知する。以上承認。

第4号議案 丹治徹二君退会の件(EMC)

2月末日をもって退会することを承認。

第5号議案 植田学君入会の件(EMC)

回状に異議がなく、3月6日(土)実施のオリエンテーション受講を条件に入会を承認。

第6号議案 献血の件(地域奉仕)

日時: 4月13日(火) 10:00~11:30・13:00~15:30 場所: イオンモール京都ハナ。400ml献血のみ行い、目標は60人分。以上承認。

Happy Birthday

2日 森田美都子君 13日 松崎一博君
29日 吉岡幸次君

Happy Anniversary

12日 西村道隆ご夫妻 18日 瀬戸伊佐雄ご夫妻
30日 河合信也ご夫妻

YMCA NEWS

1. 卒業リーダー祝会ご協力感謝

卒業リーダー祝会に、在京ワイズメンズクラブより多額のご寄付を賜り、感謝申し上げます。

おかげさまで今年も30名のボランティアリーダーが巣立ってゆく姿をみなさまとともに祝うことができました。

いただきました寄付金は記念文集や写真、祝会の運営費として用いさせていただきました。

ありがとうございました。

2. 奉仕活動基金のご協力をお願い

奉仕活動基金は、地域における奉仕活動、障がいを持つ人々への援助、ボランティアリーダーの養成など、さまざまな活動に用いさせていただいています。今年も下記のとおり行いますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

キャンペーン期間 2010年4月~6月

1口募金額 1,000円 (何口お寄せいただいても結構です。)

納入方法 京都YMCA各館受付または、郵便振替でも受け付けております。

3. 第6回 京都YMCA かもがわ チャリティーラン 参加者・スポンサー(協賛金)募集中!

チャリティーランは、参加費が寄付金となる大会です。チームで力をあわせ楽しみながら走るこのチャリティーランで集められた募金は、YMCAの行う障がいのある子どもたちのキャンプやプログラムに支援金として活用されます。

ぜひ、ご協力をお願いいたします。

日時 5月16日(日) 午前9時~午後3時 雨天決行

場所 鴨川公園(特設コース:北大路橋~出雲路橋 1週1.7km/北山橋~出町橋 1週5.1km)

種目・参加費 小学生駅伝(1チーム2,000円)/グループラン・ファミリーラン(1チーム5,000円)/
一般駅伝・クォーターマラソン(1名3,000円:学生・生徒1名1,000円)/

ペアラン（1チーム1,000円）

スポンサー募集

趣旨にご賛同いただける個人・企業・団体等は協賛金や参加費、物品寄付でぜひご協力ください。

協賛金 一口 10,000円（企業・団体）

一口 5,000円（個人）

物品寄付 参加賞、競技表彰商品、抽選会の賞品

4. リトリートセンター第11回夜桜フェスタ 開催

「夜桜フェスタ」を今年も開催します。ライトアップされた幻想的な八重桜の下で、様々なイベントを楽しみましょう。

と き 2010年4月18日（日）午後5時30分～8時

ところ 京都YMCAリトリートセンター

集合・解散 現地

JR宇治・京阪宇治駅から送迎あり事前に事務局にお申込みください。

参加費 大人（中学生以上）2,000円・小学生1,000円・幼児無料

※チケットは三条本館にて販売中

以上のお申し込み・お問い合わせは 京都YMCA

電話（075）231-4388

編集後記

あちこちで桜が少しずつ開花してきています。パレスもゴルフが盛んになってきています、杉本さんも上手いけど金村さんもかなり上手いですね。しかし人見君は何処でも顔出してるね、素晴らしい！ワイズの鏡です。

京都パレスワイズメンズクラブ第39期 広報委員会

委員長 高田 敦 / 副委員長 小櫻武彦 / 委員 大森夏彦、瀬戸伊佐雄、為国光俊、吉楽貴之



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

5 2010

CLUB OFFICE
京都 YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2010.5.1 発行
第 39 卷第 11 号 通巻 455 号
CHARTERED 1971

- クラブ会長主題** 「感謝(Thank you)の念を持って、しっかりとした基盤づくりを！」～40周年へステップの年～
国際会長主題 “The Power of One” 「一つとなる力」
アジア会長主題 “Dreaming Asia, Loving Asia” 「夢見るアジア、愛するアジア」
西日本区理事主題 “すべてのいのちを大切に” —いのち・平和・環境—
京都部部長主題 豊かな心 熱き思い —555実現に向けて—

会 長 隠塚 功
副会長 岡見 紫
副会長 山本一博
書 記 河合信也
書 記 人見晃弘
会 計 小林千春
会 計 杉本泰造

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間
LT

聖句

各自で、自分の行いを吟味してみなさい。そうすれば自分に対してだけは誇れるとしても、他人に対しては誇ることができないでしょう。

ガラテヤの信徒への手紙第6章4節

広めよう、伝えよう、私たちの活動を ---555実現に向けて---

京都部広報事業主査 **平野雅幸**



最初にお詫びをさせていただきたいと存じます。昨年11月1日(ワイズデー)に、NPO法人の「あうん」の江崎久美子代表を招き京都部 HIV / AIDS 講演会を開催いたしました。驚いたことに、その江崎代表が先日逮捕されました。話を聞きに来ていただいた方、また当日ご寄付をいただいた方の気持ちを考えると、部の役員としては申し訳ない気持ちでいっぱいです。隠塚会長にも新聞社へ働き掛けをしていただいた結果、記事として掲載されましたし、各ワイズメンズクラブにも様々なご協力を賜り実施した事業でありましたが、先日の報道が事実なら、とんでもない講師を招きその片棒を担いだこととなります。ワイズメンはもとより一般の方々にも本当にご迷惑をおかけしました事を心よりお詫びいたします。

ワイズデーは広く世間にワイズメンズクラブを知ってもらうというために設けられた催しで、これまでは主に地域奉仕関連事業がおこなわれてきました。我々の活動を世間に知ってもらい、ワイズメンズクラブの認知度を上げ、発展につなげようというのがそもそもの目的であります。その活動の中心を担うのが広報の重要な役割と思っております。ご承知の通り、ワイズデーやオータムフェスタ、チャリティイベント、夜桜フェスタ、チャリティ・ラン等、一般の方の参加される行事も多いのですが、いまひとつ動員力に欠けます。残念なことですが、ワイズメンズクラブは他の奉仕団体に比べまだまだ世間の認知度が低いと言えるでしょう。どのクラブもプリテンの発行に頑張っておられます。プリテンの発行は各ワイズメンズクラブ内、また部内に向けての重要な広報事業ですが、これからは外部に向けての広報の強化にも力を入れる必要があると思います。

京都部では数年前より京都部 555 人、西日本区では 2000 人を目指しています。しかし、目標に近づけずに苦戦しているのが現状です。どうすれば、良いのか。ここらで本気で考えなくては、明日のワイズメンズクラブの存続は危ういものとなるでしょう。各クラブが活気ある活動を行い、その活動を積極的な広報活動で世間に知らしめて認知度を上げ、そのことが新たな仲間を増やすパワーとなり、より活気ある活動が行われる……そんな風に会員増強の手助けとなる広報活動を目指さねばならないと思います。

パレスクラブをはじめ、嬉しい気配は感じております。京都部内でことあるごとに『仲間を増やそう!』と発信し続け、是非このさざ波をビッグウェーブに育てていこうではありませんか。

例 会 出 席				ニコニコ/ファンド/BFポイント	
在籍クラブ会員数	56名	4月第1例会出席	48名	4月第2例会出席	39名
内、功労会員数	1名	内、メンバー	37名	内、メンバー	35名
担当主事数	1名	メネット	5名	メネット	0名
維持会員数	4名	コメット	1名	コメット	0名
		ゲスト	4名	ゲスト	3名
		ビジター	0名	ビジター	0名
		スピーカー	1名	スピーカー	1名
月間MU総数	0名				
月間出席者数	45名				
月間出席率	90%				
				ニコニコ4月第1例会	46,000円
				ニコニコ4月第2例会	6,000円
				累計	297,195円
				ファンド収益	1,577,135円
				累計	1,577,135円
				B F 切手	0 PT
				B F 現金	87,570 PT
				累計	87,450 円

4月第1例会（第933回）花見例会

日時 2010年4月10日
会場 京新山 小林千春

ここ数年は、いつもいつも蕾だったり葉桜だったりの花見例会でしたが、異常気象か会長の人徳か、今年は見事に桜が満開の中での例会でした。

満開の桜という入学式。ということで、まずは千賀さんと橋爪宏明さんの入会式から始まりました。千賀さんはバイタリティあふれる34歳、橋爪さんは入会時はギリギリ29歳という才気あふれるヤングなお二人をメンバーとして迎えることができました。是非ともクラブライフを満喫して下さい。

お次は、お座敷での例会にふさわしく桂出丸師匠による落語を拝聴。演目は、本日の食事沖ちりに合わせてか「河豚鍋」。調理師免許のおかげで、今では河豚を食べるのに命がけなんてなかなかイメージできませんが、命がけでもなお食べたいという江戸時代の人々の葛藤は、人の食への飽くなき欲望・こだわりを感じずにはられません。

その後、我々は、間違いなく安全な沖ちりを堪能しました。

皆がほろ酔いになったところで「全員ニコニコ大会」。お酒の力で財布の紐を緩め、そこをすかさずニコニコで狙い撃ちをかける。流石は西枝ドライバー委員長、債権回収のツボを押さえられています。

例会終了後はブレラにて千賀さん橋爪さんの入会歓迎会を行い、祇園の夜は更けていきました。

来年は花見例会ではなく新緑例会となる予定で、次期会長の日頃の行いをチェックする機会がなくなるのがちょっと残念です。



4月第2例会（第934回）

日時 2010年4月28日
会場 京都ブライトンホテル 大西寛子

初っ端から会長の遅刻、プロジェクターの不具合など波乱の幕開けとなりましたが、塚本ワイズの心地いい司会のもと4月第2例会がはじまりました。

39期7人目となる蒲生ワイズの入会式がありました。私もスポンサーとしての立場ですので、少しご紹介を…、三条商店街で身体に優しい美容室をされています。彼は熱くて優しい赤レンジャー（古いですか（^_^;））みたいな人でこれから夏そして40期に向けて旋風を巻き起こしてくれると私は思っています（笑）という事でメンバーの皆さま蒲生さんをよろしくお願ひします。

今回のゲストスピーカーは山本一博ワイズの旧くからのお友達「雅空間の若き獅子」一級建築士長谷川渉氏。彼が“大改造ビフォーアフター”にテレビ出演した時の裏話しや、どんな思いで仕事に携わるのか等お話ししていただきました。長谷川氏が独立されたのが10年前、その3年後の6月に1度めの出演を、後に2004年6月、2009年5月と計3度の出演された案件の映像を見ながら説明いただきました。

この番組をみてよく質問される事があるそうです。

Q：いつも現場で家の解体を手伝ったり引越しの手伝いをしているのですか？

A：いいえ、それはテレビ用に作られたものなので普段はしません。

Q：番組依頼者（施主さん）が出した予算で？

A：ほぼ予算内に収まっていますが、下請け業者さんが協力してくれている価格です。

Q：番組依頼者が最後に泣かれるのは本当？

A：本当です。

なるほど。私もこの番組は大好きで見ているのですが、いい具合にテレビ製作スタッフさんの努力にちゃんとはまって見えていました。匠（長谷川氏）いわく「テレビに出た事によって様々な弊害もあったけれどこれによって建築事務所というものの在り方、施主さんの気持ちを聞いて問題を解決していくという姿勢を分かってもらえた事が良かったんです。」との事でした。それにしても何度出演してもカメラが回った瞬間には緊張して話せなくなってしまうそうです。次回4回めの出演が5月2日か23日のどちらかに放送予定なので、楽しみに見ようと思っております。

楽しいお話ありがとうございました。



第11回夜桜フェスタ参加報告

日時 2010年4月18日

会場 京都YMCAリトリートセンター 大森夏彦

思い返せば、新入会員として、このリトリートセンターでパレスホスピタリティー交換会を行ったのが、昨年8月30日。自分にとって、とても思い出深くなった場所。

今回、高田広報委員長に「リトセン夜桜フェスタ参加して、記事書け」と言われ、なにに？屋台、食事にお酒そして夜桜あ…「今回は、おもてなしを受けられるのかあ…」という気分になりたかったのですが、そんなことは当然ですが次元の違う話でした。『リトリートセンターの宣伝も含め、各ワイズメンズクラブの会員が、一般参加者などへのおもてなしをするイベントである』とのことでした。

当日の現地の桜は5分咲き程度、川上ワイズが総合司会の中でプログラムは進んで行きました。食事の合図で早速、各クラブの屋台は長蛇の列が出来上がりました。食事中は、カントリー音楽にのって、カントリー・ステッパーズのラインダンスに始まり、バンジョーやフォークギターの演奏があり、軽快な音楽の中、みんなで盛り上がっていました。屋台は、例年なのでしょうが本格的でした。うどん、おにぎり、中華まん、焼きそば、串カツ、巻き寿司、ポップコーン、フルーツポンチ、チーズフォンデュの他、お酒・ジュースの飲み物などなど…。

プログラムの後半は、雄進浩のグループによる太鼓の演奏があり、聞き入っていました。

いつの間にか夜になっていることに気づき、私は、現地でリトリートセンターの宣伝をすること無く、そして食事をとっても美味しく頂くことができました。

お酒を目の前にして、自分に何故車で来たのかを問い、現地の交通事情を責めるには十分な時間がありましたが、ワイズメンズクラブの会員同士で楽しく会話し一緒に過ごす時間としてはとても短い3時間でした。

P.S. パレスクラブは、川上ワイズ自作の立派なバーベキュー台でホットドッグを作っていました。私にあたる数が無いほど大盛況でした。また、仕事があり後片付けを手伝うこと無しに帰ってしまい申し訳ありませんでした。



仁科保雄次期西日本区理事を励ます会参加報告

日時 2010年4月24日

場所 メルパルク京都 爲國光俊

京都キャピタルクラブの仁科保雄ワイズが西日本区理事としてスタートされるにあたり、「励ます会」がメルパルク京都において、在京ワイズのみならず約120名の参加者をえて盛大に開催されました。

このような会が催されたことによりまして、理事輩出クラブのキャピタルクラブが次期仁科理事を支えていく強い気持ちが参加者にひしひしと伝わりました。次期仁科期には横浜での国際大会開催がひかえています。国際大会の成功は参加人員の確保につきると言っても過言ではありませんが、その参加者を募るのは本来今期理事の役割と言え、次期仁科期のほうが危機感を持って取り組まれている姿に、信頼のおけるリーダーだと強く感じるものがありました。また会員増強についても重要な課題としてとらえられており、西日本区をリードする京都部が率先してやらなければならないという使命感に燃えてられました。わたしたち参加者も同様に会員増強の必要性を再確認し進んでいきたいと思いました。

ちなみにパレスクラブメンバー100名のことは、京都部は当然として西日本区全体にも知れ渡ってしまっていて、次期西日本区EMC主任新山ワイズも壇上のスピーチで一番の話題として取り上げられました。会員増強は、パレスのみならずどのクラブも一生懸命に取り組まれており「パレスも頑張っているやろうけど、うちも頑張っているよ!」といった声を多く聞くことが出来ました。同じ思いを持つ人たちとの会話はとても清々しく心に力を与えてくれますし、多くの方々に賛同を得て応援していただけることに力強さを感じる事が出来ました。

仁科次期理事を支えるキャピタルクラブは、団結力のある素晴らしいクラブです。パレスクラブも40周年を目前にひかえ、今まで以上に積極的な対外的交流を大切にしていって時期にきているのではないのでしょうか。

CS 献血報告記

安達雅直

4月13日、イオンモール京都ハナにて、最後のCS事業の献血を行いました。平日の日中にも関わらず、17名のメンバー、19名のゲストにご協力いただきました。(19名のゲストの内11名は、福井ワイズからのご紹介の方。感謝しています。)また、昨年からは、献血場所をショッピングセンターに変更した事がプラスとなり、一般の方にもたくさん参加して頂くことができました。最終的には、献血の受付数71名、献血者数54名となり、グローバルクラブとパレスメンバーのご協力、無事に終えることができました。

世の中には、血液を必要とされている方が多くいます。また、献血をすると、血液センターから自分の血液の検査結果が送られてきますので、健康管理にも役立ちます。来年度も4月第2火曜に行われますので、是非ご協力をお願いします。



新入会員自己紹介

植田 学

植田 学と申します。皆様、よろしくお願ひいたします。

今年で四十歳。高校を出まして、建築業界に身を置き二十年。皆様の嘲笑的になっております「植田鉄骨院」を名乗り十年。何か節目の様な感じがいたします。そんな時にパレスを紹介され、入会したことも運命であるような気がいたします。

それではサラッと自己紹介させていただきます。

バツイチで、のっぽ。



「何かスポーツをやってたんでしょ？」と言われることが多々あります。いつも答えは同じ。「…何も」。足は遅い、ジャンプ力が無い、フライは捕れない、ドリブル出来ない、枚挙に暇が無い。
…こんな私ですが、どうかよろしく願いいたします。

シリーズ「私と○○」

私と越廼（こしの）

永井 孝

福井県丹生郡越廼（こしの）村は現在、福井市に編入されて村ではなくなったが、とても市とはいえないところ。海が家の近くまで、また、川が隣に、後から山が迫って来ている。いわば日本の縮図のような場所でもある。私は母親を早くに亡くし、10代のころは夏の間この村でいつも養ってもらっていた。人が優しく、魚貝類が豊富で空気が良く、人としての健康に欠かせない要素が揃っていたように思われる。

今、日本は閉塞感に捕われているようだけれど、これは解決できる。それはまず日本人の優秀さをそれぞれが見直すことから始めなければならない。この国の人達の人としての優しさ、協調性、他人の為に力を貸すことを惜しまない心、このような素晴らしい特性を持つ単一民族はあまり他の国には見られない。

しかし、その良さを発揮出来ないのは政治とマスコミに問題がある。人の足を引っ張るような、また、ただ単に反対のためだけの反対をするその考えを改めなければならない。今、日本は輸出を自動車・電機等の製造業を中心に頼り外貨を得ている。そして国策もそれを優遇している。輸入は原油を中心に原材料・食材等が過半だが、まず食料の輸入を改めなければならない。食べるのに困っている人達の国からの食材輸入は矛盾に満ちている。

この国は現在耕作面積の3割以上を荒地として放置している。これをすぐに利用・活用すべきだ。野菜・穀物の大増産をして世界に優良で健全なそれらの食材を輸出すべきで地球環境に問題のある自動車の輸出を減らすべきだ。まぐろの問題も自国で養殖を大々的に増やし、また、それらを支えるためにこそ金を使うべきで、道路・ダム・箱物へのムダな投資を控えるべきだろう。

今、世界で環境問題が大きく取り上げられている。毎日希少動植物の絶滅するという事は、その種が絶えて地球上から消えてしまうということ。動植物の種が減ることは人に大きく負の影響を与えることを知らなければならない。

君は幼き頃の海を覚えているだろうか？その優しい波のささやき、人の温かさ、いつも養ってくれたそのふるさとを。



シリーズ「私と○○」

私と波乗り

田中一馬

私が初めて波乗りに行ったのが高校2年生の真冬の日本海であった。当時の冬はまだ雪も多く、海岸線まで雪が積もっていて、ウエットスーツを着ていても凍えるような寒さであったことを今でも覚えている。あれから33年が経ち、今でもかろうじて波乗りを続けているが、今振り返るとこんな年になるまで波乗りを続けているとは思わなかった。はじめた動機は全くの不純。当時サーファーなるものが大流行し、女子にもてたければサーファーでなければならないと思い込んでいた。陸（オカ）サーファーなる人たちもたくさん出現し、我々の世代での一大ブームとなった。そんな状況であったので、はじめたころは波乗りに行くだけで満足し、一生懸命ではなかった。ところが徐々にその魅力にはまり、気が付けば立派な親父サーファーになっていた。波乗りを通じてたくさんの人と出会い、いろんなところへ行き、本当にたくさんの思い出を作ることができた。あと何年続けられるかわからないが、体力の続く限り続けていきたいと思っている。



お知らせ

(4月役員会承認事項)

第1号議案 国際大会マーシャル特別補助金拠出の件(会長)

横浜国際大会マーシャルとしてパレスクラブから輩出する2名に特別補助金を拠出。ただし、第8回役員会議事録第2号議案の登録補助金の対象外とする。以上承認。

第2号議案 鴨川チャリティーランの件(Yサユース)

・ラムネ屋台・出席メンバーの弁当代・チャリティーラン出場者のエントリー代・パレスクラブの広告協賛費、以上をYサ予算の範囲で支出することを承認。

第3号議案 5月第1例会の件(ドライバー)

メンバースピーチとすることを承認。

第4号議案 5月第2例会の件(ドライバー)

ゲストスピーカー：冷泉貴実子様、謝礼をする。テーマ：未定。以上承認。

第5号議案 入会候補者の件(EMC)

橋爪宏明(小西)・千賀修(吉岡幸)の2名。回状に異議がなく、入会を承認。

第6号議案 入会候補者の件(EMC)

蒲生泰人(大西)。現在例会1回、オリエンテーション出席済。4月第1例会の出席確認後、回状に異議がない事を条件に入会を承認する。

第7号議案 EMC関連予算について(EMC)

入会のしおり：500枚の作成費をEMC予備費から拠出。原稿は40周年事業実行委員会と合同で制作する。以上承認。ランチョンバッジBOX：継続審議。

第8号議案 慶弔金拠出の件(会長)

福井ワイズの知子コメントが結婚。慶弔規定に基きお祝い金を拠出することを承認。

Happy Birthday

11日 人長 誠君 16日 植田 学君

19日 宮本隼史君 23日 大野嘉宏君

24日 永井 孝君

Happy Anniversary

3日 阿部和博ご夫妻 14日 永井 孝ご夫妻

19日 大野嘉宏ご夫妻 26日 高谷泰市ご夫妻

YMCA NEWS

1. 定期会員総会のご案内

日時 5月29日(土)

場所 京都YMCA 三条本館 マナホール

会員の方々の積極的なご参加をお待ち致しております。

お問い合わせ 電話 (075) 231 - 4388

2. 京都YMCA 国際理解シリーズ 被災地ハイチをもっと知ろう

京都YMCAでは、多くの皆さんと、多文化共生・地球市民として、「私たちに何ができるか」を考える国際理解講座を開催しています。今回は、1月に大地震と津波に見舞われた、ハイチご出身のディオジェンさんから、ハイチの文化や社会について学びます。ハイチの素晴らしさやそれと同居する課題がどのようなものかを知ることは、災害復興支援の前提でもあるでしょう。ハイチをさまざまな側面から知ってみませんか？

講師 ピエールマリ ディオジェン氏(ハイチの首都ポルトプランス出身・大阪在住)

日時 5月22日(土) 午後2時～3時30分

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 無料

お申込・お問合せ 電話 (075) 231 - 4388

3. ボランティアセミナーのご案内

①ちよこっとボランティア 心肺蘇生法、AED(自動体外式除細動器)講習会 AEDによる心臓突然死を防ぐ

心筋梗塞などで心臓突然死する人の数は、年々増加傾向にあります。心肺停止患者にとって救急隊が到着するまでのわずかな時間が生死を左右し、社会復帰できるか否かを左右します。今回中京消防署専門官による心肺停止患者さんへの蘇生法及びAEDの操作方法を学びます。

尚、事前に参加申込みをされた方には、消防署より普通救命講習修了証が交付されます。

日時 5月22日(土) 午後1時30分～3時30分

場所 京都YMCA(三条柳馬場)

参加費 お1人 300円
定員 30名（お申込順）

②がん患者さんとそのご家族へ 第40回 苦しみ、悩み、不安を共有しませんか。

この会は患者さんとそのご家族が抱えている苦しみや悩みについて、患者さん同士、そのご家族同士が話し合い、がんとうまく付き合うための情報交換の場です。

日時 5月15日（土）午後7時～9時
場所 京都YMCA（三条柳馬場）
参加費 お1人 300円

①②ともお申込は京都YMCA 電話（075）231 - 4388 または vb@kyotoymca.or.jp

編集後記

今月号もメンバーの執筆協力ありがとうございました、感謝いたします。

千賀くん、橋爪くん、蒲生くん入会おめでとうございます、新入メンバーも続々と入会があり、これからのプリテンも楽しみです。

39期のプリテンは残すところ6月号のみとなりました。最後までご協力宜しくお願いします。

京都パレスワイズメンズクラブ第39期 広報委員会

委員長 高田 敦 / 副委員長 小櫻武彦 / 委員 大森夏彦、瀬戸伊佐雄、為国光俊、吉楽貴之



THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO PALACE

6 2010

CLUB OFFICE
京都 YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

Bulletin
2010.6.1 発行
第 39 巻第 12 号 通巻 456 号
CHARTERED 1971

- クラブ会長主題** 「感謝(Thank you)の念を持って、しっかりとした基盤づくりを！」～40周年へステップの年～
国際会長主題 “The Power of One” 「一つとなる力」
アジア会長主題 “Dreaming Asia, Loving Asia” 「夢見るアジア、愛するアジア」
西日本区理事主題 “すべてのいのちを大切に” —いのち・平和・環境—
京都部部長主題 豊かな心 熱き思い —555実現に向けて—

会 長 隠塚 功
副会長 岡見 紫
副会長 山本一博
書 記 河合信也
書 記 人見晃弘
会 計 小林千春
会 計 杉本泰造

心を求めて例会に至り境地を得て例会を去る

強調月間
評価・計画

聖句 互いに重荷を担いなさい。そのようにしてこそ、
キリストの律法を全うすることになるのです。

ガラテヤの信徒への手紙第6章2節

39 期を振り返って

副会長 山本一博



人が生きていく上で最も大事な能力は「忘れる力」だという説があるそうです。かくいう私もモノ忘れが多くて1年間を総括するのは容易ではありません。ただ、確実なのは隠塚会長が心を砕き、絶えず先回りした配慮、明確な指示を積み重ねて貰った努力の上で、三役、委員長は伸び伸びとクラブ運営を楽しむことが出来た年だったのではないのでしょうか。まずは隠塚会長に感謝を申し上げたいと思います。

一方、会長の努力とは裏腹に、あちこちで忘却力を発揮してドタバタがありました。しかしながら、そこは自己研鑽を標榜するクラブの良いところで、各人がドタバタを楽しみ、それを糧にして前進するパワーを発揮した1年であったとも思います。

会長が何より重視された各委員会の活動は、それぞれに特徴的な働きでクラブライフを演出する原動力となりました。確実安心な活動をされた委員会、大きな成果を実現した委員会、議論沸騰し過ぎて一時迷走した委員会、議論よりその後の懇親が楽しい委員会等々、形は様々ではありましたが、いずれも参加した者にとって意義を見出すことが出来る活動だったと思う訳です。

中でも特筆すべきは、ここ数年で比較的入会歴の短いメンバーが増えた事により、1つ1つの活動について改めて考え直す機会に恵まれた年であったという事ではないでしょうか。ともすればルーチンをこなす形に陥りがちな活動が、そのあり方を再検討するという場面が多かったと思います。過去の経緯や考え方が伝承されることは、クラブの存続発展に必要な事であり、実は隠塚会長がターゲットとされた「感謝(Thank you)の念を持って、しっかりとした基盤づくりを！」の狙いは、こうした委員会活動に集約され実現されたと思います。

ところで、このプリテン6月号の巻頭記事、副会長が年度の総括を書くのが通例とお話があった承りました。そこで過去はどんな記事が書かれているのかな？とホームページにある古いプリテンを見てビックリ。人間は忘れる動物、記憶や思い込みはアテにならないという訳です。

嫌みを言っている訳ではありません(笑)。言った言わないとか小さな失敗とか、そんな事には忘却力を発揮してサッパリ忘れ、隠塚会長が示された大きな流れを止める事なく40期に向けて皆で頑張っていきましょう。1年間、本当にありがとうございました。

例 会 出 席				ニコニコ/ファンド/BFポイント			
在籍クラブ会員数	56名	5月第1例会出席	34名	5月第2例会出席	46名	ニコニコ5月第1例会	8,000円
内、功労会員数	1名	内、メンバー	33名	内、メンバー	36名	ニコニコ5月第2例会	12,000円
担当主事数	1名	メネット	0名	メネット	2名	累計	317,195円
維持会員数	4名	コメット	0名	コメット	0名	ファンド収益	1,577,135円
		ゲスト	1名	ゲスト	7名	累計	1,577,135円
		ビジター	0名	ビジター	0名	B F切手	0 PT
		スピーカー	0名	スピーカー	1名	B F現金	87,450 PT
月間MU総数	0名					累計	87,450円
月間出席者数	40名						
月間出席率	80%						

5月第1例会（第935回）

日時 2010年5月12日
会場 京都ブライトンホテル 平井久夫

さわやかな天候に恵まれた、そんな大型連休明けの例会です。会長挨拶では、ウエストクラブ30周年、台中エバーグリーンクラブ35周年、両記念例会にメンバーと共に参加出席したこと、そしてクラブ間、メンバー間の交流がいかに大切かを話されました。YMCA ニュースでは、各自がYMCAの維持会員であることを自覚してください、というアナウンスが西川Yサ委員長よりありました。諸報告では、台中エバーグリーンクラブ訪問、40周年記念事業委員会の行った新メンバーに対するアンケート結果の分析報告などが有りました。

本日のメインは直近に入会されたメンバー4人のスピーチです。テーマは自由なので個々の人となりアピールするいい機会です。一人目の大西寛子ワイズはこの春に新規開店した店舗、それは大変深い又不思議な縁で借りることとなった館、しかし、その館には女の霊がとりついていて。その霊を供養し除霊して、ことなく営業を続けている、そんな一部始終をミステリアスに語りました。自ら悲惨だった！と結婚を語ったのは二人目の植田学ワイズでした。30歳の頃、メールで知り合った北海道の女性にプロポーズ、結婚をしたものの年齢は詐称、子連れで嫉妬深く、おまけに親族との不和、そして離婚に至るまでを赤裸々に話しました。失敗を飛躍の糧にして来たのは三人目の橋爪宏明ワイズです。学生の頃、仲間と起業し失敗して借金を抱えるも完済、また次の事業を展開する。ある時車両保険の適用についてトラブル、これを機に保険の猛勉強、ファイナンシャルプランナーの事務所を開設するまでを軽快な口調で話してくれました。最後四人目は吉岡高幸ワイズです。彼は、自らは野球、バレーボールを経験、メネットは現役でバレーボールをしている。また長男は高校球児で、長女もバレーボール選手というスポーツ一家の構成を紹介してくれました。特に長男とは野球談議で心を通わせることが出来ますよ、と、ほのぼのとした円満な家庭生活の一端も話してくれました。

ハッピーバースデーでは会場にいた植田学君とゲストの塗雅媛さんが皆の祝福を受けました。閉会は午後9時10分でした。



5月第2例会（第936回）

日時 2010年5月26日
会場 京都ブライトンホテル 福井将一

仕事の都合で2回欠席しての一か月ぶりの例会出席でした。2回も抜けることなんか滅多にない自分になると今日の例会はやたら懐かしい感じがしました。新人若手メンバーさんが増え、活気ある感じがいいですね！

ゲストスピーカーでは和歌守、冷泉家の家元さんの由緒あるお話を聞かせていただき、こころよい気持ちにさせていただきました。こんな話は滅多に聞くことはないと思うだけに耳を傾けていました。39期も残すところ後2回の例会で終了…。一期（一年）過ぎるのはあっという間ですね！また年をとってしまいます。

楽しい例会でした！例会も何かしら工夫して変化があると楽しみが増えるように思います。ワンパターンは誰でも飽き
が来るのでは？私の会社も会議、ミーティングがわくわくするように変化とみんなで考えやすくする為に趣向を凝らして
楽しんでます！それによって参加者が増えるのは確か。

委員会報告で40周年事業委員長の為国ワイズのお話でオリエンテーションをやり少しでも早く新人メンバーさんやこ
れから入会しそうな方にパレスを理解していただこうとおっしゃられました。そのお言葉にかなり熱がこもって伝わっ
てきました。わたしにも「100人にするためにがんばろう！」という気にさせられます。皆さんの気持ちが重なったら無限
の可能性が発揮できるのでは！皆さん、とりあえず目標100人に向けて、前だけを見て努力してみませんか？やる気があ
れば何でもできる！



京都ウエストワイズメンズクラブ 30周年記念例会

日時 2010年5月5日

会場 しょうざん

川上孝司

ゴールデンウィークの最終日である5月5日「しょうざん」において京都ウエストワイズメンズクラブ30周年記念例
会が行われた。YMCAに対するアクトとして100万円に相当する備品が寄付された。懇親会は屋外のプールサイド、ステー
ジではブラスバンド、と思えば此方の方ではテーブルマジック、あちらの方では大道芸あり、奥を見れば金沢先生が華麗
なソシアルダンス…素晴らしいロケーションと好天候に恵まれ参加者たちを心から楽しませてくれた。さすが顔のひろい
牧野会長、女性パワー本領発揮と言ったところだろう。お父さん役の森田恵三ワイズお疲れ様。

京都 YMCA かもがわチャリティーラン

日時 2010年5月16日

会場 鴨川

高田 敦

当日は快晴、エントリーする者にとって快晴は良いんだか悪いんだか、とりあえず気温は上がって欲しくない。7時に
起床し入念に脹ら脛をマッサージ機でほぐし会場へ向かった。今回で3回目の参加、年々人が増えているように感じる。
今回初めてクォーターマラソンにエントリー、ダイエットのきっかけでランニングをしていることもあり、思い切って
クォーターマラソンにエントリーしたのだが6キロ以上走ったことがないので10キロは全く自信がない、無謀な挑戦。

早速受付を済ましパレスのテントへ、エントリーしている西村さんの事を聞くと体調が悪くて不参加とのこと。代わり
に何故か小櫻コメットが参加、「小櫻くん大丈夫か？」と声をかけても終始笑顔。まあええかと思いつつクォーターマ
ラソンが1番のプログラムのため着替える。

クォーターマラソンがスタート。慎重にスタートした私の横をスキップで軽快に抜いていく小櫻くん、「小櫻くんスキ
ップしながらでええんか？」と聞いていたら直ぐにペースダウン、「小櫻くんそれはアカンで」と思いながら抜いていく。
しかし10キロは長い、『絶対歩かない』を目標に必死で走るのがドンドン抜かれていく。若い女子にも抜かれ下心全開
でついて行こうとしても苦しみの方が勝つ。挙げ句の果てに汗が噴水のように噴き出して走っている後ろ姿が山本一博く
んそっくりの人に抜かれたときは超ショックだったが、何とか歩くことなく時間内にゴールできた。パレスの屋台はラム
ネの販売、気温も上がってきたこともあり大盛況、追加で持ってきたラムネも一気に完売。来年は晴れるんだったらもっ
と沢山ラムネを用意した方が良いでしょう。他にいろんなイベントをやっていたみたいだがクォーターマラソンの疲れで全
く見られず、特にチアリーダーは見なかったなあ…。

来年は是非新入メンバーも参加してみてください。マラソンにエントリーしなくても結構おもしろいです。河合さんも
『来年俺もクォーター出るわ』と宣言してくれましたので、河合・西村・高田は来年クォーターマラソンに参加します。



IBC 交流「台中エバーグリーンクラブ 35 周年記念式典」に参加して

日時 2010年5月7日～9日

森田美都子

太平洋に浮かぶ小さく美しき島“台湾”

その中に我がパレスクラブとブラザーである台中エバーグリーンクラブが存在する。

1979年3月18日にIBC締結をして早31年の年月を経てきた歴史あるIBC交流国。今回は三ヶ月前通達で速やかに募ってきた11名のパレスメンバーと短期濃厚ツアーを強行に組み立て「台中エバーグリーンクラブ35周年式典」出席、並びに来年に迫った我がクラブの「40周年式典への誘い」を同日出席した韓国のブラザーであるチエムルポクラブへもアピールするといった二つのmissionを無事クリアした。

入会10年の私は既に4回目の台湾訪問であったがいつ行っても何故か同じ香り、同じ笑顔、同じ優しさで接待され、本当に懐かしい温かい心で包んでくれるズーっと変わらぬ人々、台中エバーグリーンクラブのメンバー。人種・風習・言葉・の壁を越えハート to ハート。ワイズメンの名の元に集う全てが仲間。

今回初めてIBC交流を体験した新メンバーが海の向こうにブラザーがいることを知り、交流を繋げていく楽しさを感じる第一歩にして欲しいとそんなチョイナマ先輩ズラの想いに浸りまた切に願う台中IBCツアーであった。



BF 代表歓迎会

日時 2010年5月28日

会場 京都ガーデンパレスホテル 平野雅幸

5月28日、京都ガーデンパレスホテルにてBF代表来洛の歓迎会が催されました。BF代表来訪の案内があるのはだいたいいつも突然な感じがします。急な予定でしたが部の役員が数名日中仕事を休み、観光案内をしたりしました。

カナダから来られたのは、トーマス・バジル・グラッセ Y's。なんでも京都は知らないどころか聞いたこともないといった様子でした（ちょっと失礼な気がします）。歓迎会ではBF代表として挨拶をお願いしたのですが、英語がほとんど分

からない僕はほとんど何の話か聞き取れませんでした。かろうじてバーベキューという言葉が連呼されているのが分かりました。後で西村メネット主査の翻訳によると、「バーベキューでチキンを300匹ぐらい焼いたり、ブタの丸焼をしてそれをファンドするんだ」と言っておられたようでした。

そういった話を聞く場に参加したのは京都部で16名。京都部役員の一部と数クラブの会長。&人見書記。BFの切手や現金で協力されている方が多い割にさみしい結果でした。BF代表の歓迎会のお金を出せるほど京都部^{*1)}には余力はありませんので会費を払って参加したのですが、様々な疑問を感じずにはおれませんでした。お土産も買えないので京都部からとして西川ワイズの製造されている風呂敷を提供しました。

僕が参加したのは歓迎会だけでしたが、毎年のように来られるBF代表の歓待による部の負担。部費の値上げも囁かれている今日の状況を考えると、BFのありかたを考える必要があると思うには十分でした。来洛と言え次期の夏ごろには国際書記の夫妻が『非公式』というか『国際大会のついで?』に京都に来られます。がなぜか京都部で受けてもいないのに勝手に歓待する羽目になってしまいました。非公式なものには京都部の資金は出せないで、次期のことですが今期の役員でカンパすることになりました。断れないカンパというやつです。一口5000円。ニコニコ5回分です。浄財となったかもしれないお金が、たかが『旅行』に来る人の歓迎に使われてしまいます。悔しくて残念でなりません。

※1) 基本的に観光費用は京都部から拠出。



新入会員自己紹介

橋爪宏明

皆様、はじめまして。私、山科区で一級ファイナンシャルプランナーとして保険代理店を経営しております橋爪宏明と申します。先日30歳になったばかりの妻子持ちです。生まれは大阪府高槻市ですが、中学より立命館に通っておりましたので、京都が地元のような感覚です。趣味は読書、料理、ラーメン屋巡りで、特にラーメンに関しては間違いなくオタクです。もし好きな方がいらっしゃれば是非情報交換しましょう。



さて、私が今の仕事を選んだきっかけですが、過去に保険の知識がないことでひどい目に遭った出来事がありました。それがきっかけで猛烈に保険の勉強をしたのですが、そうやって身に付けた知識や知恵が、世の中の人役に立ちながら仕事になることのすばらしさに強く魅かれ、この道を歩むことを決意しました。私は、知識と知恵を生かして皆様のお役に立てる最高の仕事であると誇りを持つとともに、ほんの少しのミスが皆様の人生を狂わせる、という重大な責任を負っていることを日々忘れず、皆様に一生懸命お守りする責任を果たしていく、という気持ちで仕事に取り組んでおります。

昨年の8月に独立開業したばかりで、まだ従業員もおらず、非常に不安定で忙しい毎日、紹介者は誘うだけ誘って僕に何も言わず、知らない間に退会していた、というような状況でした。しかし、小西ワイズをはじめとする会の皆様や活気に強く魅力を感じ「この仲間に入りたい」と思い、「迅速果断」の座右の銘の通り、ほぼ即決に近い形で入会させていただきました。

まずは例会等にできる限り多く顔を出すことから始めたいと思います。皆様、どうか今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

千賀 修

皆さん、この度パレスに入会させていただきました千賀と申します。若輩者ですが、どうぞ末永いお付き合いをお願いいたします。



さて、入会のきっかけですが、小、中学校の同級生で地元の元気印である吉岡幸次ワイズからの誘いがあったからなのですが、初めてゲストで例会に出席した時の雰囲気がある学生時代(といっても高卒ですが…)に経験した教会での活動の雰囲気と重なり、何の違和感を感じることなく過ごせたことにあります。偶然にも24歳で独立し、小さな会社を運営していますが、毎日が悪戦苦闘の連続で、職場→ヤケ酒→帰宅の繰り返し。週末は父親業。それに国内・海外への出張も多く、自分の趣味や癒しが何なのか分からぬまま34歳になってしまいました。

今後はパレスの異年齢、異業種集団の中に身を置かせていただき、改めて己を見つめ返し、今何をすべきかを考える良き機会になればと思います。

シリーズ「私と〇〇」

私と茶の湯

西枝 攻

2年半程前から日曜日の午前に突然お茶の手前を始めた。理由はない。以前に詩仙堂の近くで月一回それらしいことを師匠らしき人に習ったというか、抹茶を飲んだことはあるが、手前らしきものは全くわからなかった。それが毎週一回である。なにしろ師匠は友人の奥さん、弟子は息子や師匠の旦那や、クラブの友人夫婦、全員手前なんて始めて、袱紗がなにやら、座り方がどうやら全く理解できない。しかし面白いもので、最近は他人の手前や弱点の指摘は出来るのだが、自分がやればみんなからの総攻撃。胡坐をかいての手前もなかなかである。

シリーズ「私と〇〇」

私とゴルフ

吉岡高幸

長男の少年野球のコーチを引き受けて以来、ゴルフへは行っていませんでした。先日、友人に誘われて7年ぶりにゴルフへ行きました。その日は天候も良く、絶好のゴルフ日和。しかし、結果は散々な目に遭いました。スコアはもとよりラウンド中にもかかわらず、足は筋肉痛でスイングが出来ないほどでした。スポーツ（野球）を常にやっているのも大丈夫だと思っていたのですが…。それでも久しぶりのプレーは大変楽しかったです。これを機にまた続けていき、来期のチャリティーゴルフには、参加しようかな、と思っています。

ファンド事業にご協力ありがとうございました。 そして40期もよろしく!!

39期ファンド事業委員会一同

今期も隠塚会長のもととても楽しくファンド事業を遂行させていただきました。パレスクラブにおける奉仕事業を行う上においての財源は、ファンド事業委員会により生み出された資金により賄います。すなわち皆様のご協力により買っていただきましたジャガイモやお米、そしてトスファンド例会に出品頂いた商品の売り上げが、CS（地域奉仕事業）やYサ（YMCA サービス事業）といった奉仕事業資金として活用されます。今期におきましては、そういう意味から多大な奉仕活動を頂いたこととなります。そこで特にポテトファンドにおいて高額資金奉仕を頂いた皆様に対し感謝と敬意をもって上位ランキングを発表させていただきます。この思いがパレスクラブ40期に引き継がれることを祈ります。

（尚このランキング発表の件につきましては役員会承認を受け行っております。）

	氏名	出資金額
1	福井 将一	¥831,000
2	川上 孝司	¥562,900
3	宮本 隼史	¥235,900
4	西枝 攻	¥220,800
5	杉本 泰造	¥218,700
6	岡見 紫	¥190,300
7	隠塚 功	¥180,000
8	東畑 泰弘	¥164,400
9	吉岡 幸次	¥144,000
10	永井 孝	¥121,500
11	山岸 弘侍	¥110,500
12	平井 久夫	¥108,600
13	金村 孝一	¥107,400
14	藤松 幸一	¥106,600
15	田中 一馬	¥100,000
16	為國 光俊	¥97,000
17	瀬戸伊佐雄	¥95,600
18	小櫻 武彦	¥93,000
19	安達 雅直	¥90,000
20	山本 一博	¥81,300

	氏名	現金ファンド
1	為國 光俊	¥32,500
2	川上 孝司	¥20,000
3	吉楽 貴之	¥19,300
4	高岡 昇	¥10,000
5	荒川 徹	¥10,000
6	平野 雅幸	¥7,300
7	田中 一馬	¥7,000
8	東畑 泰弘	¥6,000
9	野口 大輔	¥5,300
10	松崎 一博	¥5,000

	氏名	利益
1	川上 孝司	¥206,240
2	福井 将一	¥190,950
3	宮本 隼史	¥80,690
4	西枝 攻	¥78,000
5	杉本 泰造	¥62,970
6	為國 光俊	¥49,900
7	岡見 紫	¥47,550
8	隠塚 功	¥47,475
9	東畑 泰弘	¥39,000
10	山岸 弘侍	¥36,875
11	吉楽 貴之	¥35,875
12	永井 孝	¥35,025
13	平井 久夫	¥33,945
14	田中 一馬	¥33,475
15	瀬戸伊佐雄	¥26,640
16	吉岡 幸次	¥26,370
17	安岡	¥26,220
18	藤松 幸一	¥25,190
19	安達 雅直	¥24,900
20	金村 孝一	¥24,120

お知らせ

(5月役員会承認事項)

第1号議案 下半期報告書の提出(各委員長/書記)
各事業委員長は下半期報告書を5月28日(金)必着で書記に提出する事。以上承認。

第2号議案 引継例会(三役)
日時:6月23日(水)19:00~21:30
ゲスト及びメネット会費:8000円
会場と内容は三役に一任 以上承認。

第3号議案 人長君退会の件(EMC)

一身上の都合により、4月末日をもっての退会を承認。

Happy Birthday

8日 大嶋正人君 13日 平井久夫君
19日 小林千春君

Happy Anniversary

19日 山本好一ご夫妻

YMCA NEWS

1. YMCA サマープログラム参加者募集!

YMCAでは今年の夏も、子ども達のための楽しいキャンプやスクールを準備しています。全てのプログラムは、まずはお電話にてご予約ください。

受付日時

キャンプ、デイキャンプ

会員 6月8日(火)~9日(水) 受付時間 午前10時~午後7時

会員・一般 6月10日(木)~ 受付時間 午前10時~午後7時

電話 (075) 231 - 4388 (お問い合わせも左記電話まで)

短期集中スイミングスクール、鉄棒・とび箱が好きになる教室

会員 6月11日(金) 午前10時~

会員・一般 6月11日(金) 午後2時~

電話 (075) 255 - 4709 (お問い合わせも左記電話まで)

2. 京都YMCA リトリートセンター夏季準備ワークご協力をお願い

夏季利用の前の準備ワークを下記日程で予定しております。利用者が快適に、活動できるよう準備したくご協力の程よろしくお願いいたします。

実施日 2010年6月27日(日) 集合 午前9時30分 解散 午後3時頃

内容 草刈・施設清掃・整備など

お問い合わせ 京都YMCAリトリートセンター事務局 中村 電話(075)231-4388

詳細につきましては改めてご案内させていただきます。

3. 京都YMCA サバエ教育キャンプ場設営ワークご協力をお願い

サマーキャンプの季節が近づいてきました。たくさん子ども達がサバエ教育キャンプ場で貴重なひと時を過ごし、成長する事が出来るのも長年にわたるワイズメンズクラブの皆様のお支えの賜物と感謝致しております。今年も以下の日程で設営ワークを予定しております。皆様のご協力をお願いいたします。

実施日 2010年7月4日(日)、7月11日(日)

集合 午前8時30分(サバエ教育キャンプ場 滋賀県近江八幡市)

解散 午後3時(サバエ教育キャンプ場 滋賀県近江八幡市)

※ 昼食をYMCAで用意させていただきます。

※ まもなく詳しい案内を各クラブにお配りします。恐れ入りますが、ご参加いただく人数を6月19日(土)までにYMCAサバエキャンプ場 担当廣田までお知らせください。

電話(075)231-4388 FAX(075)251-0970

編集後記 39期ブリテンも今期最後のブリテンとなりました、メンバーの皆さん1年間ご協力ありがとうございました。新入メンバーの広報委員も積極的に事業に参加したり、校正のためのツールを作ったり、充実した39期広報委員会でした。次期の吉岡幸次委員長にさらなる期待をして最後の編集後記といたします。

京都パレスワイズメンズクラブ第39期 広報委員会

委員長 高田 敦 / 副委員長 小櫻武彦 / 委員 大森夏彦、瀬戸伊佐雄、為国光俊、吉楽貴之